

第二部 お薦め映画百選

— Our Favorite 100 Movies —

アメリカ映画等篇

ここでは主に学生たちに人気のあったお薦めアメリカ映画を簡単に紹介します。なかにはアメリカ映画とは言えないものも含まれていますが、それらにもまた魅力があり、人々をひきつける力があるようです。

教材として、また、研究の対象や資料として使えるかもしれません。参考になれば幸いです。

『最高の人生の見つけ方』に学ぶ、生きることの意義

金原 正美

①Masami KANEHARA ②THE BUCKET LIST ③2008年 ④97分 ⑤drama ⑥Jack Nicholson, Morgan Freeman ⑦Rob Reiner ⑧人生の価値、友情、家族愛 ⑩ When I saw this movie, I was made to think what the most important thing was in the life.

あらすじ：仕事一筋で大富豪のエドワードと、家族想いの修理工であるカーターは、入院先の病室で知り合った。共に余命六か月の二人、闘病生活を送る内に友情が芽生えてゆく。「残りの人生、やりたいことをやりつくそう」と決意した二人は、病院を抜け出し、“棺桶リスト”を手に旅を続けるが・・・。

I. 感動的なストーリー

私がこの映画を観ることになったきっかけは、友達に薦められたからです。「余命六か月」からして重いストーリーなのかと思っていましたが、実際はさわやかに感動的に描かれており、見応えがありました。悔いなく残された人生を生きる二人の、少年のような笑顔が印象に残っています。

II. 心に残る言葉の数々

「人生に喜びを見つけたか」「他の人間に喜びを与えたか」というのが天国の扉を通る時に出される2つの質問だという台詞があったのですが、私はこれらの言葉に深く考えさせられました。他にも「自分を認めてくれる人がいたかどうかで人生の価値が決まる」など、生きる意義を問うてくる言葉が多く、心に残る作品だと思います。

III.

主演二人の意見がどんどん取り入れられたということもあり、非常にテンポ良くユーモアのある台詞と、エドワードの秘書の絶妙な返しもあって、明るく仕上がっています。ラストのシーンは、二人の旅を見届けたような気分になり、最後の最後に最高の友人を見つけた二人がとても羨ましくなりました。私からも、見ることをお勧めします。

『最高の人生の見つけ方』～“人生で喜びを得る”とは～

田中 可南子

①Kanako TANAKA ②THE BUCKET LIST ③2007年 ④97分 ⑤ドラマ⑥ジャック・ニコルソン／モーガン・フリーマン ⑦ロブ・ライナー ⑧幸福とは。人生とは。
⑩The happiness is differs among people . It is difficult to know what the best life is. There is nothing more important than connection with people.

あらすじ：実直な自動車整備工のカーターと病院を経営する大富豪エドワードは癌で入院した病室で出会い、互いに余命半年を宣告される。死ぬまでにやっておきたい“バケツリスト”を作った二人は、苦しいだけの化学治療に死ぬまで耐えるよりも、余生を楽しむ事を選び、全てのリストを実現するために旅に出る。

I. はじめに

作中、「人生で喜びを得たか？」という質問が何度か繰り返される。では『人生で喜びを得る』とはどういう事なのか。この作品が観る者に考えさせる最たる事は、これに尽きると思う。カーターにとっては妻や子どもに囲まれ幸せに暮らすことであったが、エドワードにとってそれは金を儲け成功者になることだった。人の人生を図り知るの難しい。どのような人生が最良であるか定義づけることはできないが、私がこの作品から感じたのは家族や友人と築いた温かな関係こそが『人生をかけて得うるべき喜び』なのではないかということである。

この映画を観ながら、『人生で喜びを得る』事とはどういうことなのか、自分自身の場合についても考えてみて欲しい。

II. 人間同士のつながり

カーターが“バケツリスト”に書いた中に「あかの他人の支えになる」という項目があった。いつも多くの家族に囲まれ愛されていたカーターは、家族関係の希薄なエドワードに家族の大切さを教えた。そしてカーターはエドワードが腹を割って話すことのできる友人となった。一方エドワードは世界旅行にカーターを誘い、貧しさや、人種など境遇の悪さ故に思い通りに人生を運べなかった彼に、嘆くだけでなく行動することの重要性を教えた。

このように、人間というのは与えられたり与えたりしながら繋がっているものであり、他人の支えになった結果得られる物こそが『人生をかけて得うるべき喜び』のうちの1つなのではないかと私は考える。

『幸せのちから』にみる諦めない心と前向きな姿勢

巽 裕介

① Yusuke TATSUMI ② The Pursuit Of Happiness ③ 2006年 ④ 117分
⑤ Drama ⑥ クリス・ガードナー(Will Smith) ⑦ ガブリエレ・ムッチーノ
⑨ 父子の希望に満ちた真実の物語 ⑩ I knew the heart which isn't given up and the family's love.

あらすじ: クリス・ガードナーの実話を基に映画化された感動作。81年、サンフランシスコ。クリス・ガードナー(ウィル・スミス)はサンフランシスコに暮らす有能なセールスマン。しかし一時は住む家を失い、5歳の息子クリストファー(ジェイデン・クリストファー・サイア・スミス)と共にホームレス生活をするほどの極貧にあえいでいた。彼の努力も虚しく、尽きることない家計の悩みに嫌気がさした妻(タンディ・ニュートン)は、クリストファーを残して家を出ていってしまう。クリストファーを何より大切に思うクリスは、新型医療機器を病院に売り込む日々。しかし大量に買い込んだ機器は減多に売れず、家賃も払えない生活が続いていた。そんなある日、彼は高級車から降りた男に成功の秘訣を尋ねたことをきっかけに、証券会社の養成コースに通うことを決意する。受講者に選ばれるように、クリスは人事課長のトゥイッスルへ自己アピールする…。

私がこの作品を観たきっかけはたまたまレンタルショップで見つけたからだった。実話であったということと、ホームレスから億万長者になる、という内容にも強く惹かれた。

この作品のみどころは人生の逆転劇もそうなのだが、父と子の愛情にも重きが置かれている。収入がなくなり、住む家も立ち退かなければならなくなっても、息子が寄せる愛と信頼をバネに、困難を次々と乗り越え、よき父親としての務めを果たし続けるのだった。そしてなにより感動したのが、数多くいるインターンの中からたった一人、クリスが選ばれるシーン。これまでの苦しい中で努力をしてきたことが報われたこのシーンは涙なしでは観られなかった。

この作品を観て、人間は決して諦めない心を持ち、努力をすれば必ず報われるということを感じた。また、家族の支えもなくてはならないものであると思った。逆境に立たされても折れない心、愛する人を守りぬく力を教わった映画だった。観て損はないです！！

『幸せの1ページ』

高橋 宏規

①Hiroki TAKAHASHI ②NIM'S ISLAND ③2008年 ④96分 ⑤adventure
⑥ジョディ・フォスター ⑦マーク・レヴィン ⑧ウェンディー・オール
⑩I think this movie is wonderful.

あらすじ：アレクサンドラは、大人気の冒険小説家。なのに、対人恐怖症で引きこもり。そんな彼女が書くヒーローは、空想で作った理想の男性像だった。新しい小説のネタを探していると、孤島で暮らす海洋学者の記事が目にとまった。彼に協力を求めるつもりでいたが、ある日、南の島の少女・ニムから、物語のヒーロー宛に SOS のメールを受け取る。ニムを救うため、アレクサンドラは初めて家の外へ出て、南太平洋へと旅立つが…。

I. ストーリーの魅力から

私がこの作品を観たのは映画館でした。予告を見て、てっきりジョディ・フォスター主演のラブロマンスだと思い込んでいましたが、実際はとても笑える冒険ファンタジーでした。

II. 常にドキドキさせられる展開

映画の中で何度も危険なシーンや動物が活躍するシーンがあり、常にドキドキハラハラさせられ、飽きの来ない作品でした。

III. 人はいつでも変わる

対人恐怖症で外出恐怖症の主人公が、少女が送ったたった一つのメールで南の島まで大冒険をするようになる。この作品を観て人は誰でも変わるんだと感じさせられました。

『きみに読む物語』～運命に引き寄せられて～

里 有華

①Yuka SATO ②The Notebook ③2005年 ④123分 ⑤ラブ・ロマンス ⑥Ryan Gosling Rachel McAdams ⑦Nick Cassavetes ⑧愛・回想・運命 ⑩I felt that love is precious and deep.

あらすじ：とある施設に初老の女性がいた。アルツハイマー病によって過去の思い出を失ってしまった彼女のもとに、デュークと名乗る男性が定期的に通って、とある恋の物語を読み聞かせてやっている。家族とひと夏を過ごすためにこの土地にやってきた良家の子女、17歳のアリー・ハミルトンは、材木工場で働く地元の青年ノアと恋におちる。しかし、アリーの両親は2人の交際を認めず、夏の終わりと共に彼らの中は引き裂かれた。その後、紆余曲折を経て2人は一体どうなったのだろうか。晩年を迎えたとある夫妻の若き日の恋を回想したラブ・ストーリーがここにある。

I. 『きみに読む物語』との出会い

私がこの映画を観たのは、本当に偶然のことだった。結果的には友人の友人の勧めになるのだが、たまたまこれを見ようという話になって、友人と見たのがきっかけだ。映画をほとんど見なかった私にとって、この『きみに読む物語』を見ることで映画の良さを知ったような気がする。

II. 愛することとは何か

キーワードにも挙げているように、この映画には「運命」と「愛」の強さを感じる。ラブ・ストーリーの定番と言えはそのような展開ではあるが、何か胸を撃つものがあったように思う。青年時代の若い恋も、老夫婦の年月が作り上げた深い愛情も、この映画に詰まっている。途中は若さゆえの無謀さも感じながらも、最後まで見ると、運命が引き寄せる愛の強さ、尊さというものを感じることができた。

III. あなたにも

私はこの『きみに読む物語』を見て、映画の面白さを知っただけでなく、「人を愛することとは」ということを考えさせられた映画でもあった。一見ありきたりなラブ・ストーリーに感じるかもしれないが、本当にそう思うかは、一度みればわかるだろう。

『きみに読む物語』にみる人生を通した純愛

北井 翔太郎

①Shotaro KITAI ②The Notebook ③2004年 ④123分 ⑤love story ⑥ライアン・ゴズリング/レイチェル・マクアダムス ⑦ニック・カサヴェデス ⑧ニコラス・スパークス：「きみに読む物語」⑨純愛、身分の差、奇跡 ⑩Him straight passion touched my heart.

あらすじ：材木屋で働く、貧しく教養もないノア。夏祭りで富豪の娘アリーに一目ぼれをし、猛烈なアタックの末、お互いは惹かれあい、愛し合っていたが、アリーの両親は身分違いの恋だと反対し、ふたりの一夏の恋は終わりをつげた……。やがて時は経ち、アリーは戦時中に病院で看護していたロンと婚約の約束をするが、そんな時ノアの姿を新聞の広告で目にし……

I. 『きみに読む物語』との出会い

この作品はふとレンタルショップの棚で目を惹いた題名の作品で、やっこの夏に手にすることができました。僕自身映画が大好きで、一時期は泣ける映画を片っ端から見あさったくらいで、今作もいい噂を聞いていたのですごく楽しみにしていました。

II. 主人公ノアの真っ直ぐな思い

純愛映画というのはこれまでに数多くあったと思いますが、ノアほど一途にたった一人の人を思い、愛し、約束を貫き通した主人公はいなかったように思います。彼女に言う一つ一つの言葉に嘘偽りはなく、そのすべてが彼女への約束となるのです。それを彼は最後の最後まで守っていく……。人を愛することの素晴らしさに溢れた作品です。

III. ストーリーを際立たせる映像、効果

夕暮れが湖をワイン色に染めるシーンに始まり、物語の随所で見られる映像は幻想的で、物語を引き立ててくれます。また、物語の中心になる二人だけでなく、そこに関わってくる人々の心のうちを考えながら見ると、色々な愛の形というものがより深く思い描けるのではないかと思います。是非多くの人に見てもらいたいです。

『50回目のファースト・キス』～恋する事の素晴らしさ～

山本 岳

①Gaku YAMAMOTO ②FIFTY FIRST DATES ③2004年 ④99分 ⑤恋愛 ⑥アダム・サンドラー ドリュー・バリモア ⑦ピーター・シーガル ⑧love, memory ⑩This movie showed me that LOVE is wonderful.

あらすじ：ハワイの水族館で働くヘンリー（アダム・サンドラー）は、ルーシー（ドリュー・バリモア）という女性に出会い、恋に落ちる。しかしルーシーは事故により1日しか記憶を保持できなかったため……

1 この映画との出会い

この映画を見たきっかけは、留学先のニュージーランドでホストファミリーとこの映画を見た姉が、帰国後強く薦めてきたからである。また、映画をあまり批評しない姉がここまで薦めるこの映画に興味を持ったからでもある。

2 恋する事によって生まれる力

私たちは昨日までの記憶を積み重ねて今日を生きている。昨日までの記憶を持ち、また新しい今日を生きる。それは当然の事で、そのことを疑問視する人はいないだろう。だが“前向健忘”と呼ばれる記憶障害を抱えるドリュー・バリモア演じるルーシーは一晩眠ると前日の記憶が消えてしまう障害を持っている。だが記憶が残らないと知りながらも、彼女のハートを掴むために毎日ゼロからのアタックを繰り返すアダム・サンドラー演じるヘンリー。その姿を見て、人に恋する事があらゆる障害に打ち克つ力を与えてくれると感じさせられる作品である。

3 特に見てほしいところ

“記憶が残らない”という本人にとっては深刻な問題を、あくまでもソフトにそして真面目に扱いながらラブ・コメディの手法で見せていくところである。また、純なセリフのキャッチボールで楽しませてくれるところや、エンディングで二人に用意される未来もファンタジーに頼ることなく描かれ、大人が気持ちよく納得できる清々しいものである。なのでそこに注目してほしい。

『天使にラブソングを2』が教えてくれたこと

田村 康子

①Yasuko Tamura ②SISTER ACT 2 ③1993年 ④107分 ⑤comedy ⑥Whoopi Goldberg ⑦Bill Duke ⑧やればできる、頑張る喜び、仲間との協力 ⑩I feel enjoy singing a song and I know singing is fun with class mate.

あらすじ：セント・キャスリン修道院の尼僧たちが、クリस्प氏(ジェームズ・コバーン)が理事長を務めるセント・フランシス高校で社会奉仕をする事になった。しかしそこは、構内暴力や非行が横行する問題校だった。シスター・メリー・パトリック(キャシー・ナジミー)やシスター・メアリー・ロバート(ウェンディー・マッケナ)たちはスレた悪ガキたちに手を焼き、修道院長(マギー・スミス)も困り果てる。尼僧たちは今やラスベガスのエンターティナーとなったデロリス(ウーピー・ゴールドバーグ)に助けを求める。フランシス高校は懐かしの母校でもあり、再び尼僧ファッションに身を包んだ彼女は、音楽教師として学校に潜り込んだ。授業そっちのけで騒ぐ生徒たちや石頭の教師たちに驚きながらも、彼女はユニークな授業を続けるが校長たちの反発にあう。そして、荒れた学校に平和が戻らなければ今年中に閉校という計画がある事を耳にする。デロリスはひよんな事から生徒たちに歌の才能がある事に気づき、ゴスペルのコーラス・グループ結成を思い立つ。彼女の熱意に、反抗的な生徒たちもいつしか心を許し、“地獄からのクラス”の23人は、天使のヒップホップ聖歌隊に変身。権威あるカリフォルニア州の合唱コンクールを目指す彼らは、“歌う街頭募金”で参加費用を集める。いよいよ当日、ほかの出場者たちに圧倒された生徒たちは逃げだそうとする。だが、デロリスの激しい叱責に勇気を出して歌い踊り、見事優勝する。彼らは何かをやり遂げる喜びを初めて知った。

I. 『天使にラブソングを2』との出会い

私がこの映画を知ったきっかけは、小学5年生の時の音楽会でした。クラスの音楽会で歌う曲が“O h happy day”でした。小学生で英語の曲を歌うのにみんな苦戦し、あまりやる気がありませんでした。この曲には、クラスで3人がソロを歌う部分がありました。私は当時コーラスをなっていたという理由でソロのうちの1人に入れられました。クラスもまとまらず、一人で歌う勇気もなく、いやいやだった時に、担任の先生が見せてくれた映画が『天使にラブソングを2』でした。

Ⅱ. みんなで楽しむことの大切さ

映画を見て、最初に思ったのは、楽しそう！こんなステージにしたい！という思いでした。やる気のなかったみんなも、映画を見た後感動していました。クラスで話し合った結果、自分たちもお客さんに感動を伝えようと言う事になり、音程とか関係なしにまずは楽しもうという結論になりました。私も人前に立つことが苦手だけど、精一杯頑張ってみようと思い、他の仲間と放課後、先生に練習をみてもらいました。そして音楽会で、みごと学校代表に選ばれた私たちは、市民ホールで発表することができました。

歌を歌う楽しさ、あきらめないこと、仲間と団結する楽しさを改めて感じました。

Ⅲ. 自分をだめだと決め付けない

一番衝撃的だったシーンが、デロリス先生が本番逃げようとした生徒を叱責したシーンでした。まさにその時の自分に言い聞かされているようでした。私はこの映画から勇気をももらったし、何より仲間と楽しむことの大切さを学びました。落ちこぼれと言われても、落ちこぼれではない、みんな何か才能がある。1人では楽しめない、みんなでやるから楽しめる。いまいち勇気が出ない人に、この笑いありの感動コメディを是非みてほしいです！！

『ペネロピ』が伝える幸せへの姿勢

植村 ひな子

① Hinako UEMURA ② PENELOPE ③ 2008年 ④ 103分 ⑤ love story
⑥ Christina Ricci / James McAvoy ⑦ Mark Palansky ⑧ しあわせを、
つかむんだ ⑩ In order to attain happiness, I need to love myself. I
learned that from this movie.

あらすじ：コンプレックスをポジティブなものに変えてくれる、チャーミングなラブストーリー。先祖が魔女に掛けられた呪いにより、ブタの鼻と耳をもって生まれたペネロピ。自身と同じ名家出身の男性が永遠の愛を誓えば呪いは解けるといふ。屋敷に隠されて育ち、名家の子息たちと見合いを繰り返すが、隠していたペネロピの顔を見た瞬間に逃げ出す者ばかり。そんななか、逃げ出さなかったマックスに必死の思いで結婚を願うが、結果は“千回分の失恋”。そしてペネロピはある晩、マフラーで鼻を隠して屋敷を飛び出し、街に出た。自分の思い通りに生きようと決意したペネロピを待っていたものは…

この作品は、母が収集している洋画から紹介されて知ったものだ。ディズニー系列なだけあって、現在のラブストーリーでありながら、幻想的な要素が上手く加えられて魅力たっぷりの作品になっている。

呪いをかけられた人間が、愛を誓うことで魔法を何とかする点は『美女と野獣』に通じるところがあるが、この作品では愛すること以上にもっと別のことを伝えてくれる。

ペネロピがかかっている呪いを解いて、ブタの鼻と耳をもたない本当の自分になるために、見合いを繰り返すというのが物語の序盤にある。それまでずっと、ペネロピは好奇の目から守るためにと家族により屋敷の中で暮らしていた。見合いでは外見より中身を愛してもらいたいと、最初はマジックミラー越しに会話をし、その後に姿を見せては見合いの相手には逃げられてしまっていた。そしてついに、と思った相手にも断られ、とにかく不幸そのもの。

しかし、ペネロピは自分の意思で生きるために街に出た後、鼻を隠して過す中で友人をつくることもできた。自身の鼻が世間に広がっても、逆に明るく過し、どんどん受け入れられていく。ありのままの自分をいかして元気に活動し

ているペネロピは、とても輝いて見え、私もこんな笑顔をふりまきたいと憧れをいだいた。

ペネロピが明るく過すなか、以前に見合いをしたが逃げていった相手の一人から結婚を申し込まれ、二人の結婚式の日となる。これで愛を誓い合えばペネロピの呪いが解けてブタの鼻と耳がなくなり、幸せになれると母親たちは喜ぶが、ペネロピは逃げ出してしまう。母親が戻るように説得する言葉に、「今の自分が好きなの」と反論するペネロピ。今までのペネロピの輝くような暮らしは、ブタの鼻も含めた自分を受け入れてポジティブに生きているからと思うと、私もそのままでいい、と共感した。結局、誰かと愛を誓うのではなく、自分のことが好きと言った瞬間に呪いは解けた。

ラストには、ペネロピがこの話を子供たちに語っているシーンに繋がるのだが、ここである子が「何が言いたいのか？」と質問し、ペネロピは「どう思う？」と問い返している。どのような考えが子供たちから返ってきたのか、是非注目してほしい。

この映画を見て、過去の不幸だった頃を変えることはできないが、今自分が生きていく運命を自ら切り開いていく姿がとても心に残った。そして何より、コンプレックスを感じても、「私は私でいい」と思い、自分を好きになれば、どんな可能性も開いていける。そんなポジティブなメッセージが伝えられてくる映画だと感じた。幸せを掴むために今の自分には何が必要なのか、それは個人で異なると思うが、是非一度この映画を見て考えてもらいたいと思う。

『ディ・アフター・トゥモロー』自然から学ぶこと

内田 加七子

①Kanakano Uchida ②The day after tomorrow ③2004年 ④124分 ⑤nature ⑥デニス・クエイド、ジェイク・ギレンホール ⑦ローランド・エメリッヒ ⑧ローランド・エメリッヒ ⑨自然災害、氷河期、人との絆 ⑩It was impressed by the appearance of father who tried to save his son by the life multiplication.

あらすじ：地球温暖化により氷が溶けたことで海流に異変が起き、その結果超大型低気圧が発生し、地球に氷河期が訪れる。寒波の予想をしていた気象学者のジャックは、緊急に会議を開き少しでも南に逃げるよう指示。しかしジャック自身は、ニューヨークに居る息子サムを救う為、北へ向かうのだった。果たして人々の運命は・・・

誰もが知っており、ニューヨークのシンボルでもある自由の女神が凍結！！大波に人々がのみこまれてしまう様子・・・映画予告でこれらのシーンを観た時とても印象的であり、ぜひ一度観てみたいと思った。どのシーンも迫力があり、2時間という上映時間があっという間に過ぎたように感じられた。

まず始めに、一言でこの作品の感想を述べると、自然の驚異的な破壊力の凄さである。台風や大雨、竜巻など自然の力の前では人間の力がいかに小さいか思い知らされた。それだけに、状況に応じた的確な指示が人々の命を左右されることになる。自然を甘く見ていると映画のように人類に大きなしっぺ返しがかかるだろう。しかし、どんな惨劇の中でも他国同士の助け合い、親子や人と人との強い繋がりにより生き延びていく場面には感動した。特に危険な地に取り残された息子を助けるため、父親が命がけで助けに行くシーンには涙が出た。すごく家族愛が感じられた瞬間でもあった。また、先進国といわれ経済優先だと主張し続けたアメリカが、自然の大災害に遭い困難な状況になった時、発展途上国と呼ばれた国が温かく迎え入れたシーンには人間の本当の姿を見ることができたと思う。

もし、世界が破滅するような災害が起こってしまうなら、どのような行動をするか、助け合えることができるか、現実をきちんと受け止めることができるか・・・そんなことも考えてしまうような作品だった。

最後に環境問題は日々確実に深刻になってきている。経済最優先でいいのか。快適な生活の為、嫌なことから目をそむけていいのか。いま問題から真正面からぶつかっていかなくては必ずその代償は来る、とわたしたちが最も考えなくてはいけないことが詰まっているようにも見えた。だからこそ、ぜひ多くの人にも見て感じ、考えてもらいたいと思う。

『THE DAY AFTER TOMORROW』で見る自然の脅威

黒川 綾香

① Ayaka KUROKAWA ② THE DAY AFTER TOMORROW ③ 2004年 ④ 124分 ⑤ panic ⑥ Jack Hall/Dennis Quaid ⑦ Roland Emmerich ⑨ 地球温暖化、地球崩壊、親子愛 ⑩ When I watched this movie, I feared the rage of the nature. And I was impressed with family love tied strongly together.

あらすじ：気候学者であるジャックが、南極で調査をしている際に、氷棚のひび割れに遭遇する。これは地球温暖化の影響であり、このまま進行すれば、地球は氷河期のようにになってしまうかもしれないと、ジャックは学会で発表するが、ほとんどの人がそのことを信用しようとはしなかった。そんな中、様々な異常気象が世界各地で起こり、ジャックの予想が着実に現実のものになっていく。一方、ジャックの息子であるサムがNYで開かれる高校生クイズ大会に出場する。しかし、NYはやがて絶対零度の世界に変わってしまう運命に置かれていた。そのことをしったジャックは、息子を救うために、危険を省みず、NYに向かうのであった。

I. 衝撃を受けた映像

私がこの作品を初めて知ったのは、テレビの映画予告のCMだった。初めてCMを見た時、自由の女神が雪の中に埋もれてしまっていることに衝撃を受けた。一体、何が起きているのだろうか…。正直、最初見た時は意味がわからなかった。そんなことが起こり得る訳がないと考えた。しかし、この映像を見る度に、自然の猛威と映像美に心を奪われていることに気付いた。実際に映画を観てみると、南極の氷棚や大規模の竜巻、ビルを覆いこんでしまうような津波など、本当に自然の脅威と壮大さを感じることができ、圧倒させられるものであった。

II. 自然の脅威と親子愛の大切さ

この作品で大きく取り上げられているものは、地球温暖化によって招かれる自然災害の恐ろしさである。日本に降るゴルフボール大の雹、1日で街を全て破壊してしまうほどの猛威を振るう竜巻、NYを飲み込んでしまうほどの津波など、もし実際に起こってしまえば本当に人類が滅亡してしまうと誰もが考えてしまうような惨劇が描かれている。人間が自然を壊すことはできる。しかし、自然が猛威を振るい始めてしまえば、人間には止めることができな

い。それをこの映画で強く感じさせられた。また、この映画では親子愛が描かれている。息子を助けるために自ら危険な道を選ぶ父。その父が絶対に来てくれると信じて待つ息子。この親子が再会した時、誰もが何か胸に熱いものを感じるであろう。映画の中で、ジャックがNYに向かう前に、ある境界線を境にしてそれより南に住んでいる人間は避難させ、北に住んでいる人間を助けることは諦めるように促すシーンがある。副大統領は最初この申し出を断るが、ジャックが去った後、ジャックの上司が副大統領に「彼の息子はNYです。」と告げると、ジャックの申し出を受け入れることに決めた。ジャックの息子は、その境界線より北側にいたからだ。このような状態に立たされた親の絶望感は、誰もが察することができるものである。親子のつながりが、決して揺るがそうとしなかった心をも動かすことができるということに感動した。

Ⅲ. これから私たちがすべきこと

地球温暖化という今私たちがぶつかっている大きな問題がある。誰もがどこかで私には関係ないと思ってしまっているのではないだろうか。しかし、この映画を観ることによって、地球温暖化という人間が今までしてきたことに対する代償をどうすれば少しでも和らげることができるかをもう一度考え直すことができるであろう。現在、地球温暖化防止のために、様々な取り組みが行われているので、この映画を観ることで少しでもそのことに興味を持って欲しいと思う。また、今日、自分の親があまり好きではないという子どもが増えている。その子どもたちが親を好きになることは難しいだろうし、無理矢理そうさせようと思ってはいない。しかし、この映画で親子愛を感じて、もう一度親子の関係を見直してみたいと思う。

『earth』 奇跡の星、地球

見山 祥昭

①Yoshiaki MIYAMA ②earth ③2008 年 ④98 分 ⑤ドキュメント ⑦アラステア・フォーギル、マーク・リンフィールド ⑨奇跡の星、壮大な自然 ⑩I think that this movie is teaching on the majestic nature and the mystery of life.

あらすじ：50億年前、巨大な隕石が若かった地球に衝突した。その衝撃で、23.5度も傾いてしまう。しかし、この出来事が生命の住みやすい環境や、季節をつくり出す大きな役割となった。北極点から始まり南極をたどる旅路で、様々な動物やダイナミックな自然が映し出されている。最後はこのまま環境破壊が進むと、この美しい地球は危ないという警告のメッセージも込められている。

I. 1つ1つの映像に圧巻

私がこの作品を知ったのは、ある番組の映画紹介を見たとき、ほんの数十秒の映像だったが映像の美しさが深く印象に残った。様々な視点からの、映像は圧巻である。大空から見た海、深い森林・・・、また宇宙から見た地球。早送りやスローモーションを使い効果的に表現されている。さらに、ベルリン・フィルハーモニー管弦団のフルオーケストラにより映像に深みを与えている。

II. 自然界の‘自然’な姿

自分が地球になったような、その場にいるような錯覚を覚えるほど動物に近いところから映されている。厳しい自然界を生きぬく動物の目の輝きに、生命の力強さを感じずにはいられない。

III. 映画からのメッセージ

この映画は私たちが普段の生活では忘れていた、地球の一部だということを思い出させてくれる。映画の最後にある自然破壊への警告のメッセージは、私たちがこの地球を守っていかなければならないと思わせるものである。

『ヘアスプレー』の奥深さ

木澤 成美

① Narumi KIZAWA ② Hairspray ③ 2007年 ④ 117分 ⑤ミュージカル映画 ⑥ John Joseph Travolta, Nikki Blonsky ⑦ Adam Michael Shankman ⑧ John Waters・Hairspray ⑨ 至上最重量級(?)のシンデレラストーリー、歌にダンスに笑いに涙ありのミュージカル映画、人種差別 ⑩ When I watch this movie, I would get so excited that my heart would be pounding. Because of the music of this movie made me feel like dancing and singing.

あらすじ：舞台は60年代のボルティモア。大人気TV番組「コーニー・コリンズ・ショー」出演を夢見る、音楽とお洒落に夢中な16歳のトレーシー。そんな彼女には、ひとつだけ問題が…。それは、彼女のデカすぎるサイズ！でも、そんなことは一向に気にする様子のない前向きなトレーシーは見事レギュラーの座を射止め番組の人気者となってしまう。夢をかなえたように思えたトレーシー、しかし浮き彫りになるテレビ局の人種差別や、美人でスリムなライバル母娘の嫉妬と罠、いくつもの問題が彼女の前に現れる。人種差別反対デモの先頭に立ったトレーシーが警察から追われるハメになってしまう一方、生放送中の番組では“ミス・ヘアスプレー”ダンスコンテストの人気投票が行われていた。ベルマの不正も手伝って、アンバーが首位を独走する中、トレーシーは、警察が包囲するテレビ局に近づくことさえできない。最高のハッピーエンド目指して、トレーシーと仲間たちが立てた極秘計画とは？

I. 受験生に元気を与えた『ヘアスプレー』

私がこの作品に出会った時期は受験生の秋。センター試験に向けてカウントダウンも始まっていた頃である。音楽好きな姉に強引に連れられ少々乗り気でなかった私を、オープニング曲である「Good Morning BALTIMORE」は、いっきに私を『ヘアスプレー』の世界へと引き込んだ。主役のニッキーの前向きな生き方やあの笑顔にたくさん元気をもらい、受験の辛さを一夜にして吹き飛ばしてくれたのだ。

II. 今にも踊りだしたくなるような歌・ダンス

『ヘアスプレー』はオリジナル映画のコメディ要素と、ブロードウェイ・ミュージカルの楽しさを組み込んで練り上げられた作品。全編を通じて繰り広げられる歌とダンスはスケール感にあふれ、思わず一緒に踊り出したくなるような迫力である。実力者ぞろい出演者に引けをとることなくパフォーマンスを繰り広げるニッキーはこの

作品がデビュー作品である。“歌って踊れるぼっちゃりティーン”として募集された1000人の応募者の中から見事17歳にして主演に抜擢されたのだ。ニッキーの歌とダンスには見ている人を自然と幸せにしてくれる力があるように感じられた。

Ⅲ. 楽しいだけで終わらせない

アップテンポな歌とダンスでどんどん展開していく『ヘアスプレー』。しかし、あるシーンで楽しい気分から一変、涙するシーンがある。クイーン・ラティファの演じるメイベルが差別反対デモの行進の中で歌うシーンだ。歌詞と彼女の声が見事にシンクロし、その場の雰囲気ガラッと変えてしまった。楽しく明るいストーリーの中にある、重たく今なお続く、あってはならない差別問題。

また、ビッグサイズのママ、エドナを演じるのは、大物男優ジョン・トラヴォルタ。彼が特殊メイクを施し、“ママ”を演じることにも、従来の常識や世間の風潮にとらわれず生きることへの隠れメッセージが潜んでいる。一方、トレーシーを演じるニッキー・ブロンスキーは、オーディションを経て役を勝ち取った大型新人。出演前はアイスクリーム屋さんでアルバイトをしていたという無名のニッキーが、ビッグプロジェクトの主演に抜てきされるのは異例なことである。「男性が女性を演じたっていいじゃないか。新人が主演だっていいじゃないか」と、キャスティングを通しても粋なメッセージが伝えられている。

体系や肌の色、年齢、性別…そんなものは関係無く一人一人が明るく輝ける未来に変えて行こう！リズムの良い歌にパワフルなダンス、色鮮やかな衣装、個性の強いキャラクター…そんな外見の華やかさの裏にしっかりとしたメッセージが隠れている奥深い作品なのだ。

元気になれる映画『ヘアスプレー』

野原 由貴

① Yuki NOHARA ② Hairspray ③ 2007年 ④ 117分 ⑤ musical, love story
⑥ ニッキー・ブロンスキー（トレイシー・ターンブラッド役） ⑦ アダム・シャンクマン ⑧ ジョン・ウォータース:Hairspray（これを原作としたブロードウェイミュージカルもある） ⑨ 史上最重量級のシンデレラストーリー!? ⑩ I love the scene that a heroine fights with discrimination.

あらすじ：ヘアスプレー企業が贈る人気のTV番組「コーニー・コリンズ・ショー」に出演することを夢見る16歳のトレイシー。ダンスだってオシャレだって申し分ない彼女には1つだけ問題が……。それはBIGすぎるサイズ!!ところが、偶然番組のホストの目に留まりショーへの出演が決定!!愛しのアイドル、リンクと共演!?美人でスリムなライバル母娘が仕掛けた罠からトラブルに巻き込まれ、やがては指名手配まで受けることに……。そんな中、アメリカ中が憧れる一大イベント「ミス・ヘアスプレー」を決める大会がやってきた。果たしてその結末は!?

I. 私と『ヘアスプレー』

私のバイト先の映画館でアンコールシネマとして『ヘアスプレー』が上映されることになった。私は『オペラ座の怪人』や『CICAGO』などのミュージカル映画が好きなので、『ヘアスプレー』がミュージカル映画だと聞きとても興味を持った。映画には歌やダンスがたくさん盛り込まれていて、上映中ずっとわくわくしながら楽しく映画を見ることができた。

映画には黒人差別のことがでてくるなど、楽しむだけではなく私に多くのことを考えさせた。

II. 人と違って当たり前

人よりぽっちゃりしている主人公トレイシーとその母親。母親は自分の体系を気にして家に閉じこもろうとするが、トレイシーは人よりぽっちゃりしている自分の体系を個性だと言う。また、肌の色が違うことで差別されている黒人とも仲良くなり黒人差別撤廃を訴えるデモにも参加する。このトレイシーの姿から、私は人と違うからって気にすることは何もないのだと学んだ。私は人と違うことをすることにあまり自信が持てなかったり、すぐに人と同じような行動をとってしまったりするけど、トレイシーを見習って自分の個性を大切にしたいと思った。障害者差別や人種差別、男女差別など今もまだ多くの差別があ

るけど、周りの人との違いで差別を受けたり偏見を持たれたりするのはおかしいとこの映画を見て改めて思った。障害や人種の違い、男女の違いなどが個性の1つだとみんなが思える日が来ればいいなと思う。そして、差別がなくなってほしいと思う。

Ⅲ. 『ヘアスプレー』の魅力

落ち込んだ時、元気がない時、何かに悩んでいる時、是非この映画を見てほしい。主人公トレーシーの前向きな姿や映画に出てくるノリのいい歌やダンスで、きっと元気になれると思う。きっと歌を聞いたり、ダンスを見ているだけで、自然に笑顔になれるだろう。また、主人公の恋や主人公の両親の恋などのラブストーリーも大変楽しめる作品だ。元気になりたい人、勇気が欲しい人、ラブストーリーが見たい人にも私はこの映画を是非お勧めする。そして、トレーシーのように是非自分の夢を叶えて欲しいと思う。

『ターミナル』に見える人の温かさ

栗本 有人

① Yuto KURIMOTO ② THE TERMINAL ③ 2004年 ④ 129分 ⑤コメディ
⑥ トム・ハンクス ⑦ スティーヴン・スピルバーグ ⑧ 愛 友
情 ⑩ This movie is covered with Love and Friendship. If you watch it,
your heart must be warm.

あらすじ；クーデターによって祖国が消滅してしまったヨーロッパのクラコ
ウジア人、ビクター・ナボルスキー（トム・ハンクス）は、アメリカの空港
にて足止めを余儀なくされる。その足止めの期間は数か月にもおよび……。

I. この映画との出会い

僕が初めてこの映画を見たのが高校 2 年生の夏休みで、笑いもあり
そして感動もあり、心あつたまる映画でした。今年の 9 月にもテレビでやって
いて、ついつい見てしまうほどの作品だと思います。

II. 魅力

この映画は主人公が祖国の消滅で空港に取り残されてしまう悲しい物語か
も一見思うかもしれませんが、主人公が空港で必死に生活しているうちに友達
ができ、好きな女性もできて、その空港では有名人に。普通ではありえない物
語だとおもうけど、主人公の性格や振る舞いが身近に感じてしまうほどです。

III. 愛と友情

最後には少し悲しい出来事が起こりますが、友達のためにどうするべきなの
か、家族のため、愛する人のためにどうするべきか、そういったものが少し教
えてくれるそんなラストになっていると思います。

愛や友情・・・日ごろでは口にしない言葉だけど、誰だってこの二つがなけ
れば生きていけません。そんな身近なものがいっぱい詰まった作品です。

『ターミナル』から学んだこと

橋本 理菜

①Rina HASHIMOTO ②The Terminal ③2004年 ④129分 ⑤human drama ⑥トム・ハンクス
⑦スティーヴン・スピルバーグ ⑧なし ⑨マイノリティ、「待つ」ことの意味⑩Image of waiting
changed a lot after I watched this movie.

あらすじ：アメリカ、ジョン・F・ケネディ国際空港n国際線ロビー、入国手続ゲートでクラ
コージャ人のビクター・ナボルスキーは足止めされていた。母国のクラコージャで、彼が乗った
飛行機が出発した直後クーデターが起こり政権崩壊状態に陥り、事実上無国籍となってしまっ
たのである。彼のパスポートは無効状態となり、入国ビザは取り消されたのだった。入国も帰国も
できない中、彼はある約束を守るために空港で待ち続ける。

I. 『ターミナル』を知ったきっかけ

この作品は、有名なスティーヴン・スピルバーグ監督が手掛けたものとしてCMでも大きく取
り上げられていたが、私にとっては同監督の『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』（2002年）
の影響が大きかった。学校で鑑賞したときにとっても印象に残っていて、ぜひ見てみたいと思っ
た。今でも私の1番好きな映画である。

II. “ターミナル”の意味とマイノリティ

この映画では、地図上の山や川ではなく、人が大勢行き来する場所、人間の思惑が渦巻く場所
にこそ国境があるということを実感させられる。その多くの人間が存在するターミナルのなかで、
国籍という最大のアイデンティティをもなくした主人公は明らかなマイノリティである。初めは
彼を敬遠し見向きもしなかったスタッフたちも、しだいにかれの人柄に惹かれ応援するようにな
っていく。この場面では本当に心が暖まる。また、中でも彼のことを家族というようになる3人
の人物も、ここではマイノリティとしてみるができる。法律のまま動く閉塞的・官僚的な組
織と不自由の中でも自由を探す主人公との対比がおもしろい。

III. 待つということ

この作品の中では、“待つ”というテーマを読み取ることができると思う。作品中何度も出て
くる“待つ”という言葉の中には、様々な、特別な意味が含まれていた。普段の私たちの生活の
中で使われる、この待つという意味には、どこか分や秒刻みのニュアンスが含まれている。自由
でありながら、私たちは時間に縛られている。ところがこの作品の主人公の言葉には、前向きな
意味が含まれていたように感じたのである。“待つ”ことに前向きな意味など今まで見出す事な
どできなかった私は、この映画を見て待つことに対する考え方が変わった。何度見ても新たな発
見と感動を見つけることのできるこの話のことを多くの人に見てもらいたいと思う。

『レミーのおいしいレストラン』が教えてくれた友情の大切さ

杉山 美霞

①Mika SUGIYAMA ②Ratatouille ③2007年 ④112分 ⑤animation/comedy ⑦ブラッド・バード/Brad Bird ヤン・ピンカヴァ ⑨信じる気持ち・固い絆・互いに理解し合う気持ち ⑩I feel that best friend is very important. I decide to cherish my friend who is always next to me.

あらすじ：イタリア・パリを舞台とし、料理の才能が全くない若者と格別に嗅覚が優れたネズミとの友情を描くストーリー。ひょんなことからパリにある五つ星レストラン《グストー》で雑用係として働くことになったリングイニ。彼には料理の才能が全くないため、失敗ばかりして厨房のシェフたちに迷惑をかけてしまうこともしばしば。そんな姿を見るに見かねていたネズミのレミーは自分の嗅覚を生かしリングイニとともにおいしい料理をたくさん作っていく。

I. 『レミーのおいしいレストラン』を手にとった理由

大学に入って初めての夏休み。英語の宿題である映画紹介をするために、私は近くのレンタルビデオ店へ向かった。さんざん悩んだあげく、ディズニーアニメが好きな私は、映画館へ観に行くことが出来なかったこの作品を観ることに決めた。

II. 友情～互いに信じあうこと～

この映画を観て一番に感じたことは友達の大切さである。いつもそばにいたとしても、お互いに相手のことを思い合い、信じなければ友情は続かないと思う。この映画でのレミーとリングイニのように、時にはすれ違い、相手を誤解してしまうこともあるけれど、最後には相手のことを信じられるような友情はとても素晴らしいと思った。

III. オススメするワケ

この映画はレストランから憎まれているネズミが主人公である。私自身もネズミがあまり得意ではなく、厨房でネズミが調理しているなんて考えるだけでもゾッとしていた。しかし、実際にこの映画を観てみると、主人公のレミーはとても心優しいネズミで最初から最後まで全く嫌悪感を持つことがなかった。レストランとネズミという普通では考えられないような組み合わせが意外性をよび、とても面白かった。ネズミ嫌いの人たちが観ても十分楽しめる映画だと思う。

また、ディズニー特有のドキドキハラハラ感が今回もたまらなかった。スピード感あふれる映像は、大人も子どもも一緒に興奮できるだろう。

『レミーのおいしいレストラン』

山形 慎平

①Shinpei YAMAGATA ②Ratatouille ③2007年 ④111分 ⑤animation ⑥レミー, リングイニ ⑦ブラッド・バード ⑧ヤン・ピンカヴァ, ジム・カポビアンコ, ブラッド・バード ⑨ピクサー作品, 信じ合う気持ち ⑩I think that believing is very important.

あらすじ：料理が大好きなネズミのレミーは、一流レストランのシェフになることを夢見ていた。一方見習いシェフのリングイニがヘマをして、スープを台無しにしてしまう。その時に家族と離れ離れになったレミーがレストランにたどり着いた。リングイニのヘマを見たレミーは湧き上がる情熱を抑えきれずキッチンに足を踏み入れて夢中になってスープを作り直すが、それをリングイニに目撃されてしまった。料理の才能が無いことを悩んでいたリングイニは、この小さな天才シェフが人間の言葉を理解していると知る。そこで2人は協力をしてパリ1番のシェフを目指していく物語りである。

I. レミーのおいしいレストランとの出会い

以前CMなどでよくこの作品が紹介されている時から見たいと思っていた。忙しくなかなか見る機会がなかったがこの機会に見ることにした。楽しみにしていただけあって、111分食い入るように見ていた。

II. 信じ合い、協力、友情

レミーとリングイニはコンビ良くたくさんの困難を乗り越えていく。しかし、些細なことをきっかけに2人は離ればなれになってしまう。離れてからわかることや回りの人からの助言により2人はお互いの大切さを知る。そこに今までで最大の壁が立ちはだかる。レミー、リングイニさらには周りの人の協力もあり、一致団結した全員がその壁に立ち向かっていく。

III.

やはり周りの協力というのは必要不可欠である。たくさんの人の人間関係がよく描かれている。個性豊かな登場人物にも注目して見てもらいたい。この作品は1回だけではなく、何回見ても良いものだと感じた。

『ラストサムライ』にみる「武士道」

岡本 佳子

①Yoshiko OKAMOTO ②THE LAST SAMURAI ③2003年 ④154分 ⑤A historical drama, Action ⑥Tom Cruise, Ken Watanabe ⑦Edward Zwick ⑧なし ⑨武士道、ハリウッド、武士の時代の終焉 ⑩This movie taught me how to live. You should act on your own.

あらすじ：南北戦争の英雄でありながら、原住民殲滅戦に失望し酒に溺れるオールグレン。西洋式の戦術を取り入れて近代化を図ろうとする明治維新直後の日本に、彼は政府軍の指導役としてやってくる。ある戦いで、政府に反旗を翻す侍である勝元の捕虜となったオールグレンは、彼らと行動を共にするうちにその真っ直ぐで静謐な生き方、「武士道」に共感していく。

I. 『ラストサムライ』との出会い

私はもともと渡辺謙さんが役者として好きである。そのうえ、日本の文化や風習にもとても興味を持っている。だから、日本を舞台にした『ラストサムライ』がハリウッドで撮影され上映されると聞いた時、これはもう行かねばなるまいと映画館まで足を運んだ。これまで見たハリウッド映画は、日本の乱世を舞台にしている、時代考証がめちゃくちゃなことやどこか違和感があることが多かった。今回はどうだろうかと不安も抱えながらの観賞だったが、みるみる打ちにストーリーに引き込まれ、気づけば真剣に泣いたり怒ったりしていた。

II. 製作への熱意

ハリウッドで製作された以上、明治維新後の話なのに忍者が出てくるなど、ところどころにおかしなところは見受けられる。しかし、キャストの一人でもある真田広之が連日監督と協議を行うなどの尽力の甲斐あって、従来の外国映画ほどの違和感はなかった。背景は綺麗で日本描写も美しく、何より韓国人や日系アメリカ人で済ませてしまうことの多いエキストラまで日本人を採用しているという徹底ぶりは素晴らしい。役者の演技技術も高く、台詞のない場面でも観客を惹きこむ工夫が随所に見られる。

III. 「武士道」とは何か

この映画で全編を通じて追い求められているもののひとつが、「武士道」とは何か、である。勝元のように旧式にこだわり、己の道を貫くのもひとつ。政府側についた多くの人々のようにお国のために己を曲げてでも尽くすのもまた、そのひとつの形である。どちらが良いかなんて一概に言えるものではない。けれど、時代はどちらかしか選んではくれない。では、選ばれなかったほうが殉じた「武士道」は間違いだったのだろうか。たとえ負けても、本人たちにとってはそれが真の「武士道」であった。どちらかが間違いだなんてそんなはずはないのだけれど、では、そもそも「武士道」とは何なのだろうか。ひとつに固定されるものではなく、人によって変わってしまうそれは、「武士道」と呼べるものなのだろうか。

IV. 人は何を抱えて生きるのか

人は何を抱えて感じて思っ、そして生きて死ぬのか。対立して敗北していくほうにも、死んでいく人たちにも、心に守った大切なものはあるのである。負けたほうが絶対悪なのではない。彼らには彼らなりに譲れないものがあり、愛したものがあり、そしてそれらを信じて生きてただけであって、それは悪ではないのだろう。この映画を通じて、自分が大事にしているものが何か、もう一度考えてみてほしい。この問いかけには人によって多種多様な答えが存在するだろうけれど、その答えこそがあなたの「武士道」を構成するものなのだから。

『グリーン・マイル』から教わる、人間の生き方

島本 歌穂

① Kaho SHIMAMOTO ② THE GREEN MILE ③ 2000年 ④ 188分
⑤ ヒューマンドラマ ⑥ トム・ハンクス ⑦ フランク・ダラボン
⑧ スティーブン・キング：グリーン・マイル ⑨ 2000年アカデミー賞
（音響・脚本・作品賞）受賞、奇跡の力、生と死 ⑩ When I saw this
movie, I feel very happy to be alive. This movie taught me what
“living” and “death” are.

あらすじ：1999年のアメリカ公開以来、世界中の人々の心に響く名作。主人公のポールが看守主任を務める刑務所にひとりの大男、ジョン・コーフィーが送られてきた。彼は人の傷を癒す不思議な力を持っていた。その力を知ったポールや刑務所の仲間たちと、コーフィーの運命は果たして…。

I. 『グリーン・マイル』との出会い

私は中学生の頃洋画というものに全く興味がなかったが、たまたま母がこの作品をテレビに食い入るように見ていたことがきっかけで、私もこの作品のことを知る事となった。その後も何度かテレビで放送されるたびに、私はこの作品に惹かれていった。

II. 人を思いやることの大切さ

奇跡的な力を持っていながら世の中の悪事は止まず、長く生きれば生きるほどそれを見なければいけないからと死を選んだ主人公のジョン・コーフィー。

「正義は必ず勝つ」という子供のころから言われてきたことを覆され、正しくとも報われない悲しい世の中の現実をつきつけられた。それでもこの映画に心が温まるのは、自分を犠牲にしても人を助けたいという気持ちがたくさんつまった映画だからだと思う。私は、限りある人生の生き方をこの映画から教わったような気がした。

III. ずっと重いシリアスなテーマ

思ってもみなかったストーリー展開に、初めはとまどいを隠せなかった。「なんて残酷な…」と見たことを後悔すらした。しかしこの作品は簡単に答えが出るようなものではなく、作品が終わった後余韻に浸りながら振り返ることで、心の中に何か一言で表すことができないような感情が現れ、生きることとは何か、死ぬこととは何かという人間にとって非常に重要な問題を問いかけてくれる作品である。

『ショーシャンクの空に』での自由への信念

田中 紗耶子

①Sayako TANAKA ②The Shawshank Redemption ③1995年 ④143分 ⑤ human drama ⑥ティム＝ロビンズ
モーガン＝フリーマン ⑦フランク＝ダラボン ⑧スティーブン＝キング ⑨映画ファンの《踏み絵的作品》 本当の
幸せと自由 二面性を秘めた作品 ⑩I recommend that you see this movie. If you do so, you will be able to tell
the value of the movie.

あらすじ：主人公、アンディ＝デュフレーションは冤罪であるにも関わらず終身刑となり、ショーシャンク収容所に連れて
行かれてしまう。理不尽な判決、随った囚人たち、刑務所内での暴行、つらい重労働、蛆虫つきの食事・・・このよ
うな地獄の底に大人しく死を待つはずがなかったアンディは脱獄を企てるのであった。

I. この映画を観るに至った経緯

友人の多くがこの『ショーシャンクの空に』を好きな映画、オススメの映画としていたため、「どんな映
画なのだろう？」と疑問に思い、今回観てみました。

II. 人の持ち合わす残酷さと温かさ - 《絶望と希望》 -

収容所では人としての権利などといったものは一切無視され、囚人は看守に暴力をふるわれ、時には殺
されることも・・・残酷な収容所内でもアンディとその仲間たちは人の道を踏み外すことなく過酷な状況
の中で助け合って生きていく。そこで生じる会話と笑顔は刑務所内の人間がとつくに失ってしまったもの
のように感じられた。

III. 本当の幸せ、本当の自由とは何なのか？

アンディの仲間のうちの1人、ブルックスは罪を償い終え、刑務所の外に出る。これで自由！幸せだ・・・
と思いきや、スーパーでバイトをし、社会に馴染もうとするものの、どこか居心地が良くない。ひどいも
のだったがみんなといた刑務所時代の方が彼には幸せだったのである。病んだあまり、老いた体はとうと
う首を吊ってしまう。そして、仲間の中でも特に仲の良かったレッドが今度は出て行く。別に狂喜するこ
となく、バイトの日々を過ごすレッド。これではブルックスと変わらない。憂鬱な毎日を過ごす中、レ
ッドはふと脱獄したアンディとの約束を思い出し、ブルックスとは違う方向に目を向け始めた・・・。

この作品はとても鮮明に且つ繊細に人の感情を描いているものだと思います。印象に残ったのは、ブ
ルックスの死後に主人公が刑務所の放送室に入り、ブルックスのレコードの「フィガロの結婚」を刑務所
全体に流すシーンでした。ブルックスのレクイエムは荒れた囚人たちを、看守でさえその歌声に耳を傾け
る者がいたほどに、心に染み透るものであった。刑務所の所長とその側近は放送室に駆け込み、中にいる
アンディを罵倒していたが、音楽を長く聴いていなかった者の耳には素晴らしい刺激だったのではないか
と思われた。幸福と不幸の訪れは思いもかけないものである。意図的に起こされた不幸を乗り切る主人
公の自由への信念には驚きました。普通なら絶望のあまり、そんな気力、精神的余裕はおそらく無いだろ
うと思われるところであるにも関わらずに。

一度観てみるといい。友人たちが好きな映画のうちにカウントしていた理由がわかったような気がしま
す。観て良かったと思いました。

『プライベートライアン』から学ぶ生きる意味

大越智 博紀

① Hiroki Ogochi ② Saving Private Ryan ③ 1998年 ④ 170分 ⑤ war ⑥ Tom Hanks ⑦ Steven Spielberg ⑧ 第二次世界大戦 アカデミー賞5部門受賞作品 ⑩ I learn meaning of living. This movie teaches us what is important of life.

あらすじ：ノルマンディー上陸作戦においてオマハ・ビーチ上陸作戦を生き残った中隊長であるジョン・ミラー大尉は、ジェームス・ライアン二等兵をノルマンディー戦線から探し出し、無事帰国させるため、敵陣深く進入する危険な任務へ赴く。4人兄弟であるライアン二等兵の3人の兄は既に皆戦死し、軍は母親のため彼の救出を命じた。しかし、作戦を進めるにつれ、次第に1人のために8人もの兵士が命をかけるこの命令に疑問を抱くようになる…

I. 衝撃的な冒頭の30分間

私がこの映画と出会ったのは、小学6年生の2月か3月頃だった。翌日に剣道の試合を控えた中で観た「日曜洋画劇場」という番組である。ここまで詳しく覚えているのは、冒頭の30分間にわたる上陸作戦のあまにリアルな描写のためだろう。番組の始まりでは確かそのことへの注意がなされており、私自身も何度か目をつむった記憶がある。それにもかかわらず最後まで見続けたのは、単に戦争の恐怖だけでなく、何か強烈な魅力を感じ取ったからだろう。

II. 1人のために8人が命をかけるとは

どのような状態であっても、1人のために8人が命をかけるとはたやすいことではない。しかもそれが、他人のため、さらに戦争という全ての人間が死と隣り合わせであるという極限状態であればなおさらのことである。任務を任された際にミラー大尉はチームのリーダーとして、「これは広報活動だ」とし、国が戦争に勝つために必要なことだと理解しようとするが、多くの兵士はこの命令に納得しない。チームの一人を失った際にミラー大尉はこれまで戦場で持っていた、部下を亡くした時の考え方について語り、今回の作戦と照らしあわせる。このあたりから、それぞれが1人のために命をかけることについて真剣に考えるようになり、自分でも何が大事なのかをかんがえさせられた。最後のシーンでミラー大尉がライアンへ送った「無駄にするな、しっかり生きる」の言葉がとても印象的だ。そして現在のライアンの回想へ戻りライアンの6人の子供たちを再び見たとき、8人が1人のために命をかけたことの意味を彼がしっかり受けとっていることを知りうれしかった。

III. それぞれの思い

この映画では主人公のミラー大尉はもちろん登場人物それぞれの感性がよく描かれている。そのなかで特に通訳として1人ほかの隊からこのチームに参加したアバム伍長の存在が大きかった。もともと戦闘は専門でない彼が、他人のために前線へと向かい多くのことを経験し考える姿には私たちのような戦争とは関係のない者に戦争が実にどのようなものなのかを教えてくれる。特に、アバム伍長が仲間を制して助けた敵兵が、再び敵として目の前に現れたシーンは戦争がもたらすものが感じられる。

この映画は戦争賛美や、反戦といった内容がほとんどなく、また敵対関係にある国々を極端に善と悪として捉えていない点にもこの映画のよさがあらわれている。残酷なシーンが多いため授業で用いることは難しいが、戦争というものを実によく表しており、是非とも見てもらいたい作品である。

『硫黄島からの手紙』が伝えるもの

来田 千尋

①Chihiro KIDA ②Letters from Iwo Jima ③2006年 ④141分. ⑤War Movie ⑥渡辺謙 二宮和也 ⑦Clinton Eastwood Jr. ⑧『許されざる者』や『ミリオンダラー・ベイビー』などを手がける。⑨World War II、硫黄島、栗林中将 ⑩I learned the actual conditions about World War II. This movie tells me the fact, not misery.

あらすじ：太平洋戦争最中の1944年6月。日本側の戦況が悪化の一途を辿るなか、本土防衛の最後の砦であった硫黄島へ、陸軍中将、栗林忠道（渡辺謙）が派遣される。指揮官に着任した彼は、アメリカ留学の経験を生かし作戦の近代化に着手する。5日で終わるとされたアメリカ軍との硫黄島での戦いを36日間戦い抜いた、日本軍の姿を陸軍一等兵西郷昇（二宮和也）の視点から淡々と描く。

I. きっかけ

私がこの作品に興味を持ったきっかけは、高等学校3年時のクラス担任の先生のお話である。世界史を専門とされているその先生が、世界史の時間に太平洋戦争について学ぶなかで『硫黄島からの手紙』という映画を紹介してくださった。私は当時この映画については戦争の映画であることしか知らなかったが先生のお話に引き込まれ、その授業が終わるころにはもう観たくて仕方がなくなっていた。周りの友人も同じ感想であった。しかし、その数日後にさっそく観た友人の話では、とにかく生々しい、ということだった。それを聞いた私はためらった。戦闘場面のあまりに生々しいものを見るのは苦手だからである。しかしやはり、先生のおっしゃっていた5日で終わるはずであったにも関わらず36日も持ちこたえたという硫黄島での戦いが、名将栗林中将の戦いぶりが、家族への手紙が観たくて、この映画を観た。

II. 日本人の記憶を忘れない

終戦から年月が流れ、日本は私を含め多くの国民が戦争というものを体験していない国となった。多くの日本人が学校へ通い「平和学習」なるものを受けるが、そのなかで硫黄島での戦闘は語られないことが大半だと思われる。広島、長崎に象徴されることが多い「戦争」だが、そこにあるのは本土の姿だ。硫黄島には戦う姿がある。本土の国民を一日、一秒でも長く守るために命をかける姿が。決して帰ることはできず、それを理解したうえでなお家族のもとへ帰ることを夢見て孤島で戦う日本人の姿がある。この映画は名将栗林忠道陸軍中将を主人公としているわけではない。陸軍一等兵、西郷昇である。西郷はパン屋という少々無理のある設定だが、彼の家族を思う気持ちは全ての日本兵に通じる。彼等日本兵の記憶をこそ忘れてはならないと、この映画を見て強く感じた。

III. まとめ

簡潔に言うと月並みになるが、一人でも多くの人にこの映画を観てもらいたい。私のように生々しい戦闘場面を見るのが苦手な人にもだ。日本人、アメリカ人だけにでもない。戦争を題材とした映画は数多くあるが、この映画が伝えるものはよくあるように戦争の悲惨さではない。硫黄島での戦争そのものをただ淡々と、本当に淡々と伝えてくれるからだ。

『イルマーレ』に学ぶ “愛と時間は無関係”

下山 未来

① Miku SHIMOYAMA ② The Lake House ③ 2006年 ④ 98分 ⑤ love story
⑥ キアヌ・リーブス/サンドラ・ブロック ⑦ アレハンドロ・アグレスティ ⑧
時越愛(韓国映画/2002年) ⑨ ファンタジー・ラブストーリー、時空を越えた
愛、過去と未来をつなぐ手紙 ⑩ This movie was the one that it is made to
think, “It was likely to be able to get it over if there was love by what” .
I want to value various love that overflows in surroundings.

あらすじ：韓国映画のハリウッド・リメイク。建築家のアレックスは、湖上に建
つガラス張りの家に引っ越してきた時、郵便箱に以前この家に住んでいたとい
う女医のケイトからの手紙を発見する。しかし、この家にはもう何年も誰も住
んでいないはずであった。返信した彼は、ケイトが2年先の未来から手紙を投
函していることを知る。彼らの文通はロマンスの兆しを見せ始め、2つの人生
が思いがけない形で交錯するが、2人がコンタクトしようとする時、危機が訪
れる。

この作品との出会いはまったくの偶然であった。高校1年生の秋、友達3人と映
画を見に行く約束をしたところ、洋画好きの1人が『イルマーレ』を見たいと言
い出した。私はそれまで映画館では邦画しか見たことがなく、ストーリーも知らな
かったため、そこまで期待せずに見に行ったのだが、見終わると涙を流している自分
がいた。ここまで感動した映画を観たのは久しぶりで、心に残る作品となった。

様々な障害はつきものの恋愛映画だが、この作品の障害はただものではない。距
離や彼女の父親、価値観の違いなどではなく、“時間の差”なのだ。文通によって
惹かれあうふたりだが、その間には“時差”という言葉ではあわせない2年とい
う時間が横たわる。「あなたと一緒に歩けたら・・・」という未来を生きる彼女・ケ
イトの願いを叶えるべく、「時を超えても、必ず君のそばへ行く」と一途に想いを
募らせ、時を待つアレックスの姿に恋の奇跡を感じることができる。

相手の顔も声も知らないのに恋愛に発展し、さらにメール全盛のこの時代に文通
で惹かれあうという状況が、感情移入しやすいになっているのだと思う。大人のふ
たりは、自分をとりまく状況や2年という時間の差を考え一度は想いに蓋をするの
だが、本当に自分がいるべき“居場所”や一緒にいるべき相手がどこに存在するの
かを見つける。その時の感動は今でも深く心に刻まれており、是非ともたくさんの
人にこの感動を感じてもらいたい。

様々な『バンテージ・ポイント』で見る一つの事実

岸 美津紀

①Mitsuki KISHI ②VANTAGE POINT ③2008年 ④90分 ⑤サスペンス・アクション ⑥デニス・クエイド、フォレスト・ウィットカーなど ⑦ビート・トラヴィス ⑨視点、大統領、時間 ⑩I thought that things differ from different view points.

あらすじ：場面はスペインでの大統領による演説である。その演説中に何者かによって大統領が狙撃されてしまう。その狙撃の瞬間を目撃した数人の人たちの視点により物語は進んでいく。1つの事実を違う視点から見つめ、事件の真実に迫っていくサスペンス映画。

I. この作品との出会い

私はこの映画を映画館で始めて見た。大学受験が一段落ついて、姉に誘われて見に行った。本当は違う映画を見に行くつもりだったが、映画のチケット売り場にあるテレビの予告でとても印象があり、面白そうだったので見ることに決めた。映画の内容は、同じ場面を繰り返すことが多く、「これが8回も続くのかな～」と思っていたが、話が進むにつれ、視点ごとに新たな事実がでてくることにより深く映画に引き込まれた。最後の結末がどうなるのか予想するのが難しく、わくわくする作品だ。

II. 斬新な物語の進み方

この映画様な物語の進み方は初めてだった。同じ場面を何回も違う視点で見て、進んでいく。回数を重ねるごとに新たな事実が生まれ、パズルが完成していくかのように物語がつながっていく。初めは誰が本当のことを言っているのかわからないし、何が真実なのかもわからなく、モヤモヤした気持ちになる。しかし、時間が経つにつれて真偽がわかるようになり、物語が解決することにより爽快感すら覚えるようになる。

III. 様々な視点

この映画は題名どおり、様々な視点で「大統領暗殺」という1つのものを見つめる。私はこの映画と実際の生活で起こることは同じだと思う。私たちは物事を基本的には1つの視点からしか見ないし、いろんな視点から見ることは難しい。しかし、いろんな視点から物事を見ることにより、今まで知る余地もなかったことを知ったり、考えついたりして、物事の違う一面を見ることができるともかもしれない。物事は1つの意味だけではないことを気づかせてくれる作品である。

『キューブ』

～窮地に追い込まれた人間の本質～

加藤 翔

①Sho KATO ②CUBE ③1989年 ④91分 ⑤サスペンス ⑥モーリス・デ
イーン・ウイント ⑦ヴィンチェンゾ・ナタリ ⑧なし ⑨箱 ⑩I like the
suspense.

あらすじ：目が覚めると謎の立方体(CUBE)にいた。誰が何の目的で閉じ込めたか
も分からないまま、数人の男女が死のトラップが張り巡らされた謎の立方体(CUBE)か
らの脱出を試みる。

1. 作品との出会い

友人と大学の図書館で何か映画を見ようという話になりこの映画を見ることになりました。正直、最初はタイトルも知らないし内容も複雑そうで乗り気ではありませんでした。けれど、見ているうちに興奮してきました。

2. 人間の本質

この映画はCUBEという建物のなかに閉じ込められた人が、窮地に追い込まれたときにどういった行動をするかが見所です。主人公の一人は、最初こそリーダーシップをとってみんなをまとめていたものの、追い込まれて仲間になり散らすようになり、仲間の一人を事故に見せかけて殺害します。この映画はスリルと同時にいかに人間が醜くなれるかを描いた映画だと思います。

3. 人を裏切らないこと

人間は心のなかでどう思っているかはたから見たらわからない動物です。だから実はこの人はこういう人だったのかと思うことがあるかもしれません。しかし、私はどんなことがあっても仲間を裏切らないことを忘れないようにしたいとこの映画を見て思いました。

『Mr. & Mrs. Smith』の世界

芦田 和佳

①Waka ASHIDA ②Mr. & Mrs. Smith ③2005年 ④118分 ⑤action entertainment ⑥ブラッド・ピット (William Bradley Pitt) / アンジェリーナ・ジョリー (Angelina Jolie Voight) ⑦ダグ・リーマン ⑧なし ⑨殺し屋、夫婦ケンカ、コメディタッチ ⑩I knew the terror of a quarrel between husband and wife when I watched this movie.

あらすじ：一目で恋におち、電撃結婚してしまった殺し屋同士の夫婦。相手が自分と同じ家業だなどとは想像もせず、表面上は平和に暮らしていた。そして、結婚生活も6年目を迎えて少々倦怠ムード。ある日、2人は互いの属する組織から同じ標的を抹殺する指令を受ける。結果は相手に邪魔されて大失敗。二人は邪魔をした殺し屋を探っていくうちにお互いの正体を知ってしまう。そして、世界一怖い夫婦ケンカが始まった……。

I. 二大スターの競演

この映画の目玉のひとつは、なんといってもブラッド・ピットとアンジェリーナ・ジョリーというハリウッドのスターが二人も出演している事だ。これは私がこの映画を見たいと思うようになったきっかけでもある。私は外国の芸能人についてそれほど詳しいわけではない。それでもこの二人のことは知っていたし、何よりも、黒地のポスターにそれぞれ黒のタキシードと黒のドレスを着て写る主演二人の姿が私にはとても魅力的だった。

II. 隠し事が発覚するまでの探りあい

お互いの家業が殺し屋だということはすぐに発覚するわけではなく、「そんなばかな」「もしかして」とお互いを疑うところから始まり、見ている人をととてもやきもきさせる。しかしそこがまたおもしろい。特に、お互いの家業がほぼ発覚した後に初めて二人が顔を合わせるキッチンでのシーンはよくできている。二人はいつもと同じように接しているのにいつもと違うのは互いが殺し屋だとほぼ確信していることで、いつ爆発するかわからないようなそんな殺気がひしひしと感じられる。まさに嵐の前の静けさである。

III. 殺し屋同士のケンカ

一度けんかが始まると、その方面ではプロ同士の二人なので相手を負かすための手段を選ばない。二人とも一撃必殺の本気の殺し合いである。しかし、それらはすべて言ってしまうとただの夫婦ケンカなのである。そう思いながら見ていると、二人の格闘シーンも笑えてしまうのだ。また、そのような中でお互いの存在の大切さに気付いていき、そして二人が殺しあう原因を作った真の黒幕の姿が見えてくるのだ。

『DREAM GIRLS』にみる夢を諦めないことの大切さ

村上 由佳

①Yuka MURAKAMI ②Dream Girls ③2006年 ④130分 ⑤entertainment ⑥ビヨンセ・ノウルズ ジェニファー・ハドソン⑦ビル・コンドン ⑧エンターテインメント映画の至福の傑作、商業主義に埋もれゆく夢、アカデミー賞受賞(当時) ⑩No matter what happens, if you don't abandon your dream, it come true. Also I know that money can't buy dream. Dream is a thing that our effort can get.

あらすじ：1962年のデトロイト。抜群の歌唱力を持ったエフィーをリードボーカルとした、ローレル、ディーナの3人組はオーディションに出場した際に、カーティスという男に目をつけられ、有名なシンガーであるジミー・アーリーのバックコーラスとなる。次第にヒット曲が連発され、やがて3人組はドリームガールズとしてデビューすることになるが、カーティスは商業的意図から、ルックスのいいディーナをリードボーカルにしたほうがいいと考え、エフィーをリードボーカルから降ろしてしまう。愛するカーティスに裏切られたエフィーは意気消沈し、周囲に当り散らす、それがきっかけで反感を買い、グループを脱退させられてしまう。エフィーは愛する人も夢をもすべて失ってしまったが、彼女には歌を愛する強い気持ちが残されていた…。

I. 歌声に魅せられて

わたしがこの作品と出会ったのは、映画のCMを見た際である。短いCMであったが、そこで流れる曲のすばらしさと力強い歌声に魅せられて、この映画をぜひ見てみたいと思った。またキャストを見ると、ビヨンセやエディ・マーフィといった有名な歌手がそろっていたので、彼らがどのような演技をするのかが気になり、この映画に大変興味を持った。

II. 感情を込めた歌と夢を諦めない強い気持ち

この映画では役者それぞれの感情をすべて歌に込めて歌っている。歌詞を見ると、彼らの思っていることがストレートに伝わってきて、心を掴まれる。また、感情の高ぶりを見事に表現した歌声は、本当にすばらしく、感情移入してしまう。そして、金儲けのために夢を奪われたエフィーが、もう一度ステージの上で歌いたいという夢を持って、様々な困難にもくじけず立ち向かっていく姿は、本当に感動し、見る人に勇気を与えるだろう。

III. 当時の黒人が置かれていた状況

この映画をじっくりと見ると、キャストのほとんどが黒人である。そしてストーリーの中でも、黒人である彼らの曲が白人に奪われたり、黒人系ラジオ局でしか扱ってもらえなかったりというシーンが出てくる。このようなシーンからは当時の黒人が弱い立場に置かれていたことがよく分かる。しかし、ドリームガールズのすばらしい曲に白人たちも魅せられて行くというストーリー展開から、人種なんて関係ない!といったメッセージが含まれているように感じた。この映画は、人種差別反対を訴えている映画でもあるように思う。

『クレマー・クレマー』にみる家族の絆

辻井 美奈

①Mina TSUJII ②Kramer vs. Kramer ③1979年 ④105分 ⑤ヒューマンドラマ ⑥ダスティン・ホフマン、メリル・ストリープ ⑦ロバート・ベントン ⑨アカデミー賞主要5部門→受賞、家族の絆、男女の労働観の差 ⑩I felt the families love because I saw this movie. I want to make a happy family in the future.

あらすじ：夫が仕事で決定的な成功を手に入れようとしている時、妻は突然「自分を取り戻す」と言って家を出ていってしまう。残された夫は、7才になる息子と二人で暮らすことになる。今まで家事などやったことのない夫は、失敗の連続。仕事は、息子の存在が邪魔になってだめになってしまう。しかし、やがて息子との間に今まで以上の愛情が生まれるようになる。だが、そこに妻が再び現れ、息子を引き取ると言ってくる…。

この映画を通して、強く感じたことは家族はいつでもひとつであるということである。夫がいやになり、自分を取り戻すために家を出た妻、残された夫と子ども。夫と子どもは最初、フレンチトーストもうまく作れない。しかし、最後には二人で協力して作る。そのシーンには二人での生活、親子の愛、絆、すべてが映し出されているようにみえた。

子どもを愛しているのに家を出て行く決心をした妻は、とても勇気のいる行動をした。この家を出て行くということに関して、男女では見方や考え方が違うのではないだろうか。仕事を一番に考えるのか、家族のことも考えて欲しいと思うのか。いつもだれかの妻であり、母親であり、娘であり、本当の自分がわからなくなるのは、いつの時代でもかわらず永遠の問題である。このテーマを表していることで、この作品が色あせず、どの年代にも受け入れられると感じた。また、観ていてあきない構成になっていて、とても観やすい作品だった。

『シックス・センス』～心の傷からの回復～

小松 真之

①Masayuki KOMATSU②The Sixth Sense③1999年④110分⑤新感覚スリラー⑥ハーレイ・ジョエル・オスメント、ブルース・ウィリス⑦M・ナイト・シャマラン⑧未知の世界、第六感⑩I was made to cry for the first time by the horror movie. Watching only once is not enough to understand this movie.

あらすじ：全米で最古の町並みを残す古都、フィラデルフィア。気鋭の小児精神科医のマルコム・クロウは、卓越した技量と自身によって多くの子どもの心を癒してきた。一人を救うことが出来ずに死なせてしまうまでは、その「事故」があつてからというもの彼はすっかり自信を失い、最愛に妻との会話もなくなり、もはやかつての自分ではなくなっていた。そんな時彼は一人の少年と出逢う。コール・シアー、8才。母親と二人暮らしの少年は、常に何かに怯え、深く心を閉ざしていた。彼はなんとか少年の心を開こうと必死に努力を重ねる。そして、自分の弱さをさらけ出して少年に向き合ったとき、少年は「孤独」の内に秘めた、ある秘密を打ち明ける。

I. 『シックス・センス』との出会い

私がこの作品を初めて見たのは、家でテレビを見ていて適当にチャンネルを変えていたときだった。最初は作品のタイトルすら知らず、あまり見る気も無かった。でもそのときは、ほかに見たい番組も無かったので、暇つぶしぐらいにはなるかなと思ってなんとなく見ていた。しかし、だんだんと話が展開してくると暇つぶしに見ようと思っていたことを忘れ夢中でこの作品を見ていた。

II. 珍しいタイプのホラー

この作品は派手な視覚効果や音響効果で見ているものを圧倒するような「アメリカ」らしいタイプの映画ではない。ホラー映画なのに見終わってみると自分が泣いていることに驚いてしまう。

そして映画の冒頭には、「この映画のストーリーには“ある秘密”があります。これから映画をご覧になる皆様は、その秘密をまだご覧になっていないお友だちやご家族に、決してお話にならないようにお願いします。」というメッセージが流れる。このメッセージが意味するようにこの映画には多くの“謎”が含まれている。おそらくこの映画の中に出てくる“謎”は、映画を一度見ただけではほとんど解決することは無いと思われる。一度見ただけでは、「えっ！」と言ったきり呆然としてしまうことは間違いない。そのために、二度三度とこの映画を見ることをお勧めしたい。

また、この映画はホラー作品という位置づけなのに泣けるのである。だがただ単にこの作品を見ているだけでは泣けない。ハーレイ・ジョエル・オスメント扮するコールの背後にある“謎”のことやコールだけに見えてしまう物の“謎”を感じ取ったときに、初めて泣けるホラー映画となるのである。

III. 心の傷の苦悩とそこからの回復

人は誰でも、心の傷や人には言いたくも言えない秘密をひとつは持っているものである。これらのことは自分ひとりで解決することは、とても難しいものである。しかし、自分にきちんと向き合ってくれる人に、思い切って打ち明けてみることで救われること、誰かにきちんと向き合い救おうとすることで逆に自分が救われること。この映画はそういったことを教えてくれる映画だと思う。

『BIG FISH』の世界

大野 恵実

①Emi ONO ②BIG FISH ③2004年 ④125分 ⑤fantasy ⑥ユアン・マクレガー ⑦ティム・バートン ⑧ダニエル・ウォレス：ビッグ・フィッシュー父と息子のものがたり ⑨父と息子の関係 愛 幻想的な映像 ⑩The fantastic world made me happy.

あらすじ：自分の人生の思い出話をまるでおとぎ話のように人々に語る父、エドワード。人々を幸せな気分にするその話をおとなになった息子ウィルは好きになれなかった。疎遠になった父と息子の関係であったが、ある日母親からウィルのもとに父親の具合がよくないとの電話がはいる。

I. 見るものを惹きつけるファンタジーの世界

私がこの作品を知ったのはテレビでやっていた予告編だった。まるで不思議の国を連想させる映像の数々。その優しい雰囲気一気に惹きつけられた。

II. 映画の魅力

物語は病気で弱っていく父とその家族との関係を軸に、父自身が語った若き日のエドワードの人生をおりませながら展開していく。父の話すエピソードの一つひとつが印象的である。中でも一番のお気に入り、エドワードがさまざまな手をつくして妻となる女性にプロポーズする場面である。特に一面の水仙は二人を最高に幸せにしてくれる。物語自体は父の死という重くなりがちな内容をふくんでいるが全く暗くはならず、むしろ父の残した温かい思い出により優しい気持ちになれるだろう。

III. 大切なのは…

息子のウィルは父親の本当の姿を知りたいと真実だけを求めようとする。しかし、父親やその周囲と向き合っていくうちに、本当に大切なのは事実を知ることではないと気付いていく。自分の気持ちに正直に生き、妻を一番に愛し、みんなを幸せな気分にする、それが父の姿である。最後の父と息子とのシーンが感動です。

『ティム・バートンのコープス・ブライド』—哀しくも惹かれる—

坂東 琢磨

①Takuma BANDO ②Tim Burton`s Corpse Bride ③2005年 ④76分 ⑤ストップモーション・アニメーション ⑥Johnny Depp Helena Bonham Carter ⑦Tim Burton ⑧ジョン・オーガスト ⑨朽ちた肉体に宿る汚れなき想い ⑩This movie is a tragic but beautiful story. There is no doubt that you will be really taken with this work.

あらすじ：舞台は19世紀のヨーロッパにある小さな村。成金の金持ちだが魚屋で品格のないヴァン・ドート夫妻の息子ヴィクター（声：ジョニー・デップ）は、貧乏だが貴族であるエバーグロット夫妻の娘ヴィクトリア（声：エミリー・ワトソン）との結婚が親同士の政略により勝手に決められていた。お互い、逢ったこともない人と結婚することを不安がってはいたが、結婚式の前日、式のリハーサルのために初めて対面するとまんざらでもない様子 of 二人。しかしドジなヴィクターは緊張の余り、リハーサルで失敗をしてしまう。怒った牧師に「台詞を覚えるまで結婚は延期」と言われ落ちこんでしまうヴィクターだった。彼は一人、夜の森で結婚式の練習をする。すると、すらすらと結婚の誓いの台詞が言えたではないか。調子に乗ったヴィクターはその辺に突き出ている枝を花嫁ヴィクトリアの指に見たて、指輪をそこへはめる。しかしその行動が一大事を引き起こす。枝だと思っていたのは“コープス・ブライド”（死体の花嫁）の指だった。結婚の誓いをされたと勘違いしたコープス・ブライド（声：ヘレナ・ボナム＝カーター）はヴィクターを花婿と信じこみ、彼を地中にある”死者の世界”に連れていってしまう。しかし、死者の世界はヴィクターがいた村とは大違い。にぎやかに歌うガイコツ、24時間営業のパブ。ヴィクターは死者の世界に魅せられてしまう。

I. はじめに

私がこの作品を出会ったのは、観ようと思ったのは、監督であるティム・バートンの作品を以前に観たことがあったからだ。こちらは有名になっているので知る人も多いだろう、そう、『The Nightmare Before Christmas』である。少し恐ろしいながらも、哀しく、人間味溢れるティムの人形たちに私は魅了されていた。そして今作にも…。

Ⅱ. 哀愁漂う魅力的なキャラクター達

今作『Tim Burton's Corpse Bride』に登場するキャラクター達は全てストップモーション・アニメーションという技法で描かれている。これは静止している物体を1コマ毎に少しずつ動かしてカメラで撮影し、あたかもそれ自身が連続して動いているかのように見せる映画の撮影技術である。1～2秒を撮影するのに12時間程を要することもあったという話を聞き及んでいる。だがその甲斐あってか、登場人物全てが画面中で躍動している。踊る骸骨に、はしゃぐ芋虫。だがそんな奇怪なキャラクター達にもどこか哀愁を感じさせられる。彼の描くキャラクター達は どうしてこうもおかしくも哀しいのだろうか。ストーリーもさることながら、細かく描かれ続けられるキャラクター達に惹きこまれていく作品である。

Ⅲ. テーマは「愛」

主人公であるヴィクターは親の取り決めた結婚に思い悩んでいた。未だ見知らぬ人と結婚するなんて…。しかし結婚前日出会った二人は次第に惹かれ合っていく。だが、思わぬ事態に引き裂かれる二人。二人の想いは？そして死者の世界で芽生えていく「愛」。三角関係のセオリーを越えて三人とも幸せになってほしいと願わずにはいられない作品。「花嫁はどんな時でも、真実の愛と、永遠の誓いを待っている…。」ぜひご観賞あれ。

『スウィーニー・トッド／フリート街の悪魔の理髪師』その映像美

田川 穂高

①Hodaka TAGAWA ②SweeneyTodd／The Demon Barber of Fleet Street ③2008 年 ④117 分 ⑤ musical, horror ⑥ジョニー・デップ ⑦ティム・バートン ⑧スティーヴン・ソンドハイム ⑨トニー賞受賞(当時), 復讐, 血 ⑩ I feel brightness of blood and horror of vengeance. Screen image is so beautiful. Please see this movie.

あらすじ：19 世紀ロンドン。ベンジャミン・バーカーは理髪店を営んでいたが、悪徳判事タービンの陰謀により無実の罪を着せられ投獄されてしまう。15 年後脱獄を果たし、スウィーニー・トッドと名前を変えてフリート街に戻ってきたバーカーは、妻と娘の悲惨な運命を耳にする。そして再びフリート街に理髪店を開き、鋭利に研ぎ澄まされた剃刀を手にした恐ろしい復讐を始める。

I. この映画との出会い

ある日、近所のレンタルショップに足を運んだときのことである。特にどの映画を借りようとしていたわけではないが、パッケージの画像の綺麗さに惹かれて思わずこの作品を手にとっていた。そして帰宅後すぐに鑑賞してみた。

II. 見所

この映画の見所としては、常に気を抜くことの出来ない緊張感、見る者をその世界に引き込む独特の映像美、そして登場人物がその高揚した心情を、ミュージカル風に自ら歌で表し、聴覚からも楽しむことができ、常に飽きさせないという点などがある。

スウィーニー・トッドが剃刀を片手に、客の背後に廻るときは大変はらはらとさせられ、又、その剃刀によって殺人が犯されたときに喉元から噴き出す鮮血には、目を覆いたくなる反面、トッドの歌にも表されている様に、赤いルビーのような美しさも伺えた。

凄惨なシーンを際立たせるようにフリート街の空は常に曇り、トッドの表情にも暗雲がたれ込んでいるようである。しかし、暗いシーンばかりではなく明るい色調のシーンもあり、その点でも飽きさせられることはない。が、やはりその明るいシーンにもどこか違和感があるのだ。その点に関しては是非直接この作品を見て確認して頂きたい。

III. 全体を振り返って

どのシーンも刺激的で大変強く印象に残っているのだが、その中でも特に印象深い場面は、やはりいよいよ復讐がなされるという場面である。トッドの憎しみのこもった攻撃とその表情に思わず息を呑んでしまった。

復讐と血の一色では少々最後まで見づらくなっていたであろうが、この作品には、愛も描かれている。船乗りがトッドの娘であるジョアナを救い出そうと奮起するのも愛によるものであるが、私は、トッドの復讐も、愛が恐ろしい魔物に姿を変えたものであると感じている。愛がなければ復讐は起こりえないと思うのだ。

IV. 一口メモ

今作品、主役を演じたジョニー・デップは自分の血を見るのも苦手である。この作品の象徴とも言える血との戦いが、ジョニーには課せられていたのだ。

『チャーリーとチョコレート工場』とお菓子の世界

吉田 知美

①Tomomi YOSHIDA ②Charlie and the Chocolate Factory ③2005 ④115分 ⑤
Comedy, Fantasy, Family ⑥Johnny Depp ⑦Tim Burton ⑧Roald Dahl, Charlie and the
Chocolate Factory ⑨お菓子の世界, ロアルド・ダールの児童書, 現代の子供 ⑩We can see the
world of sweets that we used to dream when we were children. This movie can be enjoyed
by people of all ages.

あらすじ: 貧しいながらも家族と幸せに暮らしている男の子チャーリー。彼の町には世界でも有名なお菓子職人ウィリー・ウォンカの大きなチョコレート工場がある。ある日ウィリー・ウォンカは世界中に「板チョコの中に5枚だけ金色の券が入っていて、当たった人には工場の見学を許可する」と発表した。なんとチャーリーは幸運にも金色の券を手に入れることができた。今、ベールにつつまれていたチョコレート工場の扉が開く。ジョニー・デップ主演、ティム・バートン監督の全世界注目の作品

I. 夢のお菓子工場との出会い

私が「チャーリーとチョコレート工場」の原作を読んだのは小学生の時だった。お気に入りの本の一つで、読むたびに主人公やチョコレート工場を思い浮かべていた。それから何年もたったある日映画化されることを知った。思い描いていたチョコレート工場が映像になったときの感動は大きかった。イメージに思い描いていた以上に楽しく、スクリーンには夢のお菓子工場が広がっていた。チョコレート工場の従業員ウンパルンパ達が歌を歌うシーンや、子供たち、その親たちのキャラクターもおもしろおかしくアレンジされていて私は映画の世界にひきこまれていった。

II. 五人の子供たち

この物語は、お菓子の工場だけではなく五人の子どもたちにもスポットを当てて見るととても面白い。オーガスタスは太っちゃいでいじわるな男の子、毎日チョコレートばかり食べている。母親は過保護。ヴァイオレットはガム好きでひねくれもの、勝つことに執着している似た者親子。ベルーカは何でも欲しがらるわがまま娘、父親は何でも言うことを聞いてやる。マイクは理屈ばかり並べるコンピューター少年、父親はなめられている。そして、チャーリーはとても貧しいが優しい男の子、おじいちゃんとはとても仲良し。そんな現代っ子たちが工場見学を通してどうなっていくのか、というストーリーが興味深い。

III. 家族の愛

原作と違うシーンが最後の章にある。それはウィリー・ウォンカの過去について語られるということである。私はとてもその場面が気に入っている。ウィリー・ウォンカは歯科医である父親のもとを飛び出してお菓子職人になったため、父親とは何年も会わず一人で暮らしてきた。ところが、チャーリーに出会い家族の「愛」を知ることになる。色々なテーマが含まれているこの映画は、ただ面白いだけではなく何だかあたたかい気持ちになれる。

『チャーリーとチョコレート工場』～家族の絆～

小原 響海

①Kyomi KOBARA ②Charlie and the Chocolate Factory ③2005年 ④115分 ⑤ファンタジー・コメディ ⑥フレddie・ハイモア(Freddie Highmore)⑦ティモシー・ウィリアム・バートン(Timothy William Burton) ⑧ロアルド・ダール(Roald Dahl):『チョコレート工場の秘密』⑨family love ⑩I think that they do not get bored even if the song and dance of Oompa Loompa which come out in some scenes are very interesting and it sees them how many times.

あらすじ：ウォンカのお菓子は世界中で大人気。しかしその工場の中は一切が謎。ある日ウォンカは「ウォンカのチョコレートの中に同封された世界に5枚だけある金色のチケットを引き当てた子どもは、家族を一人同伴で工場を見学することができ、そのうちの一人にはすばらしい副賞がつく」という告知を出した。世界中が大騒ぎとなる中、チャーリーと個性の強い4人の子が運良くチケットを引き当てた。彼らはウォンカに案内され、工場の中で不思議な体験をしていく。しかしさまざまなハプニングが起き、子どもたちは次々と消えていく…。

I. 『チャーリーとチョコレート工場』との出会い

『チャーリーとチョコレート工場』はパイレーツ・オブ・カリビアンやシザーハンズなどで主演をしていたジョニー・デップがでていて、また子どもが活躍する映画で、題名やCMからも楽しそうなイメージがあったのでこの映画を見たいと思いました。見てみて、やっぱりおもしろかったし、何回見ても飽きないなと思いました。

II. 求めすぎないことの大切さ

「多くを求めず、正直であること。幸せは近くにある」というのが、この物語が伝えたかったことのようにです。食いしん坊で肥満のオーガスタスはチョコレートの川に飛び込み自分もチョコレートにされ、いつもガムを噛んでいて勝つことにこだわりすぎているバイオレットは新しく開発されたガムを注意も聞かずに噛み続け副作用で自身もガムようになってしまい、お金持ちでわがままなベルカはくるみ割りのリスを欲しがりそのリスたちによって焼却炉に捨てられ、テレビ好きで反抗的なマイクは自分からテレビの中に入りそのときの小さくなったサイズのままになってしまった、そして家は貧しいが家族思いの心優しいチャーリーは最後まで残り、ウォンカと一緒にチョコレート工場を運営できるという権利を獲得した。チャーリーは多くを求めず、正直で、さらにすぐ近くにある家族の絆という幸せを大切にしていた。だからウォンカにも認められ、さらにウォンカをウォンカの父と仲直りさせることにも成功した。この映画を見て、近くにある幸せに気づき、もっと大切にすることの大事さ、そして家族の大切さをしりました。

III. 聞いたら頭から離れない歌

『チャーリーとチョコレート工場』のなかには聞いたら頭から離れない歌がいくつかありました。ウォンカの登場のシーンにある人情たちが踊っている時に流れる歌、子どもたちがハプニングに巻き込まれたときにウンパ・ルンパたちが子どもたちをバカにして踊りながら歌っている歌、怖いような気もするが、曲調がおもしろく、聞いたら忘れられないし、何度聞いても飽きないような歌です。

『The Nightmare Before Christmas』

辻田 健一

①Kenichi TSUJITA ②The Nightmare Before Christmas ③1994年 ④76分 ⑤musical animation ⑦ヘンリー・セリック ⑧ティム・バートン ⑨ホラー、ラブストーリー、夢 ⑩Important things are beside you. And loving people is beside you.

あらすじ：『ハロウィン・タウン』の住人達は怖いことや、人を驚かせることが大好き。その日は『ハロウィン』当日、住人達は大盛り上がり。だが、『ハロウィン・タウン』の王、ジャック・スケリントンは、毎年毎年同じことの繰り返しでしかない『ハロウィン』に虚しさを感じていた。そんな時、ジャックは森の奥で不思議な扉の付いた木を見つける。その一つを開いてみると、恐怖と悪夢に満ちた『ハロウィン・タウン』とは全く違う、陽気で明るい『クリスマス・タウン』の別世界が広がっていた。初めて見る美しい雪景色の中、色鮮やかな電飾で飾られた街全体が祝う『クリスマス』に心を奪われたジャックは、自分達の力で『クリスマス』を作り出そうと計画を立てる。そんな中、ジャックに密かに想いを寄せるサリーは、何か悪いことが起きるのではないかという予感にとらわれていた。サリーの心配を他所に、『クリスマス』の準備は着々と進んでいく。だが、ジャックも住人達も本当の『クリスマス』というものが理解出来ずに、事態はどんどんおかしな方向へと転がって行く…。

I. これでもディズニーか！

ディズニーといえば、おとぎの国の世界のそのものがイメージされ、夢と希望に満ち子供たちを楽しませる趣向がいたるところに織り交ぜられ、華やかなる作品が連想される。しかし、このナイトメア・ビフォア・クリスマスに登場するキャラクターたちはどうしたことだろう。外見はおぞましく、まさしくホラー。どのような華やかさも持ち合わせていない。だが、作品を見ると「なるほどディズニーの作品である。」と納得させられる。

II. ジャックの魅力

主人公のジャックにこれほどまで魅かれてしまうのはなぜだろう。外見の格好良さ？もちろんそれもあるだろう。ジャックのキャラクターをデザインした人は、抜群のセンスを持ち合わせているにちがいない。しかしそれ以上に、ジャックの内面、悩み、性格まですべてが魅力的なことだろう。そしてそれが見事なまでに表現されている。これがないとこの作品は、単なる骸骨操り人形の喜劇で終わってしまう。

III. ラストシーンが頭から・・・

離れない！！ 月をバックにしたジャックとサリーの手を取り合う姿。不気味なはずなんだ。骸骨とつぎはぎの死体のツーショットなんて・・・それがこんなにも、美しい！！

目と耳で観る映画『サウンド・オブ・ミュージック』

中西 咲子

①Sakiko NAKANISHI ②The Sound of Music ③1965年 ④174分 ⑤ミュージカル映画 ⑥Julie Andrews (マリア) Christopher Plummer (トッラップ大佐) ⑦Robert Wise ⑧マリア・フォン・トラップ：トッラップ・ファミリー合唱団物語 ⑨歌 ナチス 家族愛 ⑩This movie is not just for watching. It's a work that we can also enjoy listening. And 'magnificent' is the very word to express nature of the Alps.

あらすじ：物語は1938年のオーストリア・チロル地方の町ザルツブルグを舞台としている。第二次世界大戦の中、ナチスに抵抗しながら愛と勇気に生きたトッラップ一家の人間愛のドラマ。ノンバーグ修道院にいるマリアは山へ行って歌うのが大好きという自由奔放さで先輩の修道女たちを困らせていた。修道院長の計らいでマリアは裕福で貴族的なトラップ大佐の7人の子供たちの家庭教師となり、すぐに子供たちに溶け込んだマリアは数々の歌を子供たちに教える。トッラップ大佐は貴婦人のエルザと婚約していたのにもかかわらず、やがてマリアを愛し結婚することとなる。ところが彼らの幸せはドイツのオーストリア侵略によって断ち切られる。アマチュア・コンサートで優勝し、最後の曲を歌い上げたトラップ一家はアルプスを越えて安全なスイスに亡命する…

ミュージカルから生まれたということもありこの作品は歌にあふれている。ひとつひとつの歌は登場人物の気持ちや場面を表しており、見ている者に視覚と聴覚の両面から物語を伝えている。ここでその映画中に出てくる歌を紹介したいと思う。

I. The Sound of Music (サウンド・オブ・ミュージック)

マリアが自然の素晴らしさを歌に託して歌う。映画ではアルプスの山々の遠景から、丘の上でこの曲を歌うマリアへズームしていく、名オープニング・シーンとなっている。

II. Maria (マリア)

マリアの性格を修道女たちがからかう。結婚式の場面でもこの曲が使われる。

III. Sixteen Going on Seventeen (もうすぐ17歳)

恋を語る二重唱。はじめはリーズルとロルフ、2回目はリーズルとマリア。

IV. My Favorite Things (私のお気に入り)

映画では雷を怖がる子どもたちを「楽しいことを考えて」とマリアが励ますシーンで使われる。

V. Do-Re-Mi (ドレミの歌)

映画ではマリアが子供たちに歌を教えるときの歌。英語による原詩をそのまま日本語に訳すと長くなりすぎ、曲に入りきらなため原詩から離れオリジナルの日本語詞をペギー葉山が創作した。ちなみに、「シ」は英語で「ティ」と発音されることが一般なので、原詩では tea(紅茶)に掛けている。

VI. Lonely Goatherd (ひとりぼっちの羊飼)

映画では子供たちが人形劇をするときの歌。

VII. So Long, Farewell (さようなら、ごきげんよう)

パーティーで子供たちが大人に就寝のあいさつをする。コンクールの場面でも歌われる。

VIII. Climb Ev'ry mountain (すべての山に登れ)

マリアを修道長が励ます。

IX. Edelweiss (エーデルワイス)

エーデルワイスの小さな白い花がもつ永遠の命を讃え、祖国を見守るようにと願う歌。

とくに(ドレミの歌)や(エーデルワイス)などの歌はたいていの人が一度は歌ったことや聞いたことのある親しみのある歌であるはず。私自身も映画よりも先に歌と出会っていた。自分がもともと知っている歌がこのような気持ちを表わしているのか、こういった意図で使用されていたのかなど、新たな発見がありそしてそのメロディーの美しさに心が躍る。物語の内容においては実際にあったナチス・ドイツのオーストリア併合を舞台として作られており、当時の時代背景を伺い知ると同時に、その中で生きた人々の思い、愛の強さ大切さを見ることができる。

私はこの映画を見てからサウンド・オブ・ミュージックファンになり、ミュージカルも鑑賞しに行ったほどである。どこかで聞いたことのある歌が流れるので一緒に口ずさむことができ、あきることはない。目と耳で楽しめるこの作品を音楽好きな人はもちろん、たくさんの人に一度は見てもらいたい。

『サウンド・オブ・ミュージック』に学ぶ本当の強さ

橋本 真由子

① Mayuko HASHIMOTO ② The Sound of Music ③ 1965年 ④ 174分 ⑤ musical film ⑥ ジュリー・アンドリュース、クリストファー・プラマー ⑦ ロバート・ワイズ ⑧ マリア・フォン・トラップ「トラップ・ファミリー合唱団物語」 ⑨ アカデミー賞受賞、ミュージカル映画の最高傑作 ⑩ I learn you can overcome difficulties as long as you enjoy your life.

あらすじ：同じ題名のミュージカルを原作として制作された映画。映画の中に登場するさまざまな曲が魅力的である。数年前に妻を亡くしたトラップ大佐の7人の子供の家庭教師をすることとなったのが主人公のマリア。おてんばなマリアは快活な子供たちとすぐに打ち解け、トラップ大佐とマリアは互いにそれと気付かず惹かれあっていく。幸せな結婚をした大佐とマリアだったが、ナチスの色が濃くなるザルツブルクに時代の大きな波を感じ取り家族はスイスへと亡命する。

I. 『サウンド オブ ミュージック』との出会い

私がこの映画と出会ったのは小学生の頃であったと思う。かの有名な「ドレミのうた」など劇中に登場する歌はどれも楽しく、かわいらしく、いきいきとしていて、とても爽やかな気分になったような記憶がある。

II. 常に明るく生きようとする主人公のひたむきな姿

この主人公マリアはとにかく明るい！第二次世界大戦の前夜という設定ながらも、物語全体に爽やかな雰囲気漂っているのは、マリアがどんな困難に直面しようとも人生を楽しむことを忘れないからであろう。そんなマリアの生き方に周りの人々も影響され、固く閉ざされた心も歌によって徐々に開かれていく。歌がもつパワーの改めて気付かせてくれる映画である。スイスへと亡命する途中で物語り終わっているのもその後のストーリーを各個人に自由に想像させてくれている。

III. 本当の強さとは・・・

あらためてこの映画を見かえしてみて、登場する子供たちの成長もテーマになっているということを感じることができた。子供が好きな人にもぜひ見てほしいと思う。そして、どんなに苦しいことがあっても自ら歌を歌い、自らを励まして困難を乗り越えていくマリアの姿に、他人に頼るのではなく自分で自分を励ましていけることこそが本当の強さなのではないかということを感じた。

『サウンド・オブ・ミュージック』

～美しき自然と音楽と家族愛～』

松田 祥子

①Shoko MATSUDA ②The Sound of Music ③1965年 ④176分 ⑤ミュージカル ⑥ジュリー・アンドリュース（メリーポピンズでアカデミー賞受賞）/ クリストファー・プラマー（王になろうとした男） ⑦ロバート・ワイズ（ウエスト・サイド物語） ⑧不朽の名作・家族愛・music ⑩A sister brings back love, laugh and music to the family again. This movie reminds you of love.

あらすじ：マリアは修道女見習い。おてんばでいつも他の修道女からたしなめられている。そんな彼女は、ある日院長から軍人を引退したトラップ大佐の7人の子どもの家庭教師をするようすすめられる。最初はやんちゃな子どもたちと厳格なトラップ大佐に手を焼くマリアだが、音楽を通して家庭に笑顔と愛を取り戻す。大佐とマリアの結婚によって幸せに包まれるトラップ一家。しかし幸せもつかの間、ナチスがオーストリアを併合してしまう。反ナチス派の大佐に対し、召集令状を突きつける軍。愛する子ども達のため、そして自分達の幸せを逃さないため、二人は国境越えを決意するのだが・・・。

小学生のわたしと高校生のわたし

私が最初にこの映画を観たのは小学生のときです。たしか、母がレンタルショップで同じくジュリー・アンドリュース主演の「メリーポピンズ」と一緒に借りてきてくれたと思います。そのときに観た感想は、単に「とてもきれいな景色だ！」とか、「素敵な曲が多い映画だな」、「自分と同じ年の子が映画に出てすごいな。」といったものでした。私がふたたびサウンド・オブ・ミュージックを見たのは高校のLLの時間です。この年になると、以前みたときより多くの情報を知っているので、日本ではみることができないようなオーストリアの自然に心底感激し、また、この映画はわたしたちが知っている非常に多くの名曲を生み出したことがわかりました。それだけではなく、この映画がただ楽しいミュージカルではなく、ナチス、戦争、亡命といった深い内容も含んでいることを感じられるようになりました。

サウンド・オブ・ミュージックは非常に多くの名シーンが存在すると考える。そんな中からわたしの印象に残っているシーンを、順を追って紹介します。

1. リーズルとロルフの庭のシーン

幻想的な庭園で、トラップ大差の長女リーズルと郵便配達員のロルフが、幸せな時間を過ごす。このときに二人が歌う「♪Sexteen Going on Seventeen」はCMなどでも

聞いたことがあるでしょう。この曲は実はサウンド・オブ・ミュージックから生まれたものなのです。

2. マリアが子どもたちに音楽の基本、「Do Re Me」教えるシーン。これから親子になるマリアと子どもたちが明るいうたの「♪ドレミのうた」を歌うシーンです。ここでは、主演女優のジュリー・アンドリュースのギター弾き語りをきくことができます。ちなみ終盤のマリアの高音部はジュリーのアドリブです。

3. いろいろある！！

4. 家族が軍の監視をすりぬけて、コンクール会場から亡命する祭、シスターたちが軍の車の部品をこっそりはずし、こっそりとほほえんでいるシーン。

戦争という重い内容も、ユーモアに満ち溢れているからみやすい。シスターがこんなことをするというギャップが非常におもしろかったです。

サウンド・オブ・ミュージックの music

サウンド・オブ・ミュージックは多くの名曲を生み出しています。先ほど上げた、「♪Sexteen Going on Seventeen」、「ドレミの歌」、他にはテーマソングである「♪サウンド・オブ・ミュージック」も有名ですし、スイスの国家である「エーデルワイス」もこの映画で歌われています。

このほかに、それほど有名でなくても、かわいらしい曲が多くあります。たとえば「♪The Lonely Goatherd」。やぎに似せた声で、歌いながら人形劇しているのが活気に溢れていて素敵でした。あとは、「So Long, Farewell」で、末っ子が最後の歌詞を歌う時に、ちゃんとねむそうな演技をしているところがかわいらしいです。

最後に

サウンド・オブ・ミュージックはストーリー・音楽・映像ともに非常にすぐれた作品です。不朽の名作とよべるでしょう。

また、マリアとトラップ大佐の当初の教育の仕方をみて、これから教育をしようというわたしたちが何を大切にすべきかを学べます。

この映画は、わたしを楽しませると同時に、将来の教科書としても生かせると信じています。

『オペラ座の怪人』から学ぶ、愛することの意味

仁井戸 歩

①Ayumi NIIDO ②THE PHANTOM OF THE OPERA ③1925年 ④143分 ⑤Love Story
⑥ジェラルド・バトラー、エミー・ロッサム ⑦ジョエル・シュマッカー ⑧ガストン・ルルー ⑨アンドリュー・ロイド・ウェバー版のミュージカルをベースにした作品 ⑩I learn true love is forever.

あらすじ：19世紀末のパリ、オペラ座の若手女優クリスティーヌは、自分の楽屋の裏から聞こえる『天使の声』の指導で歌唱力を付け頭角を現すが、オペラ座には謎の怪人が住み着いており、月給2万フランと5番ボックス席の常時確保などを支配人に要求していた。クリスティーヌの恋人ラウル子爵は天使の声の主に嫉妬し謎を解こうとするが、その主こそ『怪人』であり、オペラ座の地下に広がる広大な水路の空間に住み着いた男エリックであった。エリックは生来の醜悪な人相に壊死した皮膚を持つ、見るもおぞましい異形の男であったが、投げ縄や奇術の天才であり、クリスティーヌに恋をしていた。エリックは遂にクリスティーヌを誘拐してオペラ座の地下深く消え、残されたラウルは謎のペルシャ人・ダログと共にクリスを追ってオペラ座の地下へ潜入する。

I. 『オペラ座の怪人』の思い出

高校3年生の冬、私は失恋を経験する。今思い出しても精神的に辛い毎日を過ごしていた。そんなとき出会ったのが『オペラ座の怪人』だった。失恋をしたばかりの私は、気付かぬうちにファントムに感情輸入していた。今でも『オペラ座の怪人』を見ると、そのときの気持ちが蘇る。

II. ミュージカルを通して感じる愛の意味

オペラ座の怪人は様々な立場に立って見る事が出来る。愛する側、愛される側、そして愛されぬ側。その様々な立場の気持ちが、ミュージカルにより伝えられる。それぞれの立場で歌われる歌には気持ちがはっきりと表れており、いつの間にか自分が映画の中にいるような気持ちになる。

III. 愛すること

クリスティーヌを愛するファントムと、ラウルを愛するクリスティーヌ。クリスティーヌと一緒にいたいという気持ちを抑え、愛するクリスティーヌの幸せを願うファントム。一緒にいることはできなくても、ファントムはクリスティーヌを一生愛していたことを知ったとき、胸がとても熱くなった。本当に人を愛することとは、相手の幸せを願うことだ、ということはこの映画を通して改めて実感した。

『オペラ座の怪人』を通して ～真実の愛とは何か～

増田 陽子

①Yoko MASUDA ②The Phantom of the Opera ③2004年 ④143分 ⑤ミュージカル ⑥ジェラルド・バトラー エミー・ロッサム ⑦ジョエル・シュマッカー ⑧ガストン・ルルー ⑨音楽と愛 ⑩I thought that nothing is as important as love.

あらすじ：映画の舞台はパリ、1980年代のオペラ座。この劇場に住む謎の怪人=ファントムによって、数々の奇怪な現象が続いていた。リハーサル中の事故により主役：カルロッタの替わりとして、コーラスガールでしかなかったクリスティーヌが代役として歌うことに。彼女は顔も名前も知らずファントムに歌のレッスンを受けていた。初主演のステージで喝采を浴び、またその歌を聞いて一気に虜になってしまうオペラ座のパトロンの若き子爵・ラウル。彼はクリスティーヌの幼馴染であり、この事をきっかけとし、クリスティーヌの心がラウルへと傾いていく。その後クリスティーヌを想う余りにファントムの常軌を逸した行動がエスカレートしついに殺人が起こる。ファントムを「音楽の天使」として歌の師、もしくは父に近い存在として慕うクリスティーヌはラウルを想いつつもファントムを見捨てきれないでいる。そして…。

I 『オペラ座の怪人との出会い』

私が初めてこの映画を観たのは高校三年生のときの音楽の授業の時でした。音楽の先生は「この映画で流れる音楽は素晴らしく、歌っている人の声がとてもきれいだから皆さん楽しんで見てください」とおっしゃった。今までミュージカルなど見たことのない私は、この映画を見て、ミュージカルの豪華さに圧倒されてしまいました。この映画では音楽だけでなく、この時代の貴族の服装など時代背景もわかりやすく描かれていたので、見ながら歴史を体感することができました。

II オペラ座の中で描かれている愛とは・・・

『オペラ座の怪人』の映画の中では3人の人物による愛憎も描かれています。生まれた時から顔が醜いために愛されることをしらないオペラ座の謎の住人ファントム、「天使の声」を持つ正体不明の人からレッスンを受け、美声を持つ美しい女性クリスティーヌ、クリスティーヌの幼馴染のラウル。ファントム、ラウルはクリスティーヌを愛し、クリスティーヌはこの2人の間で揺れ動く。この映画でファントムは自分の醜い顔にコンプレックスを持っているため愛し方を知らず、映画最後ではクリスティーヌをオペラ座の地下へ誘拐し、ラウルを殺そうとする。しかし、最後にこんな自分を選んでくれたクリスティーヌの幸せを願うがゆえに、彼女をラウルとともに地上へ返すのである。このシーンから、自分の気持ちを押し付けるのではなく、愛する人の幸せを願うことが真実の愛ではないかと感じました。

III この作品の見所

この映画はミュージカルの舞台だけでなく、会話の途中にも歌がたくさんでできます。しかも歌は吹き替えではなく本当に役者の人が歌っています。信じられないほどの声の綺麗さにビックリすると思います。この映画の中で一番注目される道具はオペラ座の中にある大きなシャンデリアです。このシャンデリアは1億2千万の費用をかけて作られたもので、シャンデリアが落下するシーンは一発撮りだそうです。またダンスの優雅さなども見どころの1つです！この壮大なスケールで撮影された『オペラ座の怪人』を是非見てください。

『RENT』の中のアメリカ

中尾 慎吾

①Shingo NAKAO ②RENT ③2006年 ④135分 ⑤musical, love story ⑥アンソニー・ラップ、アダム・パスカ ⑦クリス・コロンバス ⑧ジョナサン・ラーツ ⑨みんな生きてる、ミュージカルの中の本当のアメリカ ⑩I watched a true American glimpse by this movie. I knew the importance of living desperately. Even if these several times movies look, I can cry.

あらすじ：1989年のクリスマス映像作家のマークと元ロッカーのロジャーは元ルームメイトでビルのオーナーのベニーから滞納しているレントを払うか立ち退くかを迫られる。そんな彼らを中心に繰り広げられる同性愛、エイズ、麻薬中毒など色々あるが貧しくても楽しい、大好きな人と入れるだけで幸せ、しかし、そんな日々を奪い去る出来事が…

I. 出会い

この映画との出会いは、好きなミュージカルの女優さんがこのミュージカルのファンで、このミュージカルに使われてる曲が大好きで映画も大好きとblogで紹介されていてまず、曲を聴いてみると本当にいい曲で映画も見たくなくてレンタルビデオショップで借りて見たのが出会いだった。

II. ミュージカルゆえの曲の素晴らしさ

ミュージカルが苦手「どうして歌い出すの？」と感じる人も多いだろうしかし、この映画の歌のタイミングや歌詞、心情を考えるとホントに苦手な人でもすぐ頭に入ってくるだろう。そしてこの映画のオープニングで流れる「SEASONS OF LOVE」この歌詞の素晴らしさ、深さ、これから始まる映画への期待度などを高めてくれている。そしてこの映画で使われる曲はロックやジャズなど様々なジャンルが使われている。

III. 見せ場-歌とロマンス-

エイズの魔の手はエンジェルの体力をどんどん奪い去ってゆく、そしてエンジェルの死がきっかけで仲のよかった7人はバラバラになってしまう。ロジャーは一人でメキシコにミミに捧げる曲作りに、そしてロジャーがメキシコから帰ってきたときにはミミが行方不明に…。

『ウエストサイド物語』から見るアメリカの人種問題

大桐 千絵美

①Chiemi OGIRI ②West Side Story ③1961年 ④152分 ⑤Musical & Love Story ⑥Natalie Wood, George Chakiris ⑦Robert Wise, Jerome Robbins ⑧ロミオとジュリエット ⑨1961年アカデミー賞10部門受賞、誰もが知る音楽とダンス、許されざる恋 ⑩This movie describes not only “Love Story” but also the problems of racial discrimination.

あらすじ：映画史上最も有名であると言っても過言ではない作品。アメリカニューヨークの西海岸、アメリカ人のジェット団とプエルトリコ人のシャーク団は対立する存在であった。それぞれのグループに属していたトニーとマリアは決して許されない恋に落ちてしまうのだが……。家族、仲間、社会に対する不満、そして愛する人などをめぐって、若者たちの不安定な心の様子が描かれる。たった2日間で若者たちの人生を大きく変える劇的な出来事が起こる!!!

I. 歌とダンスのすばらしさ

この作品は、もともとは1957年ワシントンD.C初演のミュージカルである。劇中歌の「トゥナイト」や「クール」、また冒頭での指を鳴らしながらのダンスは誰でも一度は見聞きしていると思う。これらの歌やダンスがこれほどまでに有名になったのには、それなりの理由がある。振り付けにはバレエ振付師として有名なジェローム・ロビンズが起用されている。彼はABT(American Ballet Theatre)のソリストでもあり、「牧神の午後」などの斬新な振り付けで脚光を浴びている。また音楽は、20世紀後半の音楽界をリードしてきたレナード・バーンスタインが作っている。ロビンズは音楽をとっても重要視する振付師であったため、音楽とダンスとがぴったりとはまっている。ここに、いつまでも有名であり続けている理由があるとわたしは考える。

また、わたしのお気に入りのシーンは冒頭で、限られたリズムの中からシンプルかつ印象的なダンスを繰り広げるところである。脚を高く上げて全員でビシッとそろえるダンスはカッコよく、わたしだけでなく、当時の多くの人々の心をひきつけたに違いない。

II. 『ウエストサイド物語』とアメリカ社会

アメリカは様々な人種が共存しているため、「人種の坩堝」などといわれることが多い。しかし、実際には差別問題も多く存在する。特に「遅れてやってきたもの」に対して、「先着者」たちはきびしい。遅れてやってきたものは、圧倒的に経済的に不利な立場に立たされる。ウエストサイド物語はそういった意味でアメリカ社会に大きなシ

ヨックを与えた。なぜならこの作品は、当時タブーとされていた「人種間の対立」をメインテーマとして取り上げたためである。ロビンスの振り付けをとってみても、それぞれの民族舞踊的なステップが数多く含まれている。

このように社会問題を取り上げたことで、「ロミオとジュリエット」のリメイクとしての価値だけでなく、ウエストサイド物語自身の価値を見出したのではないかと思う。

Ⅲ. 若者たちの揺れるところ

この作品では、たった2日間で2人の若者の出会い、恋、そして死までもが語られている。それだけでも十分に魅力的な展開だが、それにもまして2人の周りを取り囲む若者たちの想いや心情の変化が見所であると思う。当時の若者たちは人種にかかわらず、誰もが社会や自らの将来に対する不安や閉塞感、絶望感をもって生活していた。

「ウエストサイド物語」はそんな彼らの心を代弁するような作品であるとわたしは思う。そのことはさり気ないせりふの一つ一つから感じることができるが、もっとも強く表現されているのは「Gee, Officer Krupky」という歌だと思う。不良グループのメンバーが「俺たちおやじは飲んだくれ、母は……。だから俺たちは人に愛されたことなんかない。そんな俺たちを世間は誤解している。」と大人や社会を痛烈に皮肉っている。

このように、誰にぶつけることもできない心のゆれを、一見まったく逆なことのようにとれる、激しいリズムのダンスと美しいメロディーで包み隠して作品に織り込んだところに、この作品のすばらしさがある。

『フォレスト・ガンプ／一期一会』出会いのぬくもり

土肥 愛実

①Megumi DOHI②Forrest Gump③1995年④142分⑤ヒューマンドラマ⑥トム・ハンクス⑦ロバート・ゼメキス⑧ウィンス
トン・グルーム：Gump and Co. ⑨第67回アカデミー賞作品賞受賞、チョコレートの箱⑩This work is the record of Forrest
Gump's life. His innocent smile made me warm and his tears moved me.

あらすじ：知能指数の低い男、フォレスト・ガンプの半生。ある日お土産を持って出かけたフォレストは、バスを待つ人たちに、自分の過去を語る。ベトナムでの軍隊長ダン中尉、夢を語り合った戦友バツパ、そして心優しい幼馴染のジェニー。たくさんの人との出会いと別れを繰り返した、おとぎ話のような人生。そして最後に語った老婆に道を聞き、長く音信不通だったジェニーに会いに行くが…。

I. 初めて泣いた作品

この映画を初めて観たのは、小学生のころ「金曜ロードショー」で放送されたものだった。当時、ただコミカルな部分だけが印象的だった。それが、高校に入ってからまた放送されたのを改めて観て泣いた。テレビで放送された映画を観て泣いたのはこの作品が初めてだった。

II. 何があるかわからない人生

「人生はチョコレートの箱、開けてみるまでわからない」……映画のキャッチコピーにもなっている名言である。知能指数が低く、足も不自由でいじめられていた少年が、アメリカ代表選手になったり、戦場での勇気を称えられ勲章を授かったり、巨大な会社の社長になったり、素敵な女性と出会ったり……聞く人は「嘘みたいな話だ」と思うような(フィクションだから嘘なわけだが)、まさに波乱万丈な展開に、目が離せなくなる。また、エルヴィス・プレスリーやJ. F. ケネディ大統領などの故人とフォレストとのまさかの共演もおもしろい。まさに、“開けてみるまで何があるかわからない人生”だ。きっと、誰の人生にも、素敵なチョコレートがいっぱい詰まっているのだ。

そしてこの作品に欠かせないのが、主演トム・ハンクスの素晴らしい演技力だ。無邪気な笑顔、突然の涙、純粋さからくる怒り…誰よりも純真な心の持ち主であるフォレストを、見事に演じきった。とくに、墓前でジェニーに語りかけるシーンは何度観ても泣かされる。いやあのシーンで泣かない人はいない。いや泣いてくれ。

III. 142分の薬

高校生で改めてこの映画の素晴らしさを知って以来、私にとってこの映画はえらく特別な、心の薬のようなものになった。泣きたいのに泣けないとき、わけもなく温かい気持ちになったとき、誰かに会いたくなったとき、誰かを憎いと感じてしまったとき…私は突然この映画を観たくなる。何度観ても泣く。夏休み中にどうしても観たくなって実家からDVDをパクってきた。そしてこの映画紹介を書いている。

この作品には原作があり、映画ではカットされた人々との出会いが描かれている。また、映画では温かい感動的なシーンが多いが、原作は全体に明るいコメディのような印象を受ける。もちろん映画だけでも十分楽しめるが、ぜひとも原作も読んでいただきたい。

ミュージカルを越えた『シカゴ』

金谷 麻由

①Mayu KANATANI ② Chicago ③ 2003年 ④ 113分 ⑤ musical ⑥ Renée Zellweger , Catherine Zeta-Jones ⑦ Rob Marshall ⑧ Bob Fosse : CHICAGO (ミュージカル) ⑨ 第75回アカデミー賞受賞 , 夢見る殺人者 , 空想と現実 ⑩ It is much superior to any other musical films. There are many powerful dance scenes through this film.

あらすじ：有名ブロードウェイミュージカルを映像化した作品。スターを夢見るロキシー・ハートは“名前を売ってやる”と男に騙され、怒りのあまりにその男を殺してしまう。収容された刑務所で出会ったのは、憧れのヴェルマ・ケリーであった。無罪と名声を掴み取るため、ロキシーがとった行動とは…？

I. 『シカゴ』との出会い

私がこの作品と出会ったのは、中学3年の時でした。私は小さい頃からバントントワリングというものを習っているのですが、発表会で『シカゴ』の劇中で使われている曲で踊ることになったのです。映画の中ではどのようなダンスをしているのだろうか？と思い、この映画を手にとったのが、私と『シカゴ』の出会いでした。

II. ミュージカルに引けを取らない迫力

もともと、この映画は同名のブロードウェイミュージカルである『シカゴ』を映像化したものでした。この映画を見るまでのミュージカル映画のイメージは、ストーリーと曲の繋がりが不自然であったり、有名な俳優を出演させたいがために、歌やダンスのレベルが原作よりも劣ってしまう。といったものでした。

しかし、この映画を見て、そのイメージは拭われました。作品が始まってすぐにヴェルマ・ケリー役のキャサリン・ゼタ・ジョーンズが【ALL THAT JAZZ】を歌い踊るシーンがあります。彼女は有名な女優で、演技は上手いという印象はありましたが、歌やダンスをするというイメージは全くありませんでした。実際に、彼女は17歳の時に一度ミュージカルに出演しただけで、それ以降はミュージカルと関わりがなかったのです。

しかし、彼女の歌、ダンスの迫力には圧倒されました。しなやかであり、力強

くもある彼女のステージは、この作品の世界に引き込むのに十分な魅力がありました。同出演者のレネー・ゼルヴィガーはミュージカルの出演経験は全くないのにも関わらず、それぞれの曲での表現力の高さは目を見張るものがありました。特に中盤での【Roxie】はとてもミュージカル未経験者だとは思えない程、完成度が高いです。感情を込めて歌うということは、映画を何本もこなしてきたからこそ出来るものなのだと感じました。

Ⅲ. ストーリーの面白さ

この物語の面白さは、スターを夢見ているが、全く売れないロキシーが、男に騙され、その男を殺すことによってスターになるという点だと思います。“殺人者がスターになる”今の時代では考えられないことを、この作品では真剣に語っているということが斬新であるのではないのでしょうか。そして、刑務所の中でロキシーが空想する歌とダンスの数々は、ロキシーの舞台に対する執着心を深く表していると思われます。“人を殺したことによって有名になった”もちろん、普通に考えるとそれはマイナスの意味です。しかし、この作品中ではそれがプラスの意味なのです。

今の時代ではありえない不謹慎なことを、こんなにも明るくストーリーにしている。皮肉にもその点が、この作品での最も面白い部分ではないかと感じました。手段は褒められるものでないとしても、人生を賭けてまで追いかけてたい夢があるということは、とても素敵であり、ロキシーはある意味できっと誰よりも純粋なのではないかと思いました。

『ロード・オブ・ザ・リング』にみる仲間との信頼

山田 勝紀

①Katsunori YAMADA ②The Lord of the Rings The Fellowship of the Ring ③2002年 ④178分 ⑤Fantasy action ⑥ピータージャクソン・Peter Jackson (1961~) ⑦ハリウッド初の3部作を同時に撮影する試み。その第一作目 ⑩Can the main characters safely destroy a ring bringing an evil in the world ?

あらすじ：ハリウッド初の試みとなる3部作を一気に撮りきるという試みをした、ファンタジー映画の傑作。中つ国（ミドル・アース）に住むホビット族の少年フロドは、世界を滅ぼす力を持つ闇の指輪を手に入れる。その指輪を破壊しなければ、また世界に災いがもたらされてしまう。指輪を破壊するには、遠く滅びの山の罅裂に指輪を投げ入れなければならない。指輪を狙う冥王サウロンの魔の手から指輪を守りつつ、フロドは仲間とともに指輪を破壊する旅へと出発する。

I. 作品との出会い

私がこの作品に出合ったのは、友達に連れられて映画館にこの映画を見に行っただけだった。それまであまり洋画を見ることもなかったが、友達が絶対に面白いからというので、一緒に見に行くことにした。映画を見ていると、演出やストーリーに魅せられて食い入るように映画を見ていた。映画が終わった後に、友達に原作の小説を貸してもらって、それを短期間に何回も読み返すぐらいこの作品の魅力に取りつかれた。

II. 作品の魅力

この作品の魅力は、ひとつは戦闘シーンのリアルさがある。この作品では、戦闘シーンなどで、実際にエキストラを2000~3000人動員し、その全員に特殊メイクを施し、実際に人を動かして撮影しているので戦闘シーンがとてもしリアルで見ていて飽きないどころかどんどんひきつけられてしまう。もう一つは、ストーリーのである。原作の評価が高いが、その原作を忠実に再現し、原作を読んでない人でもストーリーが分かりやすいように作られているため、読んだ人も、読んでない人も楽しめるようになっている。私は、読む前に見たのだが、ストーリーの壮大さに引き込まれてしまった。その後、原作を読んでからまた見たのだが、原作の世界を可能な限り再現しているとわかって、そういった細部にまで気を使っていることでさらにひきつけられてしまった。

III. 印象深いシーン

この作品で印象深いシーンのひとつは、指輪を破壊するためにホビットやエルフや人間といった種族を超えた、9人の仲間が集まり指輪を破壊する旅に出るシーンである。指輪の力を狙って巨大な敵と戦うために種族を超え結束する仲間。一緒に旅を続けるうちに危機を何度も乗り越え、そのたびにお互いに対する信頼を強くして先に進んでいく。そういった種族など関係ない、世界を守るために戦うという9人の絆というのは、とても印象深い。もうひとつは仲間の一人が、全員を守るために怪物とともに自分も崖に落ちていくシーンである。グループのまとめ役を欠くことを乗り越えて、さらに団結し成長していく主人公たちのすがたと、仲間同士のきずながとても印象に残っている。

『ロード・オブ・ザ・リング』にみる仲間意識

田川 政嵩

①Msataka TAGAWA ②the Lord of the Rings ③2001年 ④278本 ⑤fantasy
⑥イライジャ・ウッド ⑦ピーター・ジャクソン ⑧J・R・Rトルーキン ⑨
壮絶な旅 ⑩I think that friendship is wonderful

あらすじ：ホビット族の青年フロドは、世界を滅ぼす力を秘めた悪の指輪を手にする。フロドを中心とした9人の仲間は、指輪をねらう悪の冥王の追っ手から逃れて指輪を抹消するための旅にでる。

I. 『ロード・オブ・ザ・リング』との出会い

私がこの作品を初めて見たのは、中学校1年生のときだった。私は友達に誘われてこの作品に出会った。最初、私は三部作であるこの作品の二作目から見てしまった。内容がよく分からないながらも映画の世界にどっぷりとつかっていった。そして、一作目・三作目を見ることになる。毎作主人公達が敵と戦うシーンがあり、すごく胸を揺さぶられた。それに加えて壮大なスケールの映像がさらに見ている人の心をつかむ。

II. 忘れられないラストシーン

ラストシーンは、指輪を抹消したフロドが仲間達と分かれて一人で別の世界に旅にでるというシーンである。フロドの旅にずっと同伴していたサムとの別れは涙を流してしまうシーンである。この旅はフロド一人の力ではなく、数々の仲間に支えられ成し遂げることができたのである。この別れのシーンで仲間の大切さを改めて感じるができる。

III. この物語を通して

一番注目して欲しいところは、「仲間」という存在である。先程も述べたように、フロドには数々の仲間がいた。その中でもサムが最も重要な役割を果たしていた。途中ゴラムに騙されてフロドとサムは別々の道を歩むことになる。しかしサムはフロドを見捨てることができずにいた。その気持ちが結局フロドを救うこととなった。この仲間を思う気持ちが物語では重要になっていると思う。この作品を見て仲間の大切さを感じてほしい。

『ハリーポッターと賢者の石』から学ぶ信頼と勇気

芝田 真希

① Maki SHIBATA ② Harry Potter And THE PHILOSOPHER' S STONE ③ 2001年 ④ 152分 ⑤ fantasy ⑥ダニエル・ラドクリフ エマ・ワトソン ⑦ クリス・コロンバス ⑧ J・K・ローリング ⑨ 友情、信頼、魔法 ⑩I think it is important for us to trust our friends. When we face with the difficult problems, we must solve them with brave.

あらすじ：額に稲妻形の傷を持つハリーポッターは幼い頃に両親を亡くし、親戚の家で暮らしていた。友達もおらず、親戚一家には嫌われ、こき使われるという毎日を送っていた。そんなハリーのもとに、11歳の誕生日が近づいたある日、1通の手紙が届く。それは魔法魔術学校の入学許可証で、壊れた眼鏡をかけた少年ハリーは実は魔法使いだったのだ！手紙を届けてくれたハグリッドとから両親の死の真実を聞き、かつて両親も学んだというホグワーツ魔法魔術学校への入学を決意する。ホグワーツに入学したハリーはハーマイオニーやロンとすぐに仲良くなり、数々のイベントや厳しい勉強の日々を送るが、不気味な事件が次々に発生し……。

I. 私と『ハリーポッター』

私が『ハリーポッター』を初めて見たのは、小学6年生のとき。当時の私にとって、初めての実写映画であり、初めての洋画だったが、途中からはストーリーの面白さにどんどん引き込まれ、ハラハラドキドキしたのを覚えている。

II. 『ハリーポッター』から学ぶ信頼と勇気

物語の前半は少しコメディタッチな部分があるのだが、物語の中盤から終盤にかけてはスリル満点に描かれている。中でも、賢者の石を探しに秘密の部屋に入ってからが非常におもしろい。冷静な判断で困難に立ち向かうハーマイオニー、ハリーポッターを信じて自分を犠牲にするロン、勇気を持って悪の魔法使いに立ち向かうハリーポッター。スリル満点でハラハラドキドキする展開の中にも友情・信頼・勇気が描かれている。

III. 映像の魅力

今では音楽だけで何の映画かわかるほどにまでヒットした『ハリーポッターシリーズ』ではあるが、改めて見直してみると映像にもたくさんの魅力が隠されていた。ホグワーツ魔法学校のセットはライトではなく、松明と蝋燭の明かりで照らされることにより、非常に不思議な世界が生み出されている。『ハリーポッター』の魅力はストーリーの巧妙さだけでなく、映像・音楽にもあるのだ。

『スパイダーマン』を見て感じたこと

濱口 恭平

①Kyohei HAMAGUCHI ②Spiderman ③2002年 ④121分 ⑤ヒーロー ⑥トビー・マグワイア キルステン・ダンスト ⑦サム・ライミ ⑧スタン・リー スティーブ・ディッコ ⑨愛、正義 ⑩This movie is fantastic.

あらすじ：幼くして両親を亡くし、伯父夫婦のもとで育てられたピーター。高校3年生になったピーターは、6歳の頃から思い続けている隣家のメリー・ジェーンに未だに打ち明けることができない冴えない高校生。ある日ピーターは親友のハリーから彼の父親ノーマン・オズボーンを紹介される。ノーマンは巨大軍需企業の経営者にして、天才科学者。ノーマンはピーターの才能を高く評価。彼に目をかけるようになる。そんなピーターは大学の研究所を見学した際、遺伝子組み換えでスーパースパイダーとなったクモに刺されてしまう。その瞬間、ピーターの身体に異変が起こり始める。

I. 『スパイダーマン』との出会い

私がこの作品と出会ったのは映画館であった。もともと違う作品を見に行っており、その映画が始まる前の新作映画の紹介でこの映画の予告編が放映されていた。この予告編を見ただけでこの作品が大好きになったのだ。

II. 平和を守る正義の物語

この作品はアメリカンコミックを映画化したものであるため、とても勧善懲悪がしっかり描かれており、見ていて、とてもスッキリするのである。また、しっかりと愛についても繊細に描かれていて自分も共感できる部分もたくさんある。

III. まとめ

この映画を見ることで本当の正義とは何か、ということを知ることができると思う。また、真実の愛についても考えることができるのではないだろうか。私はこのような理由からこの映画を勧めたい。

『ジュラシック・パーク』が語る生命の力

西村 晃一

① Koichi NISHIMURA ② Jurassic Park ③ 1993年 ④ 127分 ⑤ SFパニック
⑥ サム・ニール/ローラ・ダーン ⑦ スティーブン・スピルバーグ ⑧ マイケル・クライトン：ジュラシック・パーク ⑨ 恐竜/進化と進歩/生命の力 ⑩ An encounter with a real dinosaur to you.

あらすじ： 大富豪ジョン・ハモンドの招待で、古生物学者グラントとサトラー、数学者マルコムが南米コスタリカの沖合に浮かぶ島を訪れた。そこは太古の琥珀に閉じ込められたDNAから遺伝子工学によって蘇った恐竜たちが生息する究極のアミューズメント・パークだったのだ。だがオープンを抑えた“ジュラシック・パーク”に次々とトラブルが襲いかかる。嵐の迫る中、ついに檻から解き放たれた恐竜たちは一斉に人間に牙を剥き始めた。

I. 恐竜の姿

「ジュラシック・パーク」は恐竜好きな少年だった僕に、初めてホンモノの恐竜を見せてくれた映画でした。完成度の高い恐竜の姿は溜息が出るほどの美しく、動きや表情もすごくリアルで、まるでその場に恐竜がいるようでした。

本作を私が初めて見たのは、小学生の低学年の頃。私は本当に小さい頃から恐竜が大好きだったのもあり、興奮の連続でした。・・・

II. 魅力

この映画の魅力である迫力や興奮は、設定のリアルさにある。

まず、琥珀の中に閉じ込められていた恐竜時代の蚊から恐竜の血液…つまりDNAを採取し現在に恐竜を蘇らせるという、明日にもありえそうな設定。

また、パーク内での恐竜の自然な繁殖を防ぐためにメスのみ展示するという、ありがちなパターン・・・しかし、それは恐竜の進化の速さと対応力により打ち破られる。それが、恐怖のアミューズメント・パーク、「ジュラシック・パーク」の幕開けとなる。

III. 生命の力

主役の古生物学者のグラント博士は、かなりの子供嫌いである。ジュラシック・パークに出かける前のシーンでは、恐竜を馬鹿にする少年に対して大人気なく恐竜の爪の化石で脅かし怖がらせたりしていた。しかし、ジュラシック・パークでハモンドの孫の姉弟と共に困難や恐怖を乗り越えるうちに愛情が芽生えていく。

このグラントの成長は、恐竜たちの進化の速さ・対応力など「生命の神秘」ともいえる莫大なテーマをグッと私たちの身近なものにしているように思える。

『saw～生の価値～』

玉木 壽成

①Hisanari TAMAKI ②Saw～value of the life～ ③2004年 ④103分 ⑤ソリッドシチュエーションスリラー ⑥ケイリー・エルウィス、リー・ワネル ⑦ジェームズ・ワン ⑧リー・ワネル ⑨The criminal likes looking in the front row. ⑩I learned importance of the life to see this movie.

あらすじ：目が覚めると、部屋の中央には自殺死体。対角線上には足を鎖で繋がれた二人の男、ゴードンとアダム。犯人から突如として始められたゲーム。「君たちは死につつある」「6時までに相手を殺すか、自分が死ぬか」。与えられたのは、テープレコーダー、一発の弾、タバコ2本、着信用携帯電話、そして2本のノコギリ。二人は犯人が部屋に残したヒントを手掛かりに脱出しようとする。一方、謎の猟奇殺人鬼「ジグソウ」を追っていたタップ刑事とその相棒・シン。異様な殺人現場に残された手がかりをもとに、二人はジグソウを追い詰めるが犯人は意外な人物…。回想と謎解きを交えながら驚愕の結末を迎える作品。

タイトルの「ソウ」(Saw)は「(名)のこぎり」「(動)seeの過去形」そして劇中謎を投げかける犯人の名前ジグソウ(jigsaw)、と三つの掛詞になっている。さらに主人公の職業である外科医を意味する語(sawbones)や立場逆転のこと(seesaw)も示しているのではないかと、という説もある。監督が当時は無名であったため、低予算でわずか18日間という短期間で作り上げられた。

私はこの作品を観て、グロテスクな映像のある恐ろしいサスペンス映画なのですが、なぜか他の映画とは少し違うなと感じました。この映画は、殺人鬼であるジグソウが次々と自らが作った命がけのゲームを被害者にさせるといっても残忍なものです。しかし、その被害者たちには共通点があり、そのいずれもが「生を大切にしない者」「生きる喜びを知らない者」なのです。どのゲームにも生き残った者がいない中、たった一人だけ生還者がいました。それは麻薬中毒から抜け出せずに苦しむ女・アマンダでした。ゲームから生還して数日が経ち、取調べを受ける彼女から出た言葉が、「あの恐ろしいゲームをして以来、クスリを絶てた…。ジグソウは恩人」と言ったのです。殺人のゲームをさせられたのに、なぜ彼女がそう感じれたのか。このような部分が、他の映画にはない本当にこの映画の特徴的なところであると思います。「生きているのがどんなに素晴らしいことか」と教えられ、誤った道を歩んできた者が正しい道へと更生していく作品は他にもたくさんあると思います。

しかし、それを殺人鬼に教わる映画は、これ以外にないと思います。私は、この映画を観て衝撃を受けました。そして新たに自分の人生を見直し、「生に感謝する」という気持ちを持たなければいけないと痛感しました。私だけでなく命の大切さや生の価値の分からない者が多い世の中にとって、とても衝撃的な作品だと思います。

『ターミネーター2』に描かれているもの

吉田 雅

①Miyabi YOSHIDA ② Terminator 2: Judgment Day ③ 1993年 ④ 137分 ⑤ Science Fiction ⑥ T-800/Arnold Alois Schwarzenegger ⑦ James Francis Cameron ⑧ James Francis Cameron ⑨ 信頼の形 人類の方向性 父性の在り方 ⑩ It was impressive for me that the homicide machine learned human feelings.

あらすじ：1994年、未来から二体の殺人機械「ターミネーター」がやって来た。うち一体は新型の「T-1000」と言って、未来に於ける人類対機械の戦争で人類側の「指導者」となる運命を背負った少年、ジョン・コナーを抹殺する為に、もう一体は旧型で「T-800」と言い、ジョンの命を守るべく未来のジョン自身から送り込まれて来た。T-800はジョンと彼の母親サラを守りながらT-1000と戦闘を繰り返す。死闘の末、T-800はT-1000を溶鉱炉に落とし、将来ターミネーターの開発の核となるチップも処分した。しかし、T-800は自分もチップを保有していると言って、自らも溶鉱炉に沈む。そうして世界に平和が訪れた。

本作品は、SF やアクションとしては最高峰の迫力を備えた映画である。特にT-1000 がジョン一行をトラックに乗って追跡する場面ははらはらして常に緊張を禁じ得なかった。正に「手に汗握る」逃走劇であったと言えよう。

しかし、本作品の魅力はそれだけにはとどまらない。私が前述の逃走劇以上に素敵であると感じたのは、殺人機械ターミネーターであるT-800が、人間のジョンやサラとの触れ合いと通じて少しずつ人間の感情を学んでいく事だった。感情の無いターミネーターが、人間の笑ったり泣いたりする姿を見ると同時にそれらを学んでいたのだ。T-800は最後に自ら溶鉱炉に沈む直前、泣いてしまうジョンに向かって静かに、「泣く理由が分かった。泣くことは出来ないがね。」と言って彼の涙を拭く。

その出来事を、ターミネーターである彼が人間の行動を「観察」し「学習」した結果であると言ってしまえばそれまでだが、私はそうではなくて、彼がジョンの気持ちを「理解」したからそうしたのだと思いたい。

敢えて機械を登場させる事で人間の素晴らしさを浮き彫りにしたこの映画を、私は心から賞賛する。

『アルマゲドン』

家族・仲間との愛、絆、信頼

伊関 祐希

①Yuki ISEKI ②Armageddon ③1998年 ④150分 ⑤moving ⑥Bruce Willis、Liv Tyler ⑦Michael Bay ⑧個性的な仲間 父子の愛 地球を救えるのか ⑩I am impressed by the spirit of heroic self-sacrifice. I shed the tears seeing the last scene that a Grace was talking with her fathers.

あらすじ：何の前触れもなく小隕石群がアメリカに落下した。しかしそれは悪夢の序章にしか過ぎない。同じころ、NASAにテキサス州の大きさもあるほどの小惑星が地球に衝突するとの報告が入った。地球の滅亡を防ぐためには爆弾を惑星内に設置し、内側から破壊するしかない。その任務に選ばれたのは仕事の中で失敗をしたことがないという石油掘削員のハリー・S・スタンパーであった。彼とその仲間たち14人に地球の運命は託された。宇宙になんて縁のなかった彼らに果たして地球は救えるのか…

最初この映画を見たきっかけはただ話題になっていたからと父がレンタルビデオ屋から借りてきたからだった。私は以前からブルースウィルスが好きだったためなんとなく見ることに。最初の感動というのはあまり覚えていないが、今になっても何か映画を見ようと思うとこの作品に手が伸びる。

キャラクターの魅力

この作品になんといっても欠かせないのがハリーの個性的な仲間たちだ。それは宇宙に行くための特訓のシーンでよくわかる。熱血でガラが悪く問題児ばかり。でも仲間想いのいいやつ等ばかりである。このさまざまな面白い仲間が広い世代に受ける要因なのだと思う。

親子の絆

最初のシーンでハリーの娘グレースとハリーの部下であるA.Jが恋仲であることがわかる。ハリーは猛反対、グレースはハリーに父親らしくしたことがなかったくせにと反発。こんな風に言い合っていた二人だが最後、ハリーが一人で惑星を破壊しに行く前にグレースと会話するシーンは涙が止まらない。ハリ

一が娘のグレースのことをどんなに愛しく思っていたかがわかる。父娘の絆が強く感じられた。

正義感・仲間

惑星を破壊しに行くシーンではさまざまなハプニングが起こる。全員のキャラクターが立っているためこのシーンになっていると全員が好きになっているのでハラハラ感がたまらない。また、破壊シーンではNASA側の無理な提案に反抗して信念を貫くハリーと仲間がかっこいい。

そして宇宙に出発するシーンでは14人並んでいた仲間も、無事帰ってくるときには数人が減っている。だが同じように並んで歩いているシーンを見てそこでも仲間がいなくなってしまったことを感じさせ、胸が痛くなる。全員好きになれるのでぐいぐいと映画に入っていけるのがいいところだ。

アルマゲドンはどこがどう際立っている、という部分は少ない。設定はありきたりであるし、映像が飛びぬけているわけでもない。だが基本である『愛』の描写が伝わりやすく、感動できる。また仲間たちのやりとりが面白いのでシリアスもコメディも両方楽しめる。

何か映画を見ようとなったときアルマゲドンに手を伸ばす理由はこのスタンダードな感じがあるからなのかもしれない。98年の映画だが10年経った今も楽しめる映画である。観るのにしんどくなくて、感動できる。幅広い世代に感動させられる映画だと思うので時間があって暇なときには是非見てほしい。

『ロッキー・ザ・ファイナル』と“挑戦”

山田 祥子

①Sachiko YAMADA ②Rocky Balboa ③2007年 ④102分 ⑤スポーツ ⑥シルヴェスター・スタローン ⑦シルヴェスター・スタローン ⑧人生・情熱・勇気・NEVER GIVE UP ⑩I leaned a challenge is very important in own life from this movie. My life can be changed only for myself.

あらすじ：有名映画、ロッキーシリーズの最終章。現役を引退してから“過去の人”として地元の小さなイタリアン・レストランを経営して日々をおくっていたロッキー。現在の暮らしに物足りなさを感じているなか、現役時代に関わったことのある人々に出会う。そのうちに自分の中のボクシングへの情熱に気づき、再びボクサーとして復活しようとするが…。

I. 有名映画ゆえの話題性

“あの名作、ロッキーシリーズの最終章が日本に上陸”——ロッキーのB.G.M.は知っていたが、映画そのものは全く知らなかった。しかし、「有名なロッキーシリーズの最終章」と言うことで、世間で話題になっていたのも、そんなに良いものなのか、と一度見てみることにした。

II. 言葉で語りすぎない魅力

映画『ロッキー・ザ・ファイナル (Rocky Balboa)』では、全体を通して通常の映画よりもセリフが少ない。しかし、セリフが少ない分、映像とそれを引き立てるB.G.M.で語る場面が多い。特にはじめのエイドリアンの墓参りのシーン、後半のロッキーが試合に向けて体をつくっていくシーンでは、効果的に映像と音楽が使われていた。それにより、そのシーンの重みが引き立てられ、物語に厚みが与えられていた。

III. セリフで観る『ロッキー・ザ・ファイナル』

前項目で、この映画にはセリフが少ないと述べた。しかし、その少ないセリフから気付かされることは多い。「情熱を持っていてもそれを燃やせる人はいない。」「世の中はバラ色じゃない。厳しくてつらいところだ。」「人生ほど重いパンチはない。」「自分を信じなきゃ人生じゃない。」これらのロッキーが息子に言った言葉は、スタローン自身が世の中に訴えたかったことのようにも感じる。これらのセリフを聞いて私は、自分の人生をしっかりと歩みたいと本当に思うなら、ロッキーのように自分を決してあきらめず、挑戦し続ける勇気を持つことが大事なのだと思う。

夢と希望を与える『ピーター・パン』

大原 優美

① Yumi OHARA ② Peter Pan ③ 1955年 ④ 77分 ⑤ animation ⑧ ジェイムス・Mバリー：「ピーター・パンとウエンディ」 ⑨ 大人と子供、夢の世界、冒険 ⑩ I saw this movie and learned the importance of having a dream. I want to have a dream forever.

あらすじ：いつも弟ジョンとマイケルにピーター・パンの話聞かせている姉ウエンディは、お父さんに子ども部屋をでるようにといわれてしまいます。その夜、ピーター・パンと妖精のティンカー・ベルが、なくした影を探しにやってきました。目を覚ました子供たちは、ピーター・パンの住む・永遠に子どものままでいられる夢と冒険の国・ネバーランドへと旅立っていきました。しかし、ピーター・パンを目の敵にしているフック船長の悪だくみに巻き込まれ・・・

I. 私と『ピーター・パン』

私は幼い頃からディズニー映画が大好きで、家には何本かディズニー映画のビデオがあり、子供の頃はよく母や姉と見ていた。中でも私のお気に入り『ピーター・パン』で、見ていると楽しい気分になり、見終わった後は映画の中に出てくる歌を口ずさんだりしていたものだ。

II. 夢を持つことの大切さ

夢と冒険の国、ネバーランドの描写がすばらしい。海賊、インディアン、人魚の入り江・・・まさに未知の国。一度は行ってみたいと思える。また、ピーター・パンは『楽しいことを考える』ことで、空が飛べると言う。毎日仕事に追われ、楽しいことを考えるのが難しくなりがちな大人たちに、夢を持つことの大切さを教えてくれる。

III. 大人と子供

『ピーター・パン』は子供でも大人でも楽しめる作品。子供にはいつかは大人にならなければならないことを教えてくれ、大人には夢を持つことの大切さを教えてくれるので、子供の時に一度見て大人になった時にもう一度見てみると、違った見方で見るができると思う。

『ピーター・パン』にみる子供の心

祖川 拓也

①Takuya Sogawa ② Peter Pan ③ 1955年 ④ 77分 ⑤ animation, fantasy ⑧ ジェームス・マシュー・バリー・Sir James Matthew Barrie(1860-1937) : 『ピーター・パンとウェンディ』 ⑨ 夢、冒険、子供の心 ⑩Let's go to "Neverland". Let's go to dream world.

あらすじ：ロンドンの街外れに、ウェンディという優しい女の子が住んでいました。そのウェンディが子ども部屋で過ごす最後の晩のことでした。いつまでも12歳のままの不思議な少年ピーター・パンと、焼きもちやきのティンカー・ベルがやって来たのです。そしてウェンディと弟たちを“ネバーランド”へ招待します。ティンカー・ベルの粉をちょっとふりかけて、右から二番目の星を目指してまっすぐに飛んでいけば、そこは大人にならなくてもいい島“ネバーランド”！ところが、ピーター・パンを目の敵にしている海賊、フック船長の悪だくみに巻きこまれて…。

I. ピーター・パンへの憧れ

私が『ピーター・パン』を初めて見たのは、小学校に入る前のことである。小さい子がテレビのヒーローに憧れを抱くように、私もその頃はヒーローに憧れていた。そんなときに初めて見たディズニー映画が『ピーター・パン』だった。夢の世界で海賊たちと戦い、空を飛び回り、子供たちを助けるピーター・パンの姿はその頃の私にとって一番の憧れであり、『ピーター・パン』の世界の中に私を連れて行ってくれた。

II. ここでしか楽しむことのできない世界観

この作品はディズニー映画の中でもとくに独特の世界観を持っている。子供だけが住む世界ネバーランドとそこに住むインディアンや人魚など、音楽とともに登場人物たちが歌って踊る姿は、日常とは全くかけ離れた世界に見た人を運んでいってくれる。そして、子供しかいない世界で唯一の大人である海賊フック船長たちと繰り広げる戦いは、見る人を時にはドキドキ、時には笑顔にしてくれることは間違いない。

III. 子供の心

ピーター・パンと子供たちのネバーランドでの冒険は、誰もが持っていた純粋な子供の頃の気持ちと呼び起こしてくれる。大人になると忘れてしまう子供の頃を『ピーター・パン』を見ることで思い出してみるのもいいかもしれない。また、親になったときに子供と同じ気持ちで一緒に見るのもいいかもしれない。『ピーター・パン』を通してもう一度自分の子供の心を思い出してみたいはかがでしょうか。

『魔法にかけられて』～真実の愛はどこに？～

安藤 理沙

①Risa Ando ②Enchanted ③2008年 ④108分 ⑤love comedy, fantasy ⑥エイミー・アダムス
⑦ケヴィン・リマ ⑧ジャスミン・ジョーンズ ⑨アニメと実写の共有、新しいタイプのディズニー
映画、真実の愛のキス ⑩We cannot know where and when true love starts. It comes up when and
where anyone does not expect to come.

あらすじ：おとぎの国“アンダレーシア”に暮らす心優しい姫、ジゼルは、夢にまで見た王子様との
結婚式の当日、悪の魔女に騙されてはるか彼方の世界へと追放されてしまう。そこは“おとぎの国”
とは正反対の刺激的な“現代のニューヨーク”であった。ジゼルはパニックに陥ってしまう。王子様
はそんなジゼルを迎えに行くが…。

I. ディズニー映画の魅力に引き付けられて

私は今までディズニー映画にあまり興味がなかったが、先日、あるディズニー映画を見て、その
虜になってしまった。そこで、最近話題になったディズニー映画「魔法にかけられて」を見てみよう
と思ったのがこの映画との出会いである。

II. つい夢中になってしまう作品

この映画は、アニメと実写の両方で構成されているが、映像がアニメから実写に変わる時、又は
実写からアニメに変わる時に違和感なく見る事が出来るように作られている。そして美しい映像、
リズムカルな音楽は見る者を惹きつける。

III. 印象的な場面、そして見所

ジゼルが現代のニューヨークで出会った、離婚弁護士で、超現実的な人間のロバートは、初め、
ジゼルを全く理解出来ず、受け入れられなかったが、一緒に過ごすうちに段々と距離が縮まっていく
場面が印象的であった。まったく違う人間でも理解し合えるのだということをこの映画から学んだ。

そしてこの映画の見所は、アニメと実写で構成されている所は勿論のことだが、一番の見所は“ス
トーリーの結末”ではないかと思う。是非結末に注目して見て頂きたい。

ディズニーに『魔法にかけられて』

小堀 槇子

①Makiko KOBORI ②Enchanted ③2008年 ④108分 ⑤animation, fantasy ⑥エイミー・アダムス, パトリック・デンプシー ⑦ケヴィン・リマ ⑧ディズニーの自己パロディ、魅力的な音楽、セルアニメの手法の復活 ⑩I want to tell you that this movie is magnum opus of Disney pictures before everything else. It describes world of Disney by animation and documentary.

あらすじ：幸福なアニメの世界に住むジゼル姫は、残酷な女王ナリッサによって現代都市のニューヨークに追放されてしまう。おとぎ話のような姿のまま路頭に迷うジゼルを助けたのは弁護士ロバートとその娘モーガン。アニメの世界でジゼルと婚約したエドワード王子とリスのヒップは、ジゼルを救い出すために自らニューヨークへ。しかし、ジゼルはこの現実世界でロバートに惹かれ始めていた。

I. この映画の魅力

まず、この映画がディズニーファンにとって素晴らしく興味深く、わくわくするものであることは間違いない。監督であるケヴィン・リマが、自身も大好きな「ディズニー映画の名場面を集めて作った」と言っているように、アニメ・実写・ミュージカルの要素の中に、シンデレラの、白雪姫の、「あの場面」がちりばめられているからである。絵本が開き、物語が始まると、私たちはすぐにディズニーの世界に入りこんでしまうのだ。

II. 誰もが憧れる「プリンセス」

女性なら一度は、シンデレラやオーロラ姫、白雪姫やベルに憧れたことがあると思う。この映画は、そんな幼いときの願望を叶えてくれるプリンセス映画だと言える。そのような映画は、いつか運命の王子さまに出会える…というのが一般的であるが、この映画では、一度婚約した王子様と一生幸せに暮らす予定だったジゼルが、現代に生きる王子様以外の男性に惹かれてしまい、思い悩む姿も描かれている。実に斬新で新しい。おとぎ話のロマンティックな展開と、現実世界のリアルな恋愛を対比しているようだ。

III. 魔法にかけられる

ジゼル姫はのんびり屋でマイペースだが、その純粹さを通して、現代に生きる人々が忘れかけていた「楽しむこと」を思い出させてくれる。これはディズニー映画に共通して言えることであると思うが、映画を見た私たちがジゼルと共に嬉しくなり、胸を締め付けられ、ときめくことを通して、「魔法にかけられて」いるのではないだろうか。

『魔法にかけられて』に魔法にかけられて

佐渡 千佳子

①Chikako SAWATARI ②Enchanted ③2008年 ④107分 ⑤animation, musical, love story ⑥エイミー・アダムス (主演女優) ⑦ケヴィン・リマ ⑧ディズニー史上最も“アリエナイ”物語、永遠の愛、セルアニメ&実写 ⑩A lot of songs remain in my head. Everyone is a yearned fairy tale once.

あらすじ：魔法の王国“アンダーレーシア”に暮らす、心優しいジゼル。夢にまで見たエドワード王子との結婚式の日、彼女は魔女にダマされ、世にも恐ろしい世界へと追放される。たどり着いたのは“現代のニューヨークだった！途方にくれる彼女が出会ったのは、バツイチで子持ちの離婚弁護士ロバート。超ゲンジツ的な彼は小さい娘モーガンに対しても、“夢”や“魔法”などアリエナイものだを教えてきた。さらに、“恋愛”にすらクールな態度を取るロバートに、ジゼルは、“永遠の愛”を伝えようとするのだが…。やがて、彼女を追ってやってきたエドワード王子や、魔法使いの女王と家来、そして火を吐くドラゴンも現れて、ニューヨークは大パニックに！はたしてジゼルは魔女の呪いを解き、元の世界へ戻れるのだろうか？

I. 私と『魔法にかけられて』

この作品は、私が初めて映画館に見に行ったディズニー作品だった。今までディズニー作品はあまり見たことがなかった私が、ディズニー作品にはまるようになった転機となった作品だった。アニメと実写が違和感なく組み合わさった映像、見終わった後まで口ずさんでしまう挿入歌、ニューヨークという現実の世界でくり広げられる女の子なら誰も憧れるおとぎ話の世界、そんな魅力にあふれた作品だった。

II. 見るものを『魔法にかけ』るジゼル

「永遠の愛」。それは誰もが憧れるもの、しかし手に入れるのが難しいものではないだろうか。現実の世界で暮らすロバートはバツイチ。永遠の愛などはないという考えを持っている。そんなロバートにジゼルは“永遠の愛”を夢見ることの大切さを教える。永遠の愛を誓おうとしているエドワード王子が助けに来てくれると信じる、そんなジゼルの気持ちが、次第にロバートにも伝わっていく…。

ジゼルを見ていると、「永遠の愛」を夢見ていた幼い頃に引き戻される。永遠なんてものはないのだと諦め、夢見ること忘れてしまっている現実。それを「仕方のないこと」と思うのは、実はとても寂しいことなのではないだろうか、「永遠の愛」はあるのではないだろうか、そう思える『魔法にかけられ』るのである。

III. 作品中に数多くしかけられた『魔法』

王子様とお姫様、トロール、意地悪な継母、毒のりんご、真実の鏡、魔女の魔力、12時までの魔法、ドラゴン、片方だけの靴、真実の愛のキスで目覚めるお姫様

上記の他に過去のディズニー作品にあったキーワードがこの作品には多く見られる。「このシーンどこかで見たことある…」そう思ったのは私だけではないはずだ。ありきたりで、どこかで見たことのある展開だからこそ、おとぎ話を夢中で読んだ幼い頃に帰り、楽しめるのだ。しかし、さすがここは現代のニューヨークが舞台というべきか、この作品は期待通りの展開で終わらない。もちろん、ディズニー作品お約束のハッピーエンドではあるのだけれども。あなたも『魔法にかけられて』みませんか？

『魔法にかけられて』における愛のかたち

楠田 円香

①Madoka KUSUDA ②ENCHANTED ③2007年 ④107分 ⑤Love Story ⑥Giselle: Amy Adams Robert:Patrick Dempsey ⑦Kevin Lima ⑧『リトル・マーメイド』や『美女と野獣』『アラジン』などを手がける ⑨True Love ⑩The fairy tale the princess and the prince lived happily forever is in this movie. But anything is not always done well in reality. Love of each world is shown.

あらすじ：魔法の王国“アンダレーシア”で動物達と仲良く暮らす心優しいジゼル。夢にまで見たエドワード王子との結婚式の日、彼女は実は魔女であるエドワードの母に騙され、ファンタジックな“おとぎの国”とは正反対の街、“現代のニューヨーク”へ追放される。見た目はリアルな姿に変わったものの、ジゼルの優雅でマイペースな“お姫様キャラ”は、大都会で浮きまくり…。途方に暮れる彼女が出会ったのは、バツイチで子持ちの離婚弁護士ロバート。超現実的な彼は小さい娘に対しても、“夢”や“魔法”などあり得ないものだを教えてきた。さらに、“恋愛”にすらクールな態度を取るロバートに、ジゼルは“永遠の愛”があるということを伝えようとする。やがて、彼女を追ってやって来たハイテンションな王子や、魔法使いの女王とドジな家来のせいでニューヨークは大パニックに。はたして、ジゼルは魔女の呪いを解き、元の世界へ戻れるのだろうか。

I. きっかけ

私がこの作品に興味を持ったきっかけは、ただ単に映像がきれいだからということだけだった。ディズニーの作品はおとぎ話を映画化したものが多いので、この作品も子ども向けの作品だと思っていた。しかし、実際に見てみると今までのディズニーの作品とは異なる部分が多く、大変驚かされた。この作品は子どもだけでなく、大人も楽しめ、考えさせられる作品であると思う。

II. この作品で考えさせられたこと

おとぎ話は、たいてい「王子様とお姫様はいつまでも幸せに暮らしました。」とハッピーエンドで終わる。しかし、現実の世界においてそんなにうまく行くことはほとんどない。この作品はアニメーションと実写の融合によって、おとぎ話の世界と現実の世界の愛の形、それぞれに疑問を投げかける。

今までの『美女と野獣』や『アラジン』などのディズニー作品は“永遠の愛”を誓う形で幸せな結末を迎えるが、この作品ではそうではない。私たちの生きる現実世界は、幸せに結婚したはずの夫婦が離婚の危機に直面するような悲し

い世界である。そんな現実世界に、おとぎの国からやってきたジゼルは愛の理想の形を語りかける。そして、そんな純粋なジゼルの愛の形は現実世界を少しずつ変えていく。逆に、ロバートも出会ってすぐに結婚してしまおうとしているジゼルにデートをしてお互いをもっと知ることの大切さを教え、ジゼルも自分が信じてきた愛も形に疑問を持つ。そうしてお互いの愛の形がすべて正しい訳ではないということに気づく。愛について違う価値観を持っていた二人はやがてお互いを理解し、魅かれていく。しかし、二人はその気持ちを心の奥底にしまい込み、それぞれのパートナーと共に舞踏会に参加する。そこで起きたある事件により、お互いが本当に愛し合っているということに気付く。

Ⅲ. まとめ

このように、この作品は今までのディズニーの作品とは異なり、現実の愛について考えさせられる。おとぎ話の愛の形の危うさ、現実世界の愛の軽さをアニメーションと実写の融合という新しい表現方法で表されたこの作品は、私たちに愛について考えさせるきっかけとなる作品であると思う。

『ファインディング・ニモ』から学んだこと

山村 祐香

①Yuka YAMAMURA ②Finding Nemo ③2003 ④100分 ⑤animation, Fantasy
⑥ マーリン ニモ ⑦アンドリュー・スタントン リー・アンクリッチ ⑧アンドリ
ュー・スタントン ⑨2003 年のアカデミー賞【長編アニメ賞】 海の中の世界 親子
の絆 ⑩It is important to help each other. And a bond of father and child is very
deep.

あらすじ:カクレマノミのマーリンは妻のコーラルとたくさんの卵を守って暮らして
いたが、ある日突然凶暴な魚に襲われ、マーリンとたった一つの卵が残された。マー
リンは生き残った魚にニモと名づけ大切に育てた。しかし、ニモははじめて学校に登校し
た日に人間のダイバーにさらわれてしまう。マーリンはボートを見たというドリーとど
もにニモを探す旅に出る。

I. この作品との出会い

私がこの作品を見ようと思ったのは、CM で見たニモがかわいかったからだ。
背景の海も美しくて幻想的だった。また、ピクサーの作品であったのも魅かれ
た理由の一つだ。トイ・ストーリーやモンスターズインクなどピクサーの作品
は楽しいものであったから、きっとこの作品もいいものに違いないと思ってい
た。実際素晴らしい作品だった。映像ももちろん息をのむほど美しいものだっ
た。しかし、それだけではなくおもしろくて感動的なストーリーだった。

II. この作品の魅力

私がこの作品で魅力に感じたのは、壮大な海の世界だ。ニモやマーリンたち
カクレマノミが住むサンゴ礁をはじめ美しい映像がたくさんあった。また、
親切だけでも物忘れのひどいドリーは物語を盛り上げてくれる大事なキャラ
クターであり、人間に捕まってしまったニモが入れられた人間の世界の魚たち
も個性的だった。サメ、アンコウなどのリアルで恐ろしい顔の魚やシルエット
を作り出す魚の群れ、海流に乗るウミガメの群れなど様々な生き物が登場して
きた。実際の魚にはまぶたはついていないが、この映画に登場する魚たちには
まぶたが付いている。これによって、魚たちの表情は豊かになった。また、こ
の映画は水の世界を美しく再現するために海、水槽、岩礁など6つのグループ

に分かれて映像が作り出されたそうだ。このような様々な工夫のおかげで、この映画は出来上がったのだ。

『ファインディング・ニモ』は見ていて全く飽きないし、常に次はどんな生き物が出てくるのかという楽しみがあった。大人も子供も楽しめる作品だと思う。

Ⅲ. 助け合うことの大切さ

たくさんの周りの助けがあったおかげで、マーリンとニモは再会することができた。マーリン一匹では広い海ではどうすることもできなかつただろう。ドリーをはじめ、いろいろな海の生き物や鳥などがマーリンやニモのために手を貸してくれたおかげだ。たくさんの生き物と助け合うことでマーリンやニモは成長していった。マーリンは多くの生き物との出会いで、関わりあうことが上手くなっていった。そして、これは人間でも同じことだと思う。人は一人では生きていけない。助け合って、お互いに感謝して生きていくべきなのだ。

また、マーリンとニモの親子の絆は計り知れないものだった。海が怖いマーリンであったが、息子を探すために大海原に飛び出して行った。マーリンの行動は海中に知れ渡り、結果二人は出会うことができた。ニモとマーリンが再会するシーンは本当に感動的であった。

監督のスタントン氏も実際、息子を公園に連れて行った時に恐怖心が邪魔をして思うようにいい父親になれなかつたらしい。また、“海”では何が起こるか分からないというところを“人生”にかけてみたいと思ったのが、この映画をつくるきっかけとなったそうだ。

この映画はかわいいだけでなく、大切なことも学べる映画だと思う。

『Mr. インクレディブル』にみる家族愛

酒井 里枝

① Rie SAKAI ② Mr. Incredible ③ 2004年 ④ 115分 ⑤ スーパーヒーローアニメ、フルCG ⑥ Craig T. Nelson(声優) ⑦ Brad Bird ⑧ こだわったCG映像、家族全員ヒーロー、愛 ⑩ Super speed is my favorite. It would be nice if we all had super power. I want Dash's speed.

あらすじ：かつて世界の平和を守っていたスーパーヒーロー達。しかしあることが発端となり世間のスーパーヒーローに対する風当たりが強まり、政府の政策により今から15年前に全てのスーパーヒーローが引退し、世間には正体を隠して生活を始めた。Mr. インクレディブルこと、ボブ・パーもその一人だった。彼は保険会社に勤務し家族を養っていた。そんな彼の家族もまた、全員がスーパーパワーの持ち主だ。会社をクビになったボブは、家族に内緒でヒーロー活動を再開する…。

I. ストーリーの魅力から

私がこの作品を初めて観たのは、高校3年生の英語の授業でした。高校3年生にもなっています。アニメ…。と思いましたが、話が進むうちに、だんだんこの作品に惹かれていきました。最初の方は、太くてかっこ悪いように見えた主人公も、話の半ばに入ってくるとすごくかっこ良く見えてくるほど、面白い映画でした。

II. それぞれのスーパーパワー

この映画は主人公のボブだけじゃなく、奥さんのヘレン、姉のヴァイオレット、弟のダッシュル、赤ん坊のジャックまでもがスーパーパワーの持ち主です。その一人一人の能力が個性的でこの作品の見どころだと思います。

III. 戦いの中で見る家族愛

私がこの映画で、製作側が視聴者に1番伝えたかったことは家族愛だと思います。ボブとヘレンは、初めはいがみ合っていたヒーロー同士でしたが、お互いを好きになり結婚しました。しかし、ボブが家族に内緒でヒーロー業を再開してからは、だんだんボブと家族の間に溝ができていきます。ですが、戦いを通して家族愛を取り戻していきます。その過程を観ていると、本当に心があつたかくなります。この映画は私に、幼かった頃に見たヒーローアニメの興奮と、家族の大切さを思い出させてくれました。

『Mr. インクレディブル』に学ぶ家族愛

内丸 恵

① Megumi Uchimaru ② Mr. Incredibles ③ 2004年 ④115分 ⑤ animation ⑦ Brad・Bird (1957年9月11日-) ⑧ The Incredibles ⑨ アカデミー賞受賞、スーパー・ヒーロー、ファミリー・エンターテインメント ⑩ It is felt that the bond of family is really great. I think that it is a movie that can make us gentle to the others.

あらすじ：かつて世の中の平和を乱す悪と闘い、人々を危機から救い出す大活躍をしていたスーパーヒーロー、Mr. インクレディブルことボブ・パーとその妻、イラスティガールことヘレン。ところが、15年前のスーパーヒーロー制度廃止を機に、夫妻は一般市民として暮らすことを余儀なくされ、3人の子どもたち、ヴァイオレット、ダッシュ、ジャックジャックと共に“普通”の家族生活を送ろうと努力していた。そんなある日、ボブのもとへ謎の女性ミラージュから「Mr. インクレディブル、あなたのスーパーヒーローとしての力が必要です。」と極秘任務の依頼がやってくる……………。

I. 『Mr. インクレディブル』との出会い

私が『Mr. インクレディブル』を初めて観たのは、高校2年生のとき父がDVDを買ってきたときである。数年前に映画館で上映されていたことは知っていたが、そんなに興味もなく観たことはなかった。しかし、これまでもディズニー映画は何作品も観たことがあり、どの映画も面白く好きだったため、さっそく観ることにした。

II. 家族愛と個性豊かなキャラクター

過去の栄光が忘れられず、家族に内緒でミラージュからの誘いにのったボブ。不信任を抱くヘレンだが、家族の愛はそんなにもろいものではなかった。家族で一致団結して困難に立ち向かう姿がとても感動的である。誰一人欠けてはいけない存在であることが強く感じられる。それぞれのキャラクターも個性豊かで魅力的。次々に起こるピンチも、それぞれが持つスーパーパワーで乗り越えていく。頑丈な肉体と驚異的な怪力を持つボブ。伸縮自在な肢体の持ち主ヘレン。自らを透明にするほかバリアを張ることが出来るヴァイオレット。超スピードで走ることが出来るダッシュ。しかし、ジャックジャックの能力だけがはっきりとは明かされていない。その点も気になるところだが、とにかく最初から最後までハラハラドキドキ。コミカルでスピーディな展開、笑える場面も多々あり、先が想像できないため、飽きることなく、物語の中へはいりこんでいってしまう。

III. おすすめポイント

『Mr. インクレディブル』を観ると、家族の大切さを改めて実感できるに違いない。小さな子どもから大人まで幅広く楽しむことが出来る作品だと思う。そして、観た人誰もが少なからず家族の絆について何かを感じることが出来るだろう。私は、この作品から「家族を信じること」を学んだ。家族はやっぱりどんなときも一緒に居るべきだと強く感じた。また、ヒーロー一家の活躍はとても素晴らしいが、私が特に注目してほしいのは、イラスティガールの母親としての姿である。旦那、3人の子どもにかける愛情が一際強く感じられた。

映像も美しい。ピクサー作品で人間社会を舞台とした作品は初めてだったが、髪の毛一本一本も忠実に表現されており、もう感心するしかない。

映像、ストーリー、キャラクター、どれをとっても素晴らしい作品だと思う。少しでも多くの人に是非観てもらいたい。

『モンスターズインク』にみた愛情と友情

柳沢 里沙

①Risa YANAGISAWA ② MONSTERS, INC. ③ 2002年 ④ 92分 ⑤ animation ⑦ PETE DOCTER ⑨ ディズニーとピクサー制作、CGアニメーション映画、アカデミー賞主題歌賞、⑩ When I finished watching this movie, my heart filled with warmth. Friendship is great!!

あらすじ：舞台は子供部屋のクローゼットのドアの向こう側ある、モンスターの住む世界、モンスターシティ。モンスターズ株式会社（モンスターズインク）は子供の悲鳴を集め、それをモンスター界にエネルギーとして供給している大企業で、人間の子供部屋に通じるドアをたくさん持っている。しかしモンスター達は人間の子供を害があるものとして恐れているのだった。悲鳴獲得ポイント社内No.1の怖がらせ屋のサリーとアシスタントのマイクはいつも一緒に親友であった。ある日、サリーが人間の子供のブーがドアの向こうから入ってくる場面にいあわせてしまう。2人でなんとかばれないようにブーを人間界に送り返そうとするが、さまざまな妨害にあってしまう。

I. 『モンスターズインク』との出会い

私はこの映画を中学1年生の春休みにお母さんと弟と見に行きました。自分から見たいと思って見に行ったわけではなかったので、コメディっぽい映画かなとそんなに期待もせずに見ていました。しかし、この映画は笑いあり、驚きあり、感動ありの映画でたった1時間30分でさまざまな感情が溢れ出しました。

II. サリーのブーに対する感情の変化とサリーとマイクの友情

モンスター界では人間の子供は害があると言われてるので、当然サリーとマイクも最初はブーを警戒します。しかしブーと接していく中で、サリーはこの子が自分たちに害を与えるとは思えないと思い、親心に似た愛情がブーに対して出てくるのです。ブーの言葉や行動は素直ですごくかわいい。サリーが愛着湧くのもわかります。また怖がらせ屋の仕事をしている場面をブーに見られ、ブーがサリーを怖がって近づかなくなった時のサリーのショックを受けるシーンも、サリーがどれだけブーに愛着が湧いてるのかをあらわしています。

そんな中マイクは最後までブーを警戒し続けます。ブーのことで一時、2人の友情関係にひびが入ります。それでもやっぱり親友同士。サリーがブーを1人で助けに行ったシーンに現れたマイクはすごくカッコいいです。

III. 最後まで楽しませる面白さ

この映画のエンディングにはモンスター達のNG集とマイクとサリーが本編でふざけてしていたミュージカルの完成品が流れます。アニメでNG集があるなんて初めてですごく衝撃的だったので、その発想はすごいなと思いました。最後の最後まで私たちを楽しませ、細かいところまで面白さを追求したこの映画は本当に素晴らしい作品だと思います。

『ライオンキング』に見る自分との闘い

山本 洋葵

①Hiroki YAMAMOTO ②THE LION KING ③1994年 ④87分 ⑤animation ⑨ディズニー ⑩I was moved by the content where a chief character was opposite to the past and overcame.

あらすじ：動物たちの王国であるプライド・ランドに、王として慕われていたライオンのムサファ。その息子シンバに、王として必要な考えや自然について教える。そんな中、シンバが王になることを望んでいないムサファの弟スカーは…。

I. ストーリーの魅力から

私がこの作品を初めて観たのは、今からおよそ10年前で、子供会のお楽しみ会というイベントの中で鑑賞しました。そのときはあまりこの作品について、そこまでの感動は覚えていませんでした。しかし、大人になって改めて観てみると、もっと深い意味が見えてきました。

II. 評価

ディズニーらしい映画であり、主人公のライオンもとても可愛くされている。また、物語のなかで出てくる動物たちの踊りもリズムが良くて、頭の中にメロディーが残るほどである。

III. 物語から

過去から自分を遠ざけていくのではなく、「自分」に立ち向かう姿勢がとても大切である。人は、過去の失敗からどうしても逃げたくなるのだが、過去からにげるのではなく、過去に立ち向かっていく勇気を持って、そうすることによって、また一歩、大人になって行くのではないかと思った。

『アメリ』に学ぶ、人の生き方

元泉 宗子

①Shuko MOTOIZUMI ②Amelie ③2001年 ④121分 ⑤ヒューマンドラマ ⑥オドレイ・トトゥ ⑦ジャン＝ピエール・ジェネ ⑧ー ⑨恋心、周囲の人の幸せ、アカデミー賞外国語映画賞等ノミネート ⑩I wanted to be in love and felt difficult to convey own feelings well.

あらすじ：子どもの頃から妄想好きだった主人公のアメリは大人になった今も妄想することが好きだ。彼女は自分の周りにいる人の幸せを思っちょつとしたアクションを起こす。それは恋の手伝いや内気な青年に自信を与えることなど様々だ。そんなアメリもひょんなことで出会ったある男性に恋心を抱くようになる。人の恋を応援することは得意な彼女だが、自分の恋となると話は別だ。自分の恋愛に不器用なアメリの恋の行方は・・・？

この作品の魅力はまず主人公のアメリの人柄にあると私は考える。少々いたずら好きだがそれは決して人を傷つけるものではなく、相手を思っちょつしていることなのだ。そして、人の恋のキューピッドにはなれるけど自分の恋には不器用で、素直に気持ちを伝えることをためらっているところがとても可愛く、共感できる部分がたくさんある。好きな人に彼女がいるかどうかを気にしたり、女の人と話していたと聞いてショックを受けたりと切ない恋心を抱くアメリが、彼女を応援する周りの人々のおかげで勇気を持てるようになる所も、自分が作品に登場する人物の中の一人のような気餅になって映画を観ながらアメリを応援することができる。

アメリが起こすいたずらの面白さと彼女の恋の行方の両方にドキドキしながら、どんどん作品の世界に引き込まれていった私だが、それはストーリーだけではなく、作品を一層引き立てている音楽や、舞台となっているフランスの町並み、登場人物のファッションによる効果がとても大きいと感じた。特にアメリの部屋は彼女のちょっぴり変わった性格を上手く表現しているとともに、女の子が真似したいと思うような可愛らしくオシャレな部屋のセットだった。この作品に出会って、私は自分が恋をしたいと思うだけではなく、自分の周りの人の幸せを願うことのできるアメリに憧れ、自分もそんな素敵な人間でありたいと考えるようになった。そして、作品を観終わった後の優しく穏やかな気持ちを忘れることができない。もう一度観たいと思える作品とはなかなか出会えるものではないと思うが、私にとって『アメリ』は何度でも観たいと思える作品である。自分に自信がなくて恋に悩む女性の方や、女性の気持ちが分からなくて苦しんでいる男性の方、どちらでもないけれど日常生活に何か刺激が欲しいと思っている方など、少しでも多くの人々がこの作品に触れて幸せを感じ、やさしい気持ちになってもらいたい。

映画『ルートヴィヒ』に学ぶ理想を追い続けるということ

太田 有紀

①Yuki OTA ②Ludwig ③2006年 ④237分 ⑤ドイツ映画 ⑥ヘルムート・バーガー、ロミー・シュナイダー ⑦ルキノ・ヴィスコンティ ⑧なし ⑨バイエルン王国・エリーザベト・ワグナー ⑩I think this film is very beautiful and moving. This movie represents the sense of the director.

あらすじ：『ルートヴィヒ』は、バイエルン王国の国王ルートヴィヒ 2 世の生涯を追った物語である。1862 年にルートヴィヒ 2 世の父であるマクシミリアン 2 世が急死したことで、18 歳という若さで王位に就くこととなり、ルートヴィヒ 2 世の戴冠式の様子からはじまる。若きルートヴィヒ 2 世は戴冠式を前にして、神父に賢人や芸術家たちを呼び寄せて王国の名を不朽にするという理想に燃えているという心のうちを告げる。この後王は作曲者ワグナーの音楽と衝撃的な対面をはたし、借金だらけのワグナーのパトロンとなり、「トリスタンとイゾルデ」の上演を国庫の負担で成功させる。しかし、あまりに多額なワグナーへの投資により財政難の避難を浴び、また戦争を好まないために別荘にこもりきりになったり、城の建築だけに熱中することで自らの芸術世界にのめりこむことで、国務を放棄するようになる。これに対して、様々な政治家や専門家たちが半ば不正まがいな王の精神鑑定書を提出し王に退位をせまり、王は自らの城に軟禁状態におかれる。その翌日雨の中 1 人の主治医とともに散歩に出かける。1 時間ほどで戻るといふ条件のもと散歩に出た王は夜になっても帰らず、外で謎の銃声がとどろく。この後、家来たちが総出で城のそばの湖を搜索し、亡き 2 人の遺体を発見したところで物語は幕を閉じる。

I. 『ルートヴィヒ』との出会い

今年の夏に 1 か月ほど両親のいるミュンヘンに滞在した際に、観光した城のいくつかはルートヴィヒ 2 世が築城したものであり、またミュンヘン自体がルートヴィヒ 2 世と深い関わりがある街であることからルートヴィヒ 2 世に興味をもったため、この映画と出会うこととなった。

II. 信念を曲げず、理想を持ち続けるということ

ルートヴィヒ 2 世が建設した数々の城を訪ね歩いている間にも気づいたことであるが、彼の城にはその信念や理想が貫き通されていることに驚きを感じた。これは、劇中でも「国民への偉大な贈り物で心を豊かにするのです。」というセリフにも窺うことができた。しかし、それはルートヴィヒ 2 世が持っていた少年の心が現実と相容れなかつ

たことをも示唆しているように思える。そして、現実と折り合いをつけることができなくなったルートヴィヒ 2 世は狂気の沙汰とも言われた築城を手掛けることしかできなくなったのであろう。

しかし、この映画ではルートヴィヒ 2 世の城内は彼の精神世界ともいえるかのように、薄く青い霧がかかったように幻想的に描かれていたことが非常に印象的であった。

III. 全編を振り返って

私は、この映画を鑑賞した後、ルートヴィヒ 2 世個人について非常に興味をもったため、他の文献や彼の身近な人物（従姉でありオーストリア王妃であったエリーザベト）について、調べてみた。なぜなら、ルートヴィヒ 2 世の謎の死についてもっと知る手がかりがつかめないかと思ったからだ。しかし、どこにもそれ以上の手がかりはなく、その事実もまたこの映画の意味合いをより深くしていると感じた。ルートヴィヒ 2 世の遺体が安置してある教会へ行き、棺と対面したときは逆に、真実を知る必要はないようにも思えた。そういった面においても、この映画は幻想さを忘れないままでもあり、非常にリアルに描かれていたようにも感じられた。

IV. 監督ヴィスコンティについて

ヴィスコンティは 20 世紀初頭に貴族に生まれた人物であり、この時代にしっかりと馴染めないような人物であった。それはルートヴィヒ 2 世が自らの幻想的世界によって 19 世紀という時代に相容れることができなかつたこととなんらかの共通点を見ることができるよう思う。したがって監督が、この人物うい描くことに異様な執念を燃やしていたことを考えてみても、やはり気持ちの上で通じるものがあつたのではないかと思わずにはいられない。

『ドラゴンキングダム』アクション映画の傑作

篠原 優太

①Yuta SHINOHARA ②Dragon Kingdom ③2008年 ④105分 ⑤action ⑥Jackie Chan/Jet Li
⑦Rob Minkoff ⑧中国二大スターの初共演、壮絶アクション ⑩ Cast, Powerful action
scene, and story, everything are great. You can see something you have never seen!

あらすじ:カンフーマニアで、孫悟空を夢見る17歳のジェイソン(マイケル・アンガラノ)。ある日チャイナタウンでギャングに追われた彼は、次の瞬間古代中国のとある村で目を覚ます。大酒飲みの男ルー・ヤン(ジャッキー・チェン)に危機を救われたジェイソンは、やがて白馬に乗ったサイレント・モンク(ジェット・リー)に出会い……

I. 『ドラゴンキングダム』との出会い

私は、正直なところ武術映画があまり好きではなかった。なぜなら、最近の武術映画はCGを多く取り入れ、現実味が極端に少ないと感じていたからである。それゆえ、最初はこの『ドラゴンキングダム』にもあまり期待していなかった。しかし、実際、映画館でこの映画を見たときの感想は、素晴らしい一言であった。確かに、この映画でも多くのCGが使われているが、そんなことに関係ないほど、主演の二人(ジャッキーチェン・ジェットリー)のアクションが私をこの映画にのめり込ませたのだった。

II. 挑戦することの大切さ

この映画では一人の青年が登場する。彼は最初とてもか弱い青年で、よくいじめられていた。しかし、ひよんなことから”伝説の封印されし孫悟空”を救う命がけの旅になる。その旅の途中で、武術の達人である二人に出会う。彼は旅をしていくうちに武術を習得していき、孫悟空を助け出すことに成功する。そして旅が終わり強くなった彼は、今までいじめられてばかりいた自分から脱却し、新たな強い心をもった男として生まれかわる。そんな彼の成長を細かに映し出すストーリー展開をぜひ見ていただきたい。

III. 壮絶なアクションシーン

ジャッキーチェン、ジェットリーといえば中国、いや、世界を代表するアクションスターである。その彼らが共演するのであるから、アクションシーンが面白くないわけがない。

彼らは幼いころから、本格的に武術を学んできた。映画の各所に見られる本格的な武術(主に中国拳法)は誰が見ても迫力満点なシーンであろう。そんな彼らの格闘シーンをあますことなく見られるこの映画をぜひ一度見ていただきたい。

日本映画篇

『アメリカ映画研究を始めるまえに』と題しながら、日本映画を紹介するのも変な話ですが、大学間の交流がますます国際化し、留学生の数が増してきた現在にあっては、むしろ日本映画のほうが、海外からはより関心を持って眺められているのかもしれない。

そこであえて、日本の映画についてコメントしてくれた学生たちのレポートも掲載することにしました。

『紅の豚』 ～ 2人の女性～

谷口 雅哉

①Masaya TANIGUCHI ②*Porco Rosso* ③1992年 ④93分 ⑤anime film Studio Ghibli
⑥voice actor : Shuichiro Moriyama Tokiko Kato Akemi Okamura ⑦Hayao Miyazaki ⑧
Hayao Miyazaki "Hikotei Jidai" ⑨飛行艇乗り 賞金稼ぎ 空賊 ⑩Summing up this
movie, the cool man is like Porco Rosso.

あらすじ：この映画は、飛行艇時代の地中海を舞台に、誇りと女と金をかけて空中海賊と戦い、紅の豚とよばれた一匹の豚の物語である。(本編冒頭より引用) 宮崎駿の短編漫画『飛行艇時代』を映画化した作品で、第一次世界大戦後のイタリア、アドリア海を舞台にした物語。主人公ポルコ・ロツソは賞金稼ぎの飛行艇乗りで空賊相手に荒稼ぎしていた。空賊たちは用心棒を雇いポルコと戦わせる。エンジンの不調で敗れたポルコは、愛機を馴染みの店へ修理に出すが……

I. 男の生き様

私がこの作品を初めて見たのは小学生の頃だった。その頃の私には、飛行艇による空中戦にばかり興味を惹かれ、それ以外はそんなに面白いと思うものではなかった。それが年を重ねるごとに、主人公ポルコ・ロツソの台詞や行動から彼の考え方、生き様を見るようになった。「カッコイイとはこういうことさ」というキャッチコピーにあるように、私も憧れに近いものを持つようになった。

II. 女の生き様

今まで飛行艇の戦闘シーンやポルコや空賊たちなど、男臭いに世界にばかり目がいていたが、改めてこの作品を見ると、違った目線で見ることができる。それは、物語に登場する2人の女性に対するものである。1人はポルコの旧友であるマダム・ジーナ。もう1人は飛行艇製造会社を経営する昔馴染みの孫娘、フィオ・ピッコロ。この2人とポルコとの描写はとても対照的である。フィオは共に行動する少女。ジーナは待つ続ける女性。この物語において登場する主立った女性はこの2人だけである。そして、2人しかいないからこそ、その対照的な描写がはっきりしている。そんなジーナも物語の終盤ではポルコを助けるために行動に出る。3人の結末ははっきりとは描かれていない。しかしそのことで、見る者それぞれにその結末を想像させるものになっている。

スタジオジブリの作品は子どもから大人まで楽しめるものが多いと思う。しかし、この作品はある程度年を重ねているからこそ理解し読み取れるものが多い。時が経つと、ふと見返したくなる作品である。

『となりのトトロ』～大人も楽しむアニメ～

高野 由梨

①Yuri Takano ②Totoro Next Door ③1988年 ④86分 ⑤アニメ ⑥宮崎駿 ⑦宮崎駿 ⑧このへんな生き物はまだ日本にいます。たぶん。⑩
This movie of animation is also good for adults to enjoy.

あらすじ：大学で考古学を研究している学者のお父さん、小学校4年生のサツキ、4歳のメイの3人が引っ越してきたのは、豊かな自然と美しい四季があふれる田舎のおんぼろ屋敷。お化け屋敷のような家にサツキとメイは大喜びします。ある日、メイが一人で庭で遊んでいると真っ白とみず色のふわふわのウサギのような生き物を発見します。メイは、その生き物を見つけ大興奮。その生き物についていってしまいます。そしてたどり着いたところが、森の奥の楠木の中。そこにいたのが、とっても大きい灰色の生き物。トトロです。トトロは森の奥に昔から住んでいる森の主で、子どもにしか見えません。サツキとメイはトトロのことが大好きになり、無邪気に遊びまわります。こんな楽しい日々が続いていたある日、町の病院に入院しているお母さんの具合が悪くなった、との電報が届きます。大学のお父さんに連絡するため電話を借りていった帰りにメイとサツキはけんかをしてしまいます。もうすぐ一時帰宅する予定だったお母さんの具合が悪くなってしまい、一時帰宅することができなくなってしまったのでメイがわがままを言い出したからです。悲しみにくれる中、メイはあることを思い出します。それは、隣に住むおばあちゃんが言っていた「おばあちゃんが作ったとうもろこしを食べればお母さんの病氣なんてすぐ治ってしまうよ」という言葉です。メイは、お母さんにとうもろこしを持って行ってあげようと1人で遠く離れた病院をめざします。突然いなくなってしまったメイをサツキは必死に探します。村では、池に落ちたのではないかと捜索隊をだすほどの大騒ぎになってしまいました。サツキは、森の中に走っていきトトロにメイが迷子になってしまい見つからないから助けてほしいと願います。トトロは、空とぶネコバスを呼び出して、サツキをのせます。ネコバスは颯爽と山をひとつとび。歩きつかれて座り込んでいるメイを発見します。そしてお母さんのいる病院まで2人を運んでくれるのです。

この映画を見て感じたこと

この作品を見て1番感じたことは、大人が見ても楽しめる映画だということです。トトロの様な架空の生物を想像することは、子どものころ誰もが経験したことがあることです。この映画を見れば子どものころのことを思い出して、懐かしい気持ちにさせてくれるに違いありません。

また、宮崎駿氏の作品は絵がとても綺麗ですし、音楽もすばらしいです。見
ていて癒されるような作品です。

見るだけで子どもころの懐かしい気持ちにさせてくれ、癒されるこの作品
をぜひ子どもだけでなく大人にも見てほしいです。

現在のアニメブームを通して感じること

今、アニメにはまる大人たちが増えています。いわゆるアニメおたくという
やつです。世間では、そういう大人たちを恥じるように冷たい目でみますが、
アニメを見ることは悪いことではないと思います。アニメを見ることで子ども
ころの純粋な気持ちや懐かしい気持ちを思い出すことができるのならば、む
しろ大人もアニメを見るべきであると思います。

また日本のアニメは海外でも非常に人気になってきています。スタジオジブ
リの代表作品ともいえる、このとなりのトトロは、ぜひ海外の人たちにも見て
もらいたい作品です。

『となりのトトロ』にみる空想の世界

辻内 智巳

①Satomi TSUJIUCHI ② My Neighbor Totoro ③ 1988 年 ④ 88 分 ⑤ animation, fantasy story ⑦ 宮崎駿 ⑨ 冒険、未知との遭遇、家族愛 ⑩I remember my young days on watching this movie. I wished I could meet Totoro.

あらすじ：小学3年生のサツキと5歳になるメイは、お父さんと一緒に都会から田舎の一軒屋にと引っ越してきた。近くの農家の少年カントに「オバケ屋敷!」と脅かされたが、事実、その家で最初に二人を迎えたのは、“ススワタリ”というオバケだった。ある日、メイは庭で2匹の不思議な生き物に出会った。それはトトロというオバケで、メイが後をつけると森の奥では、さらに大きなトトロが眠っていた。一家が新しい家に馴染んだころ、サツキもトトロに遭遇した。雨の日の夕方、サツキが傘を持ってバス亭までお父さんを迎えに行くと、いつの間にか隣でトトロもバスを待っていた。しばらくするとオバケたちを乗せて飛び回る大きな猫バスがやって来て、トトロはそれに乗って去って行った。サツキとメイはトトロにもらったドングリの美を庭に蒔いた。その実はなかなか芽を出さなかったが、ある風の強い晩にトトロたちがやって来て一瞬のうちに大木に成長させてしまった。ある日、一人家で留守番していたメイは淋しくなると一人でお母さんが入院する山の向こうの病院を訪ねようとするが、途中で道に迷ってしまった。サツキは村の人たちとメイを探すが見つからないので、お父さんに病院に行ってもらい、トトロにも助けを求めた。トトロはすぐに猫バスを呼び、不思議な力でたちどころにメイのいる場所へ連れていってくれた。そして、さらに猫バスは二人を、山の向こうの病院までひとつ飛びで運んでくれた。窓から病室をのぞくと明るく笑うお父さんとお母さんの顔があった。二人はお土産のとうもろこしを窓際に置き、一足先に家に帰るのだった。

I. 『となりのトトロ』との出会い

私が生まれて初めて見たアニメーション映画がこの『トトロ』だ。テレビで放送されたのを母親がビデオに撮っており、暇があれば繰り返し何度も見た。この映画は見過ぎてても、見飽きることはない。それほどに私の心を驚掴みにした。トトロや猫バスという、実際には存在しない生き物が登場し、物語を展開していく。なんでも受けとめてくれそうな大きな体、大きな口とする豪快なあ

くび、つぶらな瞳、挙げ出すときりがないが、トトロの風貌に私は一瞬で心を奪われた。その他の登場人物も皆個性豊かで、終始、視聴者を飽きさせることがない。

II. 純粋な心の大切さ

メイもサツキも、純粋な心を持っていたからトトロに出会うことができ、トトロという生き物の存在を信じたからこそ、トトロは何度も二人の前に現れ、メイが迷子になった時も手助けをしたのだろう。トトロのおかげで全てがうまくいく。トトロが画面に登場すると、一気に雰囲気が変わり、どこか異世界に飛び込んだような錯覚に陥る。トトロとともにある世界は、全てが驚きと喜びと楽しさで満ちあふれている。現実では考えられないようなことが次々に起こる。それらを純粋な心で受けとめ、素直に楽しむことができれば、退屈なんてする暇がない。次はどんな不思議なことが起こるのか、そればかり考えてしまうのだ。

III. 心に残るシーン —猫バス—

話が進む中で私に更なる衝撃を与えたもの。それが猫バスだ。ネコバスとは、メイが迷子になりサツキがトトロに助けを求めた時に呼んでくれた乗り物だ。サツキは突如現れた猫バスに躊躇いながらも乗り込み、ゆっくりと見るからに座り心地の良さそうなふかふかのシートに座る。おそらく猫の毛でできたシートがふわっとへこみ、シートが元に戻ろうとする力でサツキの体が数回上下に揺れる。その描写が、シートの柔らかさを存分に表しており、「私も猫バスに乗って、そのふかふかのシートに座りたい！」という衝動にかられた。この思いは今も変わることがない。それほどに私は猫バスに乗ることを夢見た。乗ることは出来ないと分かっているものの、この思いを捨てることはできなかった。このシーンは一生忘れられないだろう。

『となりのトトロ』を見たことがない人はほとんどいないと思うが、万が一、見たことのない人がいるのなら、死ぬまでに1度は見て欲しい。そして純粋に楽しんで欲しい。童心に戻ることができ、幼かった頃の思い出に浸ることができる。幼少の頃に見た人は、大人になってからも是非見直して欲しい。また違った見方ができ、新しい発見などもあるかもしれない。私は何歳になっても、見直したい。将来、年をとった私が見直した時に、どのように感じるのか、今は全く想像がつかないが、非常に楽しみだ。

『風の谷のナウシカ』から学ぶ理想の人間像

杉岡 美穂

①Miho SUGIOKA ②Nausica in the Valley of the Wind ③1984年 ④116分
⑤animation, Science Fiction ⑦⑧Miyazaki Hayao・宮崎 駿(1941-) ⑨観客
動員数 91 万人、WWF 世界野生生物保護基金(現・世界自然保護基金)推薦作品、環
境問題・戦争批判 ⑩I never fail to watch this movie when it is broadcasted. We
can learn the importance of the ecology and the cruelty of wars from this movie.

あらすじ:環境問題や戦争批判を取り上げた SF 的要素の強い宮崎作品。「火の 7 日間」と呼ばれる最終戦争により、極限まで発達した高度な文明は滅ぶ。それから 1000 年がたち、わずかに残った人類は、巨大な虫たちの棲む、有毒なガスを発する「腐海」と呼ばれる菌類の森に脅かされて生活していた。「風の谷」と呼ばれる小国に住む、族長ジルの娘ナウシカは、大国トルメキアとの戦乱に巻き込まれながらも、自然との共生を願い、過酷な運命に立ち向かっていく。

I. はじめに

私がこの映画と出会ったのは、小学生ぐらいであった。当時は、映画の内容がはっきりと理解できず、ただたくさん巨大な虫の出る映画だとしか思わなかった。しかし、中学生ぐらいになり、物語がはっきりと分かるようになり、この映画にすっかり魅了されてしまった。それからはこの映画がテレビで放送されると、すでに何度も見て、結末を知っているにもかかわらず、何度も繰り返し見てしまう。

過酷な環境の中でも、協力し合い、逞しく生きる「風の谷」の人々の姿に感動し、悲惨な現実と立ち向かう少女ナウシカの生きざまに勇気をもらうことができる。また、アニメを通して、環境破壊や戦争など現在世界中で危惧されている多くの問題について考えさせられる。この映画を通して、普段我々が忘れていたたくさんのかげがえのない物に気付かされる。

II. ナウシカから学ぶ人間の在り方

この映画の主人公、ナウシカは私の目標とする女性である。彼女は、強さと勇敢さ、優しさと素直さを併せ持つ器の大きな人間である。ナウシカから学ぶことは沢山あるが、それを大きく 3 つに分けて説明したい。

第一に、ナウシカは嘘をつくことなく、感情表現の豊かな素直で純粋な女性である。メーベに乗り、風を切って飛ぶ爽快な表情、腐海の底にきれいな空気が存在することを知った時の泣きながら喜ぶ表情、誰も殺したくないのに怒りで意思に反して殺してしまった自分を悔やみ嘆き悲しむ表情、トルメキア兵士に撃たれ、怒り狂った王蟲をなだめ誘導するときの愛に溢れた表情・・・彼女は思いを包み隠すことなく、素

直にイキイキと生きている。彼女のその姿に、周りも心を動かされ、何かを感じるに違いない。私も、誰にでも心を開き、自分の気持ちに正直に生きたい。

次に、彼女は正義感が強く、何があろうと信念を曲げない女性である。争うことを嫌い、人間中心でなく、自然を尊敬した生き方を通そうとしている。その考えを最後まで貫き通し、自分の身の危険も顧みず、蟲の大群や、トルメキアの兵の元へ向かっていく彼女の姿は、我々と同世代の女性とは思えないほど立派である。死への恐怖や自分の弱さに打ち勝ち、真実を追求し続け、信念を決して曲げない、ナウシカは真の強さを持っている。

最後に、彼女は誰に対しても思いやりの心を忘れず、公平な心の広い女性である。老若男女問わず、谷の人々皆から慕われ、他国の人々や、蟲たちにさえ、信頼され愛されている。人々は蟲を恐れているが、彼女は蟲を友達のように思っている。見かけや評判に惑わされず、内面を見極め、受け入れる広い心の持ち主であると思う。ナウシカは姫であるのにもかかわらず、谷の人々とともに働き、奢り高ぶることなく、誰に対しても公平な態度をとっている。ナウシカが皆から、慕われ、愛され、多くの協力を得られるのは、彼女がそれだけのことを人々にしてきたからである。

ナウシカは、私たちが普段忘れがちなことをなげなくこなす魅力的な女性である。いきいきと輝きを放ち、優しさに充ち溢れ、どんな困難にも立ち向かう強さを持つ、穏やかな女性、彼女が皆から愛されるのにはたくさんの理由がある。彼女は、私にとって、憧れであり、尊敬の対象であり、模範にしたい女性である。

『こぎつねへレン』～生きる素晴らしさ～

殿谷 時

①Tokinao TONOYA ②KOGITUNEHEREN ③2006年 ④108分 ⑤命、動物 ⑥大沢たかお 松雪泰子、深澤嵐 ⑦河野 圭太 ⑧今井雅子 ⑨life is ….. ⑩It is hard to live. Life is strong. This movie showed me what life is.

あらすじ：北海道を舞台に、目と耳が不自由なキタキツネを育てる少年と家族の絆を描く感動の物語。ある日少年は、ひとりぼっちの子ぎつねに出会った。待ち望んだ春の陽射しを浴びて緑に輝く北海道の大地で…。母ぎつねの姿はどこにもなく、子ぎつねは道端にうずくまったまま動こうとしない。少年は、そんな子ぎつねを思わず抱き上げる。3人の“家族”に、突然太一が連れ帰った子ぎつねが加わった…。一匹の子ぎつねが日本中に愛とやさしさを届けます。

1 この映画との出会い

この映画をみるきっかけは主人公が犬や猫といった定番の動物はなく、きつねであることに興味をもちました。

2 生きる難しさ

切ない運命を背負いながらも与えられた命を生きぬく子ぎつね、視覚、聴覚、嗅覚を失い、“へレン”と名づけられた子ぎつねと人間の触れ合いを綴る。我々は普段当たり前前に生きているが、それ自体素晴らしいことであるということを実感してもらいたい。

3 特に見てほしい点

私たちは動物の一種である。そして体は自然そのものである。自然環境を守る、動物を保護するという事は、私たち自身を守るための作業です。全ての生き物には、個々の生き方に物語であり、へレンのそれもそのひとつ。私には、紹介する義務があると思った。映画になると聞いて、半分うれしく、半分怖いなあ、と思いました。私たちの当たり前の作業が、美談に終わらず、普通のこととして理解されることを願っています。

『LIMIT OF LOVE 海猿』で味わう友情と愛の絆の強さ

吉井 計太

①Kazuhiro YOSHII ②Limit Of Love Umizaru ③2006年 ④119分 ⑤love story ⑥伊藤英明 加藤あい ⑦Eiichirou Hasumi ⑧Yasushi Fukuda ⑨海軍、命、愛 ⑩Saving lives and believing in friendship and love are splendid.

あらすじ：映画第一作『海猿』（2004年6月12日東宝系公開）が再びスクリーンという名の海に帰ってきた。機動救難隊へと異動し機動救難士となった仙崎と吉岡。仙崎は遠距離恋愛ながらも、環菜とは順調であった。ある日、機動救難隊に出勤が命じられる。任務内容は、座礁したフェリーでの救命活動。要救助者は2名。二人を助けるために、浸水し傾いてゆくフェリーの中で仙崎と吉岡は絶体絶命の危機に迫られる…。

I. この作品との出会い

僕は、この作品をスクリーンで見たわけではありません。夏休みの暇ある日、家族の誰かがテレビで放送されたこの作品を録画していたのを暇つぶしのために見始めました。しかし、気づけば僕はこの作品のとりこでした。

II. 感銘したポイント

この作品の素晴らしさは、なんといっても友情と愛の絆の強さです。絶体絶命の危機にたたされても、仙崎は自分の命を顧みずに仲間との約束を果たすため、命を救うために立ち向かっていきます。そして、愛する人のために絶対に生きて陸に戻るという強い意志のもと、無事に任務を終えることができました。仲間を救うために…愛する人のために…そんな思いがこれほどにまで人間を動かす原動力になるんだなと思いました。

III. 感動のシーン

ぼくが一番感動したシーンは、どンドンと沈んでいく船の中で自分に死が迫っているなかで仙崎は、環菜と電話をつなぐことができ、その電話での会話の中で仙崎はプロポーズをするというシーンです。自分が死の危機にたたされているなかでこのようなことをする仙崎は、すごく男らしい人間だと思いました。僕もこんな男になりたいと思いました。

『海猿』から学ぶ命の大切さ

増田 寛那

①Kanna MASUDA ②Sea monkey ③2004年 ④119分 ⑤An impression, love story ⑥伊藤英明・加藤あい ⑦羽住英一郎 ⑧佐藤秀峰 ⑨仲間の大切さ、命の大切さ、大切な人を信じる気持ち ⑩If I'd like to help the person who loves most, I have to believe you. In whatever kind of situation it's put, you aren't supposed to abandon an important person.

あらすじ：人命救助のため、危険を冒して海の底深く潜る〈潜水士〉。全海上保安官のうち、わずか1%しかできないという海難救助の最前線を目指し、選りすぐられた14名の若き保安官が50日間の厳しい研修に臨む。潜水士は常にバディと呼ばれる相棒とペアで行動し、厳しい訓練を通じ2人に強い絆が生まれた矢先、事件は起きた…。過酷な訓練の中で成長し、友情を培っていく若者たちを描く、青春映画。

I. 海猿との出会い

主人公の愛する女性と私の名前が同じだったためこの作品に興味を持ったのがきっかけであったが、だんだん見るにつれて共感したり感動したりといろいろな気持ちになり、次第にこの作品の世界に入り込んでいた。

II. 命の大切さ

自分の命もかかわる極限の状況においても、主人公はバディである仲間を見捨てず人命救助に励んだ。その姿勢をみて私は自分の命を捨てても大切なものを守ろうとする主人公に感動と衝撃を覚えた。

III. 信じることの大切さ

人を信じることはとても難しいことで、ましてや自分の命がかかっている状況や、暗い海の中一人で孤独と戦いながら人を信じて待つことができるには、お互いの信頼や強い精神力が必要だと思う。

この作品を通して、私も本当に自分の命にかえてでも守り抜きたいものを見つけたと感じた。それは、けして軽い気持ちでできることではないと思う。

『男たちの大和』戦争の過酷さ、平和の尊さ

井戸本 陽

①Akira IDOMOTO ②Men's YAMATO ③2005年 ④145分 ⑤War、Action ⑥反町隆史 ⑦佐藤純彌 ⑧辺見じゅん・決定版 男たちの大和 ⑨終戦60周年記念、菊水作戦、戦艦大和 ⑩ I saw this movie, and learnt that present peace was very honorable.

あらすじ：2005年4月、鹿児島島の枕崎漁港に一人の女性が訪れた。その女性＝内田真貴子は、大和が沈没した箇所へ連れて行って欲しいと頼み回るが、漁師達は相手にしてくれない。そんな漁師の中に、水上特攻時に大和の乗組員として乗艦していた神尾克己がいた。一度は真貴子の頼みを断るが、彼女が自分の恩人であった内田兵曹の養女である事を聞かされる。その瞬間、60年間ひっそりと暮らしていた神尾に若き頃の思い出が浮かび上がってきた。彼女の頼みを聞き入れる事にした神尾は、たった一人の少年乗組員・前園敦と共に彼女を乗せ、大和の沈没ポイントへと出航した。そして、ずっと閉ざしていた口を開き、過去の事をあまり語らなかった内田兵曹の話を彼女に語り始めるのであった。

I. 戦争と平和

私たちは今、平和な世界を当たり前のように生きてはいないか。当たり前すぎて、平和のありがたみを忘れてはいないだろうか。高校生の時初めてこの映画を見て、そんなことを考えさせられた。戦争の経験もない平和な時代を生きる私たちにこそ、この映画を見る意味があるように思う。戦争があった、犠牲もたくさんあった。その結果として平和がある。そのことを忘れないようにすることが大事なのではないか。

II. 水兵や下士官からの視点

この映画では水兵や下士官の視点から物語が描かれている。特に水兵たちは私たちと年齢も近い。そのため、私たちのような若年層も感情移入がしやすく、より現実に起こったこととして受けとめることができる。若くして戦場に赴くこととなった兵士たちの気持ちを鮮明に感じ取れる映画である。まだ大人とはいえない青年たちが祖国のために必死に戦い、命を落としていく様子は、決して平常心では見られないだろう。

III. 様々な人間ドラマ

単に戦争だ平和だということだけではないのがこの映画の特徴だ。水兵、下士官、そしてその家族、一人ひとりの気持ちや人間関係を丁寧に描きあげている。また、兵士たちが映画的な格好をつけたシーンも皆無だ。傷つく戦友の名を叫び、泣き、上官に反発し、負けると分かっている状況で我を忘れたかのように悪あがきをする兵士たち、そんな美しさもない場面が多々描かれている。しかしそこにこそ兵士たちの人間味を感じ取ることができるのだ。彼らも兵士である前に人間である。そういう英雄的な要素を一切省き、人間としての戦争への気持ちを描いたこの映画だからこそ、共感できることも大きいのである。

『リアル鬼ごっこ』命の大切さ

神崎 文哉

① Fumiya KANZAKI ② Real tag ③ 2007年 ④ 98分 ⑤ Horror action, Survival story ⑥ 石田卓也・谷村美月 ⑦ 柴田一成 ⑧ 山田悠介 ⑨ 究極の鬼ごっこ、捕まれば「死刑執行」、親友や妹との絆 ⑩ It was unbelievable that a word of only one person deprived of a lot of lives in this movie. I knew the depth of bonds with the best friend.

あらすじ：西暦3000年。王様が治めるこの国は人口が約1億人、そして「佐藤」という苗字を持つ人口は500万人を超えていた。ある日、王様は自分の苗字が「佐藤」であることに対して「佐藤と名乗るのは自分だけでいいと！」と怒り、「鬼ごっこのようにゲーム感覚で全国の佐藤を捕まえ、抹殺する」という恐るべき計画を提案する。期間は12月18日から12月24日の1週間。期間中23時から24時までの1時間、全国に国王の兵士100万人を「鬼」として配備し、時間になったら、その鬼は「佐藤探知ゴーグル」なる特殊な機器を用いて付近の「佐藤」姓の人間を探索、発見し次第、追いかける。「佐藤」は、捕まったら最後、秘密の収容所に連れて行かれる。そして、捕まった暁には眠るように殺されてしまうのだ。

I. CMにひかれて

私がこの映画を知ったのは、あるバラエティー番組を見終わったあとのCMからである。私は、ホラーやサバイバル系統の映画が好きだったので、私好みの映画宣伝をしているそのCMが目にとまり、ぜひ鑑賞したいと思うようになった。小説にもなっておりベストセラーとしても有名である。

II. 物語の展開と、登場人物のマッチング

この映画は、一週間の戦いを主としているので、一日ごとに展開が変わるように工夫されている。よって、ハラハラ感が途絶えないことが一番の見所と言っているだろう。それに、親友との絆や、妹との再開を夢見る兄の一生懸命さは人々の感動を呼ぶ。

III. 心に残るシーン 一走り逃げる、命一

一日目は、鬼に見つからず逃げ切れるものの、二日目から佐藤さんの人数が減り、鬼に見つかる確率が増えてくる中鬼に見つかり、逃げる主人公や親友などの必死さがひしひしと伝わってきた。そのなかでもとくに最終日は何人もの鬼に出会いピンチになることも。そんなとき思ったのがもし自分がこのような状況に陥ってしまったらどうしようかということである。それを考えると命は重い。

『ただ、君を愛してる』を見て感じたこと

恵美 知奈

①Haruna EMI②Tada kimiwoaishiteru③2006年 ④123分 ⑤恋愛 ⑥玉木宏
宮崎あおい ⑦新城毅彦 ⑧市川拓司 ⑨純愛 ⑩Love is beautiful.

あらすじ：主人公の女の子はある遺伝的性の病気をもっている。彼女の家族もみんなこの病気で亡くなっていった。その病気の原因は不明であるが、成長すると共に病気も進行していく。だから彼女は自らの成長を止める薬を飲んでいたのであるが、ある日恋に落ちてしまい、あまりにこどもっぽく相手にされないの、薬を飲むのをやめえしもう。

『ただ君を愛してる』を見て感じたこと、それは恋をすることの大事さである。例え恋をすることによって自分の命を落とすことになったとしても、自分の気持ちに正直でいること、想いを伝えることこそがだいじなのである。主人公の女の子は好きになった男の子と一度、たった一度キスをして、男の子の目の前から姿を消す。元々男の子は違う女の子のことが好きで、主人公の女の子はずっとそれにヤキモチを焼いていた。

しかし、その一度キスをする機会を手にして、それを境に彼女は海外へ旅立ってき、彼の知らない内に息を引き取る。自分の命を優先するのが普通に考えて正しいと思う、それが普通である。しかし、普通以上になったとき、それほど人のことを好きになれるということは、本当に立派であり、素晴らしいことである。

振り返ってみて、やはり人のことを好きになるということは、人間が思う感情のなかで最も大事な感情ではないかと思った。人を愛するということは、自分自身に素直になることでもあるんだと感じました。泣きました。

『ただ、君を愛してる』に見る純愛

桑原 悠希栄

①Yukie KUWAHARA ②Tada, kimi wo aishiteru ③2006年 ④116分 ⑤love story ⑥玉木宏・宮崎あおい ⑦新城毅彦 ⑧市川拓司：恋愛写真 もうひとつの物語 ⑨純愛映画、市川拓司の名作、人生ただ一度のキスただ一度の恋 ⑩The ending is sad and emotional, so I can't stop weeping.

あらすじ：誠人は大学の入学式の日車が止まらないことで知られる横断歩道で不思議な少女静流と出会う。静流はその日から誠人を好きになり、彼に近づくために彼の趣味のカメラと一緒にしはじめる。一方、誠人は大学のマドンナみゆきに恋をする。それでも静流は純粋に誠人を愛し、ある事情から二人は誠人の家で奇妙な同棲生活を始める。ある日静流はコンクールに出す写真として誠人とのキスを撮りたいと言う。静流と誠人は二人の秘密の森でキスをする。誠人はそのキスで自分の中で静流の存在が大きくなっていくことに気付く。しかし、その後静流が突然姿を消す。

I. 『ただ、君を愛してる』を見て

私は友達に誘われこの映画を見に行った。テレビでの紹介や宣伝が少なかったのもそんなにいい映画ではないだろうと思っていたがいい意味で予想が裏切られた。森、湖、写真がすごくきれいで物語に合っていて自然に話に引き込まれた。静流と誠人はお互い誰にも相談できない悩みを持っていて特に誠人の思い悩む姿に共感した。主人公が完璧でないがゆえに共感できることも多く一見不自然に感じられそうな静流の純粋さも自然と受け入れられた。

私は普段映画で泣くことはないのに、ラストシーンでは自然に涙が出てきて隣に友達がいるのも忘れて号泣してしまった。

II. ただ好きな人が好きな人を好きになりたかっただけ・・

主人公静流の純粋な愛にハッとさせられた。誠人がみゆきのことが好きだということを知った後、静流はみゆきと仲良くなりみゆきを好きになるという予想外の行動を取った。「ただ好きな人が好きな人を好きになりたかっただけ」誠人にどういうつもりだと聞かれ静流が答えた言葉だ。普通そんな風に考えられないだろう、映画の中だから通用する話だ。そう思いながらもそんな言葉を言ってみたく、そんな風に考えられるようになりたいと思っている自分がいた。

年をとるに連れ純粋な気持ちは薄れていくような気がするが、それでもなくしてはいけない、いつまでももっていたいと思わせてくれる映画だった。現実にこんな純粋に人を愛することができるのかわからないが、駆け引きや計算がなくただ純粋に人を愛するそんな恋を試してみたいと思った。

III. 原作を読んで

映画を見てすぐ原作を読んだ。よく原作と違いガッカリすることがあるがこの映画は原作の魅力をより引き出すものだった。映画では小説ではイメージでしか浮かばない風景、写真が映像で見られて写真のすばらしさがより伝わると思う。森や湖などすごくきれいで頭の中のイメージがそのまま映像化されたようだった。

映画との違いを楽しむために映画と一緒に原作も読んでほしい。

『タイヨウのうた』～生きるということの勇気～

井上 晋平

①Shinpei INOUE ②TAIYOU-NO-UTA ③2006 ④119分 ⑤命、恋愛
⑥YUI・塚本高史 ⑦小泉徳宏 ⑧坂東賢治 ⑨Live,Life,Love ⑩To live is very
difficult. But this movie showed me that life is very wonderful and emotional.

あらすじ：太陽の光にあたると死んでしまうという病気のXP（色素性乾皮症）をかかえる雨音薫は毎日夜になると駅前の広場でストリートライブを行っていた。歌うことにより生きているということを感じていた。そんな昼夜が逆転した生活の彼女の秘密の楽しみは、明け方にサーフィンに向かう孝治を寝る前に窓から眺めることであった。そんな巡り合うことのないはずの二人は出会い、薫は初めて「普通の恋」を体験する。そんな幸せの中薫の命が残り少ないことが判明する。“歌うことは生きている証”である薫に孝治はある約束をするのである…。

1. この映画との出会い

この映画をみたきっかけは私が主演のYUIのファンだったということがある。また、原作を読んで、生きるということの喜びを再び考えさせられたため映画にも興味をもったのである。

2. 「生きる」ということ

ふだん私たちは普通に生きていることが当たり前のように生活をしている。しかし、あることをすることで生きていると心から感じることで生き続けるために必要な人もいるのである。この映画の主人公である雨音薫もその一人であるだろう。彼女は“歌うことは生きている証”という考えを持っている。歌うことを通じて両親に感謝したり、友達と友情を交わせたり、恋人に気持ちを伝えることができるのである。このように生きているということに意味をしっかりとつけている人の人生はたとえ短くともとても壮大であり大きな感動を与えるだろう。そのようなとても意義のある一生を送りたいと思わせてくれた作品である。

3. 特に見てほしい点

この映画のみどころはまず薫が必死に生きようとしている姿であろう。そして彼女を精いっぱい支えようとする孝治。この二人の健気な姿勢には心打たれるものがある。さらには薫の歌である。彼女の歌である「Good-bye days」は主演のYUIがこの映画のために作詞、作曲したものであるが、映画ととてもマッチしているのである。切ない中にも生きようとする勇気や思いを伝えようとする気持ちを感じさせる歌詞やメロディーは涙を誘うであろう。また、本来シンガーソングライターであるYUIが初めて挑戦する演技も注目すべき点ではないだろうか。

『恋空』から伝わる生きる喜び

森脇 奈菜

①Nana MORIWAKI ②love the sky ③2007年 ④90分 ⑤ラブストーリー ⑥新垣結衣 三浦春馬 ⑦今井夏木 ⑧美嘉：恋空 ⑨生きていることの幸せ ⑩It is a painful scene that I remain in the impression that wishes the happiness of seeing without telling my sickness thinking the fathom sees, and bids farewell to it.

あらすじ：世間を騒がせた“携帯小説”からの超大作。携帯小説ランキングで1位を取り続け、“小説化”し、なお人気を保持し続けた。そして待望の“映画化”が実現した。今までの映画界のストーリーに比べ、より現代の女子高生の恋心を描いた作品である。ごく普通の女子高生「ミカ」は、今まで本気で人を愛したことがない。そんなミカの毎日に、「ヒロ」という今までの人生をかえる男子高校生が現れる。地味なミカと派手なヒロ、見た目も中身も違う2人が現代的な「恋」に落ちる。沢山の壁を乗り越え、ミカは本気でヒロを愛する・・・ところが、突然ヒロに別れを告げられる。ミカはヒロを追いかけるが、実はヒロには別れなければならない理由があった…。

史上初！携帯小説から始まった映画・・・その魅力について♪

私が恋空と出会ったのは、携帯小説のサイトからだった。ストーリーの展開が早く、主人公の恋心にも沢山共感でき、夢中になって読み、涙を流したこともあった。この作品の1番の見どころは、ヒロがミカに突然別れを告げる“理由”である。高校生には何とも悲惨な現実が待っていた・・・というシーン。もし、私がミカの立場であったらどうするのだろうか。。とても考えさせられ、主人公の気持ちがリアルに表現されていて、自分のことのように感じさせられた。

ただ、映画の内容として受け止めるだけでなく、また、ただ単に恋愛がしたい！だけで生きている今の女子高生に、現実はそう甘くないこと。人を愛することは、決して簡単なことじゃない。と、いうことを、実感させられる作品だ。

「恋空」は、ぜひ男性にも見てほしい。女性の視点から描かれているシーンが多く、私は共感したが、男性に理解しがたいかもしれない。けれど、恋愛はお互いが必要として成り立つものだ。ぜひ、この映画を見て女性の気持ちを知ってほしいと思う。

切ない恋物語であるが、“物語”としてだけでなく、主人公に共感し得るものが沢山ある作品だ。

『パコと魔法の絵本』の愛にあふれた世界観

泊 咲織

①Saori TOMARI ②PACO and The Magical Book ③ 2008年 ④ 105分 ⑤ Comedy, touching story ⑥役所広司, アヤカ・ウィルソン ⑦中島哲也 ⑧後藤ひろひと ⑨子どもが大人に、読んであげたい物語 ⑩It was a touching movie. I thought that showing consideration for others is very important.

あらすじ：中島哲也監督が、後藤ひろひとの戯曲「MIDSUMMER CAROL ガマ王子 vs. ザリガニ魔人」を映画化したもの。奇妙な人たちがばかりが集う病院に、記憶が1日しか保てなく、毎日同じ絵本を読む少女パコが現れる。「他人の頭の中に自分が居るのが嫌だ」という、院内一の偏屈ジジイの大貫だったが、ある事件をきっかけに「パコの頭の中に居たい」と思うようになる。

I. 「幸せ」な気持ちにさせてくれる映画

「パコと魔法の絵本」はこの夏公開されたばかりの新しい映画だ。映画の予告を見て、最初は小さい子ども向けの映画のように思っていた。しかし、極彩色の空間という普通の映画とは異なった場面構成と、1日しか記憶のもたない少女の心あたたまるストーリー性に惹かれ、いつのまにか映画館へ足を運んでいた。

II. 3Dアニメーションと生の演技とのカットバック

パコが1日しか記憶が保てないとは知らず、パコを叩いてしまった大貫だったが、次の日何も覚えてないパコは大貫に向かってこう言う。

「おじさん…昨日もパコのほっぺにさわったよね？」

こうして大貫は思わぬ形でパコの心の中に居られることになったが、そんなパコ姿に心打たれた大貫は毎日、毎日、物語の内容を忘れてしまうパコのために絵本を読んであげるようになる。

映画のなかでは、そんな大貫と、絵本の中の主人公「ガマ王子」と重ね合わせて3Dで登場するシーンがいくつかある。大貫の心がパコによってほどかれていくと同時に、絵本の内容も読み進められていき、意地悪であった「ガマ王子」も大切なものに気付いていく。こうした3Dアニメーションと生の演技とのカットバックは、物語の最後でも使用され、大きな迫力を加えていて、この映画の見所となっている。

III. 感動のラストシーン、そして…

ラストシーンでは、院内の大人たちが、大貫を筆頭にして「1日しか記憶の保てないパコのために何かできないか？」と考え、パコが毎日読んでいる絵本を劇にして見せてあげるようということになる。そして、大人たち1人1人がパコのために必死になって演技を繰り返して行くのである。ここでも、3Dと生の演技のカットバックが多様されており、独自の世界観が描かれている。そうした大人たちの姿は、おもしろさを含めながらも、パコのおかげで気づくことのできた「愛」で満ち溢れているのである。

そして、パコは幸せそうに永遠の眠りにつく。その幸せそうな笑顔こそ、今までパコが周りの人に与えてきた「愛」の証明なのだ。

『バッテリー』の想い

河原 仁志

①Kawahara hitoshi ②Batteri ③2007年3月公開 ④118分 ⑤青春 ⑥林遣都
⑦滝田洋二郎 ⑧あさのあつこ ⑨友情 ⑩This movie is wonderful.

あらすじ：自分のことしか信じられない天才ピッチャーである主人公が、自分の投げる球をとることのできるキャッチャーにめぐりあい、お互いに少しずつ信頼関係を築いていく。時にお互いを信じられなくなることもあるが、それを二人は乗り越えていく話である。

I.

『バッテリー』を見ました。私は以前に『バッテリー』の小説を読み様々な熱い想いを感じ是非とも映画でも見たいと思っていた作品である。作品の中で確かに子供のくせに大人びすぎと思う場面もありましたが、それ以上に野球を通してお互いに絆を深めあっていく二人の話に私は深く感動しました。この作品を見るたび、熱い想いがこみ上げてくる。

II.

自分の想いを伝えること信頼することの大切さを知りました。主人公がマウンドに立ち、キャッチャーに向かって投げていく。ただの一度、強打者を相手にして、キャッチャーを信頼することができずに投げた一投がホームランにされてしまう。試合は負けてしまい、キャッチャーは試合の後主人公を呼び出し、殴りつける。その時「あの一球でワシの野球を馬鹿にしたんじゃ」と言う。たった一球にかける想い、たかが一球ではあるが、その一球を投げるためには自分がいて、また、相手もいる。ただ相手がいるだけではいけない、そこに信頼関係というものが必要になってくる。この作品を通して二人は野球を通してその信頼関係を築き上げていく。このことこそ、この作品の魅力ではないかと思う。

III.

この作品を振り返って言えることは、信頼関係を築いていくことの難しさである。難しいことではあるが、もっとも大事なことである。その大事さというものを改めて思い出させてくれたのがこの作品である。

『そのときは彼によろしく』にみる人と人との強い絆

村田 美帆

①Miho MURATA ②Please give my best regards to him at that time ③2007年 ④114分
⑤love story ⑥長澤まさみ 山田孝之 ⑦平川雄一郎 ⑧市川拓司：そのときは彼によろしく
⑨感動、ファンタジー、奇蹟 ⑩I found a strong bonds with friends in this movie. However
far we are separated from the others, we are not alone. We live in the world where we can
find a miracle.

あらすじ：『いま、会いにゆきます』でおなじみの市川拓司さん原作の作品。幼なじみであつた3人の男女。小さな湖畔で遊び、将来の夢を語り合った小学生時代。しかしそれぞれの事情により3人は離れ離れになってしまう。しかし、13年後、3人は運命的な再会を果たします。再び動き出した3人の物語ですが、ある運命が彼らを待ち受けています・・・

I. 私と『そのときは彼によろしく』との出会い

私は市川拓司さんの描く独特の世界観がとても好きでした。今回の作品も、まず原作が市川拓司さんということで非常に興味を持った。また、友達からも薦められていたため早速見てみることにしました。見始めると、市川拓司さんの世界にどんどん入っていく、一気に映画の世界に入ってしまった。

II. 大切な人を想う気持ち

人との出会いは『一期一会』と言われるようにひとつひとつの出会いが本当に奇跡のようなものです。きっと誰も忘れられない人、会いたくても会えない人がいると思います。でも、この作品からはそんな自分の記憶の中にある大切な人を想うことで『奇蹟』は起こるのだという希望を感じます。人と人とは本当に何か見えない力でひかれあっている・・・。

III. 感動のラストシーン

最後は涙がとまりませんでした。そして、この映画を見て感じたことは自分が本当に心から想う人は誰だろうということでした。離れ離れになったとしても、会う手がかりさえないとしてもそれでもなお会いたいと思えるような人をこれから見つけていけたらと思いました。もしかしたら、今まで出会った人の中にそう思える人がいるかもしれません・・・。そして、もしそんな人が見つかったら、自分の気持ちを素直に伝えたいと思います。伝えなければわからないことはたくさんあります。もし、みなさんの心の中に大切な人がいるのだとしたら、ぜひその想いを相手に伝えて下さい。心温まる映画です。

あとがき

今年もなんとか完成の運びとなった。もう慣れっこになってしまったが、その年々には予期せぬ展開が次々と待っているものである。振り返って見れば「本当によくできあがったものだ」と思わずにはいられないような、綱渡り的な出来事の連続で、また一年が終わった。

2003年に『アメリカ～エンターテインメントの世界～』で始まった米文学研究室の出版は、毎年新たなテーマを模索しながら、これまでに『日本で見つけたアメリカ～戦前日米交流史～』(2004)、『米文学史のなかのアメリカ文化研究』(2005)、『ジャパニーズ・ポップ・カルチャー2006～日本の若者・大衆文化のいま～』(2006)、『実学としてのアメリカ文学研究 - 歴史・人物・作品・映画から学んだこと - 』(2007)と続いていた。そして6年目の今年もまたここに新刊が完成し、この個人研究費による論集出版シリーズは途切れることなく、次年度へと継続されることとなった。入力・編集作業において大いに力を発揮してくれた学生諸君に対しては、特に感謝したい。

今年は出版以外の予算の執行もかさみ、とうとう映画論集でありながら、カラーどころかモノクロの写真もないような安価な体裁となってしまった。年度内に出版を完成させているために、当該年度の出版規模が読めず、年度初めの「学長裁量経費」への申請を控えていたが、来年度はパソコン、その他の編集機器を更新、充実させる必要が生じてきたために、理想とする論集の体裁を目指して援助を仰ごうと思う。

執筆者の範囲もほぼ全学的なものに膨らんできた。ものを書き残していく喜びを一人でも多くの学生に味わってもらいたい。この論集も可能な範囲で、全国の大学等の図書館へ寄贈する予定である。

部数が足りず、せつかく書いてくれた執筆者たちに記念の論集を配布することもできなかった。今年の本学図書館に少しでも多く寄贈して、執筆者たちに見てもらいたいと思う。

橋本 賢二

平成 21 年 2 月発行(February, 2009)

アメリカ映画研究を始めるまえに

Preparation for Studying American Movies

発行者 大阪教育大学 米文学研究室
〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY
(Faculty of American Literature)
4-698-1 Asahigaoka, Kashiwara,
Osaka, 582-8582 JAPAN.

編 著 橋 本 賢 二
Editor & Author : Kenji Hashimoto

印刷所 株式会社アイジイ
〒531-0072 大阪市北区豊崎7-7-7
(06)6371-0321
